

令和4年度

(2022年度)

# 事業報告書

社会福祉法人 北星会

## 【年度統括】

宮津与謝地域においては、介護保険制度における軽度（要支援、要介護１）高齢者の増加もあり、高齢単身世帯や老夫婦世帯が増加しています。

令和４年度、北星会の各事業所においてはコロナの流行の波に襲われましたが、京都府の支援を得つつ役職員が冷静に対応し、被害を最小限に抑えることができました。

また、職員本人の感染や家族感染による濃厚接触による自宅療養の必要から職員が不足する状況の中でもサービス提供を継続したことで地域高齢者の在宅生活を支えることができました。と自負しております。

令和５年度は、新型コロナが第５類感染症に移行することもあり、令和４年度にはなかなか実施できなかった地域における相互扶助の働きを高める事業にも注力してまいります。

決算に関しては、コロナの影響も大きく、残念ながら収入は減少し、支出は増額となり、サービス提供方法の変化や支出を抑える必要を感じた年となりました。

## 【重点目標への取り組み】

### 令和４年度基本目標、重点項目への取り組みと進捗

| 基本目標                                                     | 項目                             | 取組目標                                                                                          | 進捗                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的に関わり、既存の制度では対応できない公益的な事項にも取り組みます。 | i 在宅での暮らしを支えるサービス提供。<br>（重点項目） | 高齢者の単身世帯や老夫婦世帯が増加する中、在宅生活を維持するための課題を解決するため、居宅介護事業所や在宅サービス部門が一体となってサービス提供を行います。                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ等の影響で通所介護がお休みの日は訪問介護や配食対応を行うなど、連携を行いました。</li> <li>・データによるケアプラン送信システム導入を積極的に行い、事業所連携につとめました。</li> </ul> |
|                                                          | ii 他法人、保険者等との連携強化。<br>（重点項目）   | 宮津市においては、地域ケア会議への出席や宮津の福祉をよくするプロジェクト会議での活動を継続。与謝野町においては、緩やかな法人連携の方法を模索し、連携推進法人や協同組合の設立につなげます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加を予定していた地域ケア会議の開催が制限され、参加機会は減少しました。</li> <li>・与謝郡福祉会、みねやま福祉会の事務局長と面談の機会を確保し、連携の方法を探りました。</li> </ul>      |

|                                                  |                                      |                                                              |                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                  |                                      | 障害者福祉や保育といった事業を展開する法人との連携を検討します。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よさのうみ福祉会理事との面談を行い、就労支援事業等の状況確認をおこないました。</li> </ul>                                                                  |
|                                                  | iii 介護保険以外の事業実施。                     | 栗田のびのび児童クラブの事業受託を継続することで、小学校、教育委員会との連携を図るとともに、働く両親を支えます。     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年利用児童数は増加しており、事業実施の意義を果たせています。</li> <li>・小学校教諭とも定期的に利用児童に関する意見交換をおこなっています。</li> </ul>                              |
|                                                  |                                      | オレンジカフェを受託運営し、高齢者の引きこもりを防止するとともに認知症の方やそのご家族の暮らしを支えます。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政からの指導もあり、オレンジカフェを定期的に開催することができませんでした。令和5年度は年度当初より開催を予定しています。</li> </ul>                                           |
|                                                  |                                      | 配食サービスの受託運営により、高齢単身世帯や老夫婦世帯の暮らしを支えます。                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護の休みやショートステイ利用中止となった日でも、配食により生活を維持を支援しました。</li> </ul>                                                            |
|                                                  |                                      | iv 近隣他法人との業務協力や連携を主体的に進められるよう努めます。                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省が進める社会福祉連携推進法人制度の説明会へ参加するなど、情報収集につとめました。</li> </ul>                                                            |
| ②利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを提供します。 | i 介護ロボットやICT機器を活用した職場環境整備。<br>(重点項目) | 介護ロボットを導入することで、パーソン・センタード・ケアを推進し自立支援につなげるとともに、職員の負担の軽減を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居施設においては、センサーやカメラを導入することで入居者の眠りを邪魔することなく、職員の夜勤負担を軽減をすすめています。</li> <li>・天橋の郷では福祉用具を導入し、持ち上げないケアを実践しています。</li> </ul> |

|                                     |                                 |                                                    |                                                                                                                                               |
|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                     | ii 全職員を対象とした研修実施。<br>(重点項目)     | 他法人と連携を図りつつ、法人全体研修年度計画を作成し、職員の研修受講機会を確保します。        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ラーニングを導入し、全職員に対して研修機会の確保につとめました。</li> <li>・「宮津の福祉をよくするプロジェクト会議」の職種別の意見交換会が開催され職員が参加しました。</li> </ul> |
|                                     | iii 利用者からの意見聞き取りを行います。          |                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所において利用者、家族アンケートを実施しました。</li> </ul>                                                                |
|                                     | iv サービス自主点検を行い、サービス改善に努めます。     |                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、自主点検を実施しています。</li> </ul>                                                                           |
| ③安定した経営基盤の確立と職員が誇りをもって働ける職場作りに努めます。 | i 与謝の園の移転新築。<br>(重点項目)          | 15名の5ユニット、75名定員の特養を中心に、令和5年夏の開設に向けて移転新築の計画を推進します。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府からの補助金交付決定を受け、工事着手しました。</li> <li>・毎週木曜日に与謝の園の職員が建築会議を開催しています。</li> </ul>                           |
|                                     | ii 介護保険事業を中心とした経営安定化。<br>(重点項目) | 介護報酬改定にも対応できる組織体制と協力体制を構築します。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任を中心に加算算定に向けた努力をおこなっていますが、職員配置により、算定できないものもありました。</li> </ul>                                         |
|                                     |                                 | 法人本部において事業実績、資金収支を把握し、法人全体での収益管理を行います。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICS（会計システム）データを本部で集約し、収支状況を把握することができるようになりました。</li> </ul>                                             |
|                                     | iii ICT化を推進。                    | 業務のICT化により、行政に提出する文書や日々の記録作成に要する時間を削減し、業務効率化を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他法人と協力し、法人独自にケアプランデータの送受信を実施しました。厚生労働省が進めるケアプランデータ連携システムも運営開始当初より導入します。</li> </ul>                    |

|                                           |                                        |                                                                             |                                                            |
|-------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|                                           | iv 人事考課とキャリアパス制度の適切な運用。                |                                                                             | ・考課制度、キャリアパス、給与体系の連動を検討しましたが、実現には至っていません。令和5年度、継続検討を行います。  |
|                                           | v 法人規定の適宜改定。                           |                                                                             | ・法人理念に基づき、職員処遇向上を第一に考え、必要となる規程の制定、改定を行いました。                |
|                                           | vi 積極的な法人の情報公表。                        |                                                                             | ・ホームページ上で事業計画や決算状況のみでなく、ブログ等を利用して法人各事業の紹介を積極的に行っています。      |
| ④基本理念を実現し、自らの職務に働きがいを感じ、社会に貢献できる人材を育成します。 | i 職員全員が基本理念を理解して業務に取り組む。<br>(重点項目)     | 法人理念の再確認や法人への所属意識を高めるため、法人設立記念日等の開催を検討する。                                   | ・z o o mを利用した開催となりましたが、念願であった職員総会を令和4年10月26日に開催することができました。 |
|                                           | ii 地域との連携強化。<br>(重点項目)                 | これまで進めてきた地域との交流を継続することに加え、地域の避難施設としての役割を担う等により、地域との連携を強化するとともにBCP対策にもつなげます。 | ・天橋の郷において、自施設の設備を生かした形で近隣自治会との災害時協定を締結するに至りました。            |
|                                           | iii 地域で行われる会議やイベント等に法人として参加する機会を増やします。 |                                                                             | ・職員有志が中心となり、天橋立清掃や駅伝大会などに参加しています。                          |

## 法人本部 事業報告

### 【令和4年度 法人本部事業統括】

令和4年度、SDGs宣言書をホームページに記載し、第3の目標“すべての人に健康と福祉を”実現に向けた法人の働きについて職員総会で全職員に周知しました。

新型コロナの影響によりなかなか地域貢献事業を行う事は出来ていませんでしたが、天橋の郷が近隣地域との災害時協定を締結することができたことは、社会福祉法人としての大きな一歩となりました。

また、会計システムのデータを本部で一括管理できるようになり、各事業所の運営と財務の状況を把握、課題分析を行うことができ、管理者が法人全体の収支状況等を理解するきっかけとなりました。

引き続き、本部と各事業所が様々なデータを共有しつつ必要な業務改善をおこない、法人全体の経営の安定と目標達成につとめてまいります。

### 【重点目標への取り組み】

#### 令和4年度 重点項目への取り組みと進捗

##### ① 特別養護老人ホーム与謝の園 移転・新築事業支援

年度当初より円高の進行や世界情勢の不安定さも影響し、資材価格高騰、職人確保の困難さと人件費の高騰等々の課題が噴出し、計画を予定通り進めることが困難ではないか。と危惧されました。

そのような状況の中、京都府、与謝野町と何度も協議を重ね、補助金の交付決定をいただくことができ、令和5年2月13日に工事着工しました。

令和5年度中の開設に向け、与謝の園の職員と共に準備を進めてまいります。

##### ② リクルート活動の推進と職員の働きやすさ向上

令和5年度、管理栄養士2名と作業療法士1名の新卒者が入職しました。

令和4年度の中途入職者では正規職員15名、有期雇用職員13名が新たに法人職員となりました。

令和5年度より、職員にバースデイ休暇を付与することも決定し、今年度も引き続き職員処遇の向上と共に職員募集に注力してまいります。

##### ③ 法人本部事務局の機能向上と役割の明確化

令和4年度、ICS（会計システム）データを法人本部において一括管理できる体制を整えることができました。令和5年度は、電子帳簿保存法、消費税（インボイス）への対応を本部が中心となり、進めてまいります。

また、物品の一括購入推進や人事管理システム導入により、本部に業務を集約させることで各事業所における事務負担を軽減できるよう、つとめてまいります。

#### ④ 地域における様々な課題把握と解決に向けた対応

令和4年度、コロナの流行によりオレンジカフェ開催や地域ケア会議の開催中止など、なかなか地域に出向いて課題を把握することが難しい年となりました。

令和5年度は引き続き地域に出向く機会を確保し、地域の方と交流を行うことで地域課題を把握するとともに、その解決に向けた努力をおこないます。

### ○ 総務課

令和4年度は人事・労務・給与の安定した業務遂行と、人材確保に向けた各種就職説明会への出展や広報活動を積極的に進めてきました。

また、各種調査や届出、補助金申請においても法人本部に極力集約を行い、事務効率化を進めました。

#### 1. 人事・採用・労務・給与関係

- ① 人事・労務・給与業務の効率化について現状を把握し、拠点事務負担の軽減等、今後の方向性を検討しました。
- ② 勤怠管理システム（クロノス）を運用し、年次有給休暇や時間外勤務、出退勤等の勤怠情報を集計し、給与計算処理の効率化をはかりました。
- ③ 給与明細書・賞与明細書・源泉徴収票を、電子交付（明細書をメールに添付してお知らせ）によって、職員への通知を迅速に行いました。
- ④ 社会保険の電子申請を進め、事務手続きの集約化を進めました。
- ⑤ 就業規則や給与規程の改定に伴う、給与計算ソフトや勤怠管理システム設定の対応を行いました。

#### 2. 広報活動の充実

- ① 広報誌「きらめき」を年2回発刊し、地域の方や求職者に法人の魅力が伝わるように工夫し、法人の取り組みについて広く知ってもらえるように努めました。
- ② 人材の獲得と採用のための広報活動（ホームページ、フェイスブック等のSNSを活用した求人情報）を行いました。
- ③ 北星会ホームページの見直しを進め、各拠点が情報発信を行えるよう、お知らせページや、ブログの充実に努めました。また、栗田のびのび児童クラブのページを開設し、情報の発信を積極的行いました。

#### 3. 規則規程関係の整備

- ① 職員が安心して業務を行える環境整備のため、給与規程、就業規則及び各種管理規程の整備を行い、職員への周知を行いました。
- ② 各拠点へ変更内容の周知を行い、規則綴りの更新管理を行いました。

#### 4. 効率的な補助金請求や事務管理

コロナ関係の給付金を含め補助金等の手続きなど、拠点と協力し進めました。

#### 5. きょうと福祉人材育成認証制度への対応

きょうと福祉人材育成認証制度の認証の更新を行いました。令和5年度上位認証取得へ向けて準備をすすめます。

### ○財務課

令和4年度は、会計処理方法の統一化を目的とした「経理事務マニュアル」の作成及び経理担当者への説明、更には今後適用される電子帳簿保存法やインボイス制度など会計処理に係る研修を実施しました。

また、各拠点の収支・財務状況について、法人本部がリアルタイムで把握し、全拠点の状況を施設長会議で定期的に報告、共有できるよう体制を整えました。

与謝の園移転・新築事業は、建設業者が決定し、事業費の詳細が確定していく中、補助金、借入金、自己資金の調整等を行いながら、具体的な資金調達のスケジュール作成等を行いました。令和5年度は社会福祉充実残額の推移を確認するとともに、建設後に保有する資産を踏まえた財務状況を把握していきます。

今後、新たな借入金により法人の負債が増加するため、今まで以上に資産・負債のバランスを重視する必要があると、財務状況の把握に努めるとともに、有益な資産運用等の提案を行っていきたいと考えます。

#### 1. 会計処理業務等の見直し

- ・令和3年度決算の精査及び令和4年度補正予算の試算、並びに令和5年度予算を作成しました。
- ・本部と各拠点が連携した業務集約化に向けて、会計処理方法に係る経理事務マニュアルを作成し、経理担当者と情報の共有と共働の仕組みをつくりました。
- ・令和5年度に適用される電子帳簿保存法やインボイス制度など会計処理に係る研修を実施しました。

#### 2. 経営分析

- ・法人全体の資産・負債・純資産額を把握し、社会福祉充実算残額の計算と共に、法人の経営状況の把握に努めました。
- ・各拠点の運営と財務の状況把握、課題分析を行い、施設長会議へ分析結果を提供しました。

#### 3. 情報開示

- ・法人ホームページ及び財務諸表等電子開示システムを通じて、令和3年度決算の状況を開示しました。
- ・財務諸表等電子開示システムを通じて、令和3年度社会福祉充実残額および社会福祉充実計画を開示しました。

#### 4. 新築事業に係る資金計画



- ・借入金等、必要になる資金の調整（法人内資金調整金）を行いました。
- ・補助金・借入金額に基づいた収支スケジュールの作成を行いました。

## ○ 事業課

### 1. 北星会における公益的な取組

公益的な取り組みにとして、天橋園の地域交流ホールを活用した取組みをすすめております。令和4年度は、福知山公立大学の学生団体である「宮津わかもの会議」のイベントで地域交流ホールを活用しました。持続可能な開発目標（SDGs）について若者の視点から宮津の未来について考えることをテーマに、9月23日、12月11日、3月26日、合計3回のイベントを開催しました。延べ17名の高校生、大学生が参加しました。今後も学生や地域の方と一緒に、地域の課題解決や交流の場を提供していきたいと考えております。

### 2. 与謝の園移転・新築事業

令和4年度の与謝の園の移転新築事業は、京都府補助金内示の遅れや建築資材の入手が困難となり、当初計画より遅れました。

2月からは、現場建築事務所において、定例会議を行い設計、建築業者と打ち合わせを行っております。

設備、備品の選定に関しては、各メーカーからの提案、ショールーム、設置事業所への見学を重ね、業者選定を行う予定としております。

### 3. 栗田のびのび放課後児童クラブ事業

栗田のびのび放課後児童クラブでは、令和4年4月より支援学校に通う児童の受入れを行っております。その為1名多くの支援員を配置するなど、学校からの送迎バスが停車する国道まで児童を迎えに行くなど、昨年にはなかった体制で事業を行いました。また、利用児童数も増え、1日の利用者数も増加しております。

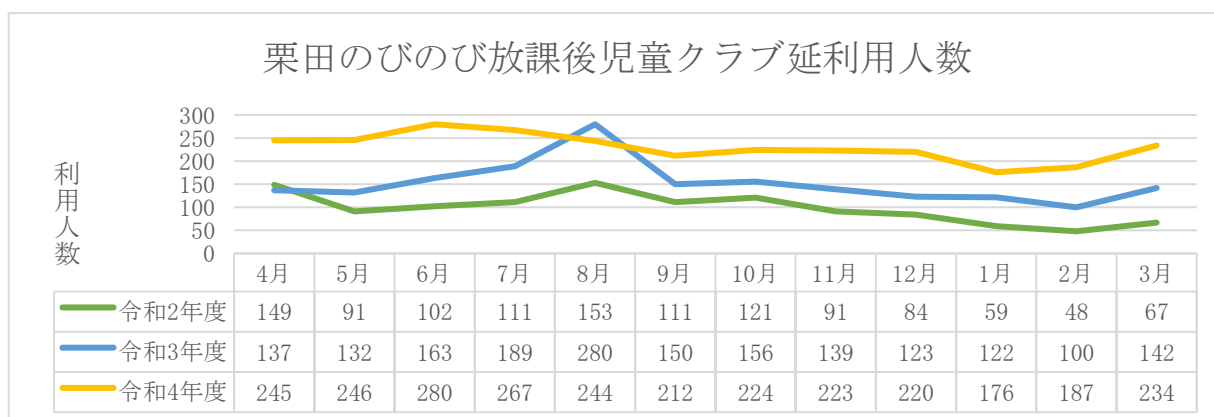
利用児童数は令和3年度と比べて延べ人数で925人増加となりました。

令和3年3月31日の登録者は、17名となります。

学年内訳

通年 1年生5名 2年生5名 3年生3名 4年1名

長期休みのみ 2年生2名 3年生1名

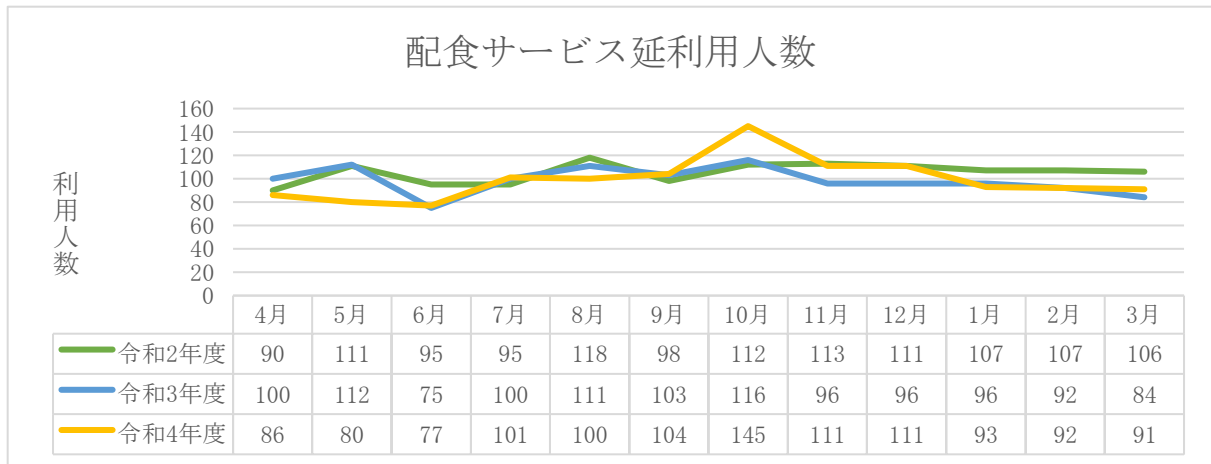


#### 4. 配食サービス事業

令和4年度の宮津市配食サービス事業は、令和3年度と比べて、10食増加しました。

令和4年3月31日時点の登録者は、栗田地区6名、由良地区9名の合計15名となります。登録者数は前年度と比べてほとんど変わりません。

令和4年度の配食数は、月平均約100食の提供数となっております。高齢者以外への配食も検討いたしましたが、調理職員数が減った事もあり、現在も実現できていません。引き続き検討していきたいと思います。



#### 5. 北星会サービス会議

令和4年度は、昨年と同様にデイサービスのADL維持等加算関連のBI（バーセルインデックス）研修を6月に開催しました。

2月に北星会各拠点の管理栄養士部会と看護師部会を開催し、各加算関係や育成研修についての意見交換を行いました。来年度についても各サービス部門ごとに意見交換会を開催したいと考えています。

#### 6. 北星会職員採用活動

北星会職員の採用活動については、事業課が中心となりすすめてまいりました。採用活動としては、就職ナビサイトの活用によるインターンシップの受入れ、大学からの実習受入れ、就職説明会の参加、就職フェアの参加などを行いました。新卒採用の実績は以下の通りです。

新卒職員採用実績

| 職 種      | 計 画 | 実 績 |
|----------|-----|-----|
| 介護職(無資格) | 5 名 | 0 名 |
| 介護職(有資格) | 2 名 | 0 名 |
| 相談員      | 3 名 | 0 名 |
| 管理栄養士    | 1 名 | 2 名 |
| リハビリ職員   | 1 名 | 1 名 |
| 看護師      | 2 名 | 0 名 |

中途職員採用に関しては、就職フェアの参加、ハローワークへの求人活動、定期的にハローワークで個別就職説明会を開催しました。

中途職員採用実績

| 職種              | 対応人数 | 見学   | 採用   |
|-----------------|------|------|------|
| 介護職<br>(臨時職員含む) | 29 名 | 11 名 | 13 名 |
| 看護師             | 4 名  | 1 名  | 3 名  |
| 調理              | 8 名  | 1 名  | 3 名  |

新しくなる与謝の園の人員配置に必要な人員の採用活動を進めていきたいと考えています。

## 総合在宅支援 天橋園 事業報告書

### 【年度統括】

令和4年度は、前年度に達成できなかった課題を克服すべく取り組んでしましたが、これまで以上に新型コロナ感染拡大の影響もあり、事業実績は大変厳しい年度となりました。

各事業所のサービス提供体制の強化を目的に、配置職員増員を可能な限り行うことで取り組んでしましたが、実情は厳しく、事業収入では前年度実績は確保したものの、予算額達成には至らず、当期単年度の資金収支差額もマイナス計上となりました。

事業別実績は、入所系であるグループホームでは一定の収支差額が確保できましたが、通所系では秋以降利用率が伸び悩み、例年課題となっている冬季の利用率アップが実現できなかった事、また訪問、居宅介護支援を含めた居宅系では、入院・施設入所等による利用者減少がある一方、新規利用契約については伸び悩んだことが大きな要因と考えます。さらには、変化する地域のニーズの把握と提供するサービスへの反映も充分ではなく、多くの課題を残した年度となりました。

当該年度の取組としましては、法人が導入したオンデマンド配信の研修システムにより、空き時間を有効に活用した内部研修を行うことで、更なる資質向上に努めました。またグループホームで初めての「看取り介護」を行ったほか、事業所間で構成される各委員会において、各マニュアルの見直し及び再整備をするとともに、認知症サポーター養成講座等、地域での認知症理解向上の取組にも努めました。

今後は基本に立ち返ることとし、改めて地域ニーズを把握し、それに沿ったサービス提供に努め、すべての世代が住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができるよう、在宅支援事業所だからできること、すべきことを実行に移していきたいと考えております。

### 【年度目標に対する成果】

1. すべての世代が共に支え合いながら暮らすことができる「地域共生社会」の実現に向けての支援
  - ① 世代を超えた地域住民との交流を深めます
  - ② 認知症ケアに対する地域住民への理解度を深めます➡地域住民との交流は、新型コロナ感染拡大の影響でほとんど実施できませんでしたが、認知症サポーターキャラバンメイトの取組では、地元小学生を対象に出張講座を行うことで認知症の理解度を深めました。
2. 求められる地域ニーズの追求と良質で安全・安心なサービスの提供
  - ① 世代や社会情勢によって異なる福祉ニーズを的確に把握します
  - ② 地域ニーズに基づいたサービス提供に努めます
  - ③ 変異する新型コロナウイルスに迅速に対応し、安全なサービスを提供します➡具体的な地域ニーズの把握には至らず、期待される新規利用者を確保することができませんでした。サービスについては、感染症予防を中心に、安全・安心なサービス提供を

徹底してきましたが、一部コロナ感染が拡大し、今後の課題となりました。

### 3. 利用者と地域住民、職員が共に楽しめる施設づくり

① さまざまなツールを利用して事業所の情報発信を行います

➡SNS でリアルタイムの事業所情報を発信するとともに、全ての事業所を掲載したパンフレットを制作、関係事業所、地域住民に配布、回覧しました。

### 4. 働き甲斐を感じられる職場環境づくりと将来を見据えた人材育成

① スタッフが共に認め合い、共感できる職場づくりに努めます

② 職員一人一人がそれぞれを振り返り見つめなおすことで成長に繋がります

➡すべての職員が施設責任者と面談を行うことで、経営者・職員がお互いに思いを把握し、目指すべき施設の在り方を考えました。

### 5. 新たな事業展開と求められる経営基盤の強化

① 地域ニーズを踏まえた新たなサービスの展開を模索します

② 各種加算を考慮した効率の良い人員配置と安定した収益の実現に努めます

➡十分な地域ニーズが把握できておらず、新たなサービス展開については引き続き検討を続けます。また厳しい求職状況において人員が不足する中、人員配置についても引き続き検討していきます。

## 【事業報告】

### 1. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム天橋の家）

令和4年度は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルスを警戒し、様々な制限の中ではありますが、ご利用者・職員共に落ち着いて生活する事ができました。

利用状況については、稼働率 99.6%となり昨年度同様の実績となりました。当グループホームにおいても年々利用者の要介護状態が重度化する中、当年度から「看取り介護」を開始することで、終末期まで当事業所で生活していただく事ができるよう、かかりつけ医の協力を得ながら2名のご利用者の看取り介護を実施しました。

また、地域密着型事業所としての取り組みとして、昼食・夕食の配食時を利用し、ご利用者様と共に公用車に乗り、「地域安全パトロール」の看板を掲げ、子どもの見守りを含めた安全啓発活動を実施してまいりました。

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染区分が見直される事を踏まえ、引き続き感染予防対策を徹底しつつ、直接触れ合えるような距離でご家族・地域の皆様との関わりを持てるよう、積極的な取り組みを展開してまいります。また、ご利用者の機能低下予防の取り組みにも力を入れ、認知症予防にも努めてまいります。

#### ①入居者の状況

##### (ア) 稼働率（定員：18名）

| 年度 \ 区分 | 営業日数 | 延入居者数  | 平均入居者数/日 | 稼働率   |
|---------|------|--------|----------|-------|
| 3年度     | 365日 | 6,547人 | 17.9人    | 99.6% |
| 4年度     | 365日 | 6,544人 | 17.9人    | 99.6% |

(イ) 契約数

| 区分<br>年度 | 新規入居者数 | 待機者数 |
|----------|--------|------|
| 3 年度     | 1 人    | 15 人 |
| 4 年度     | 3 人    | 15 人 |

(ウ) 地区別 新規入居者数の状況

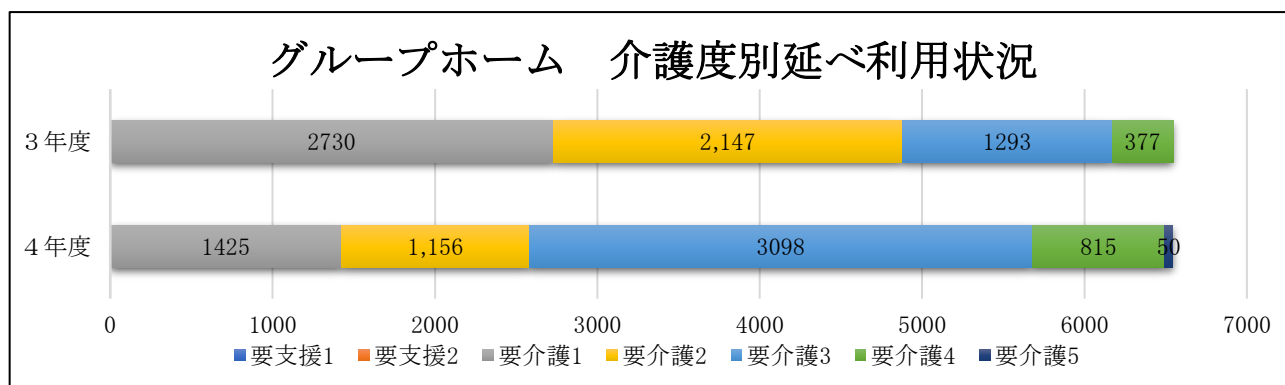
| 地域<br>年度 | 宮津市 | 与謝野町 | 伊根町 | その他 |
|----------|-----|------|-----|-----|
| 3 年度     | 1 人 | 0 人  | 0 人 | 0 人 |
| 4 年度     | 3 人 | 0 人  | 0 人 | 0 人 |

(エ) 要介護度別 入居者の状況（各年度 3 月現在）

| 介護度<br>性別<br>年度 | 要介護 1 |   | 要介護 2 |   | 要介護 3 |   | 要介護 4 |   | 要介護 5 |   | 合 計 |    |
|-----------------|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-----|----|
|                 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男   | 女  |
| 3 年度            | 0     | 6 | 1     | 4 | 1     | 5 | 0     | 1 | 0     | 0 | 2   | 16 |
| 4 年度            | 0     | 4 | 0     | 2 | 2     | 7 | 0     | 2 | 0     | 1 | 2   | 16 |
| 平均要介護度          | 3 年度  |   |       |   | 2.1   |   |       |   |       |   |     |    |
|                 | 4 年度  |   |       |   | 2.7   |   |       |   |       |   |     |    |

(オ) 要介護度別 （延入居者数の状況）

| 介護度<br>年度 | 要介護 1   | 要介護 2   | 要介護 3   | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計     |
|-----------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 2,730 人 | 2,147 人 | 1,293 人 | 377 人 | 0 人   | 6,547 人 |
| 4 年度      | 1,425 人 | 1,156 人 | 3,098 人 | 815 人 | 50 人  | 6,544 人 |



2. 通所介護（天橋園通所介護事業所）

令和 4 年度の事業実績は、引き続き新型コロナウイルスの対応に終始した 1 年となりました。営業については、6 月から 7 月の間で 3 日の営業休止と 1 日の利用制限となり、その後は大規模ではないものの、ご利用者・職員の感染によってサービス提供体制に影響が出る日が多々ありました。

利用状況につきましては、8 月～9 月の夏季に前年度実績を上回る利用がありました。が、地域でのコロナ感染拡大や入院・施設入所等により、秋季から冬季の利用が伸び悩み、年間の利用者数は令和 3 年度を下回る結果となりました。但し、利用者の内訳につ

いては、要支援の利用は大きく減少しましたが、要介護の利用が増加しているため、介護保険収入としては前年度から微増しております。

コロナ感染拡大の影響で中断していた上宮津地区のオレンジカフェについても、感染状況を見ながら再開しましたが、結果的に2回の開催に終わり、今後の開催のあり方に課題を残す結果となりました。

今後、安定した利用率を得るためには、慢性的に不足しているスタッフの確保、コロナ感染症の扱いが見直される中での事業所における新たな感染予防対策、利用者のニーズに沿ったサービス提供のあり方、更には地域住民との関わり方など、課題は山積みですが、来ていただいた方に「楽しい」・「また行きたい」と思ってもらえるようなデイサービスを目指し、スタッフが一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

## ①利用実績

### (ア) 延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 区分<br>年度 | 利用定員/日 | 営業日数 | 延利用者数  | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|--------|------|--------|-------|-------|
| 3年度      | 25人    | 311日 | 5,925人 | 76.2% | 1.73  |
| 4年度      | 25人    | 309日 | 5,785人 | 74.9% | 1.80  |

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症により営業を3日休止

### (イ) 要介護度別利用者数の状況

| 介護度<br>年度 | 要介護1   | 要介護2   | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 小計     |
|-----------|--------|--------|------|------|------|--------|
| 3年度       | 2,254人 | 1,383人 | 917人 | 328人 | 170人 | 5,052人 |
| 4年度       | 2,047人 | 1,865人 | 638人 | 292人 | 257人 | 5,099人 |

### (ウ) 要介護度別利用者数の状況 介護予防

| 介護度<br>年度 | 要支援1 | 要支援2 | 小計   |
|-----------|------|------|------|
| 3年度       | 360人 | 513人 | 873人 |
| 4年度       | 230人 | 456人 | 686人 |

### (エ) ①加算算定の状況（通所）

| 加算項目<br>年度 | 機能訓練<br>Iイ | 機能訓練<br>Iロ | 入浴 I  | 体制 I  | 科学  | ADL<br>(5月～) | 処遇改善<br>I | 特定処遇<br>I | ケア支援<br>(10月～) |
|------------|------------|------------|-------|-------|-----|--------------|-----------|-----------|----------------|
| 3年度        | 2,437      | 2,618      | 4,875 | 5,052 | 639 | —            | 703       | 703       | —              |
| 4年度        | 3,109      | 1,956      | 4,842 | 5,099 | 711 | 650          | 711       | 711       | 339            |

※ 科学的介護推進体制加算は令和3年6月より算定

※ ADL維持等加算は令和4年5月より算定

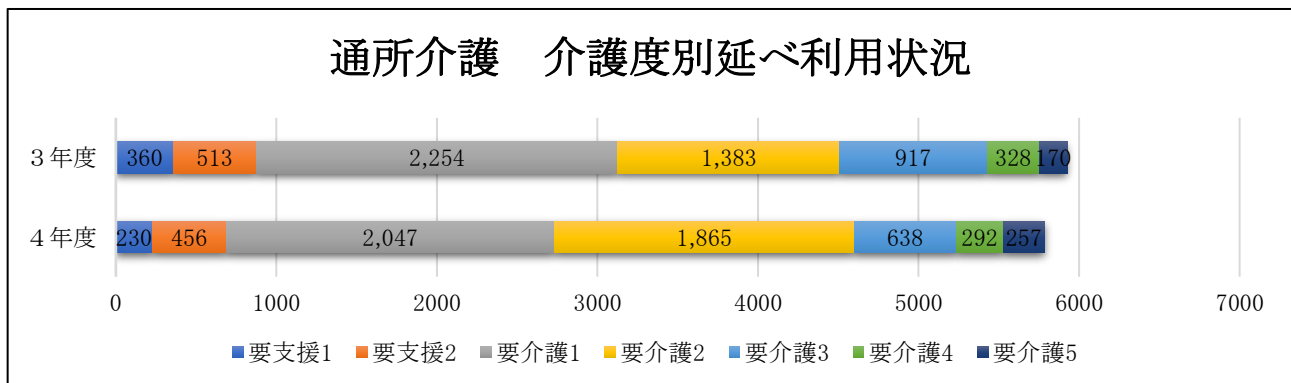
※ ベースアップ支援加算は令和4年10月より算定

### ②加算算定の状況（予防）

| 加算項目<br>年度 | 運動器 | 処遇改善 | 特定処遇 | ケア支援<br>(10月～) | 科学  | 体制 I 1 | 体制 I 2 |
|------------|-----|------|------|----------------|-----|--------|--------|
| 3年度        | 159 | 159  | 159  | —              | 142 | 87     | 72     |
| 4年度        | 134 | 134  | 134  | 64             | 134 | 59     |        |

※ 科学的介護推進体制加算は令和 3 年 6 月より算定

※ ベースアップ支援加算は令和 4 年 10 月より算定



### 3. 認知症対応型通所介護（ハウゼ天橋通所介護事業所）

認知症高齢者に対する地域のニーズに少しでも応えられるように、ご利用者の認知症状の緩和とご家族の介護負担の軽減に努めました。

ご利用者に対して『買い物支援サービス』や『屋外活動支援サービス』の実施、また利用時間を融通する事でそれぞれの家庭の事情に対応した結果、ハウゼ天橋の利用を継続いただきました。

令和 4 度の利用実績は、10 月までは例年並みでしたが、11 月に入り利用者及び職員の複数名が新型コロナに感染し、スタッフの不足と感染拡大防止のため、5 日間の休業を余儀なくされました。コロナ禍における必要な感染予防対策は実施しているものの、なかなか状況を理解いただけないご利用者のマスク着用が困難なこともあり、複数の感染者が確認され、認知症高齢者の感染症への対応の難しさを痛感しております。

更に、入院・入所・死去等による利用者の減少が続き、年間の 1 日平均利用率は 10.2 人と去年を少し上回る程度となりました。

年度末においては少しずつ落ち着きを取り戻しつつありますので、これまで通り認知症の方が地域で共生できるようご本人・ご家族を支援し、算定可能な加算は積極的に取り入れ、ご利用者の確保と個別サービスに取り組んでいきます。

#### ①利用実績

##### （ア）延べ利用者数及び利用率

| 区分<br>年度 | 定員   | 営業日数  | 延利用者数   | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|------|-------|---------|-------|-------|
| 3 年度     | 12 人 | 259 日 | 2,605 人 | 83.8% | 2.87  |
| 4 年度     | 12 人 | 254 日 | 2,601 人 | 85.3% | 2.74  |

※令和 4 年度は新型コロナ感染症により営業を 5 日休止

##### （イ）要介護度別 延べ利用者数の状況

| 介護度<br>年度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計     |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 351 人 | 698 人 | 850 人 | 340 人 | 366 人 | 2,605 人 |
| 4 年度      | 628 人 | 490 人 | 700 人 | 494 人 | 289 人 | 2,601 人 |



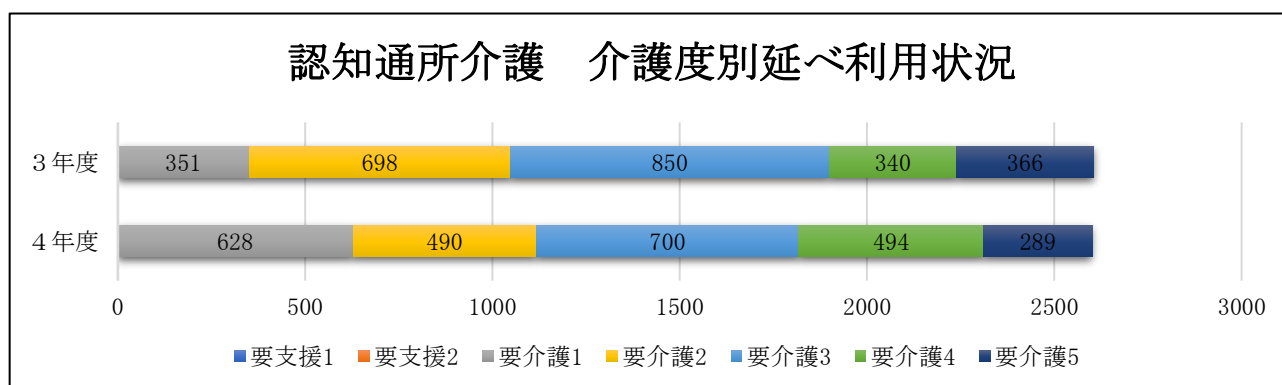
(ウ) 要介護度別 延べ利用者数の状況 介護予防

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2 |
|-----------|-------|-------|
| 3 年度      | 0 人   | 0 人   |
| 4 年度      | 0 人   | 0 人   |

(エ) 加算算定件数の状況

| 加算項目<br>年度 | 入浴    | 科学的<br>介護推進 | 口腔機能<br>向上Ⅱ | 若年性認<br>知症 | 体制Ⅰ 1 | 処遇改善 | 特定<br>処遇 | 個別機能<br>訓練Ⅰ |
|------------|-------|-------------|-------------|------------|-------|------|----------|-------------|
| 3 年度       | 2,245 | 286         | 8           | 20         | 2,605 | 286  | 286      | 104         |
| 4 年度       | 2,287 | 281         | 41          | 87         | 2,601 | 281  | 281      | 52          |
| 加算項目<br>年度 | ADLⅠ  | ベース<br>アップ  |             |            |       |      |          |             |
| 3 年度       | —     | —           |             |            |       |      |          |             |
| 4 年度       | 256   | 138         |             |            |       |      |          |             |

※ADLⅠ（ADL維持加算Ⅰ）は令和4年5月より、ベースアップ（介護職員等ベースアップ等支援加算）は令和4年10月より算定。



#### 4. 訪問介護（天橋訪問介護事業所）

令和4年度の実績につきましては、令和3年度と比較して訪問時間数は減少し、年度当初の目標値を達成することはできませんでした。介護報酬単価の高い身体介護が増加したこともあり、収入額は前年度並みとなりました。

長年勤務していた非常勤ヘルパーが高齢の為2名退職しましたが、常勤の訪問介護員が配置されたことで新規依頼についても滞りなく対応できました。

設備面については、新しい入力システムの導入により、非常勤ヘルパーを含めた各ヘルパーの専用スマートフォンを通じて、提供したサービスの内容がリアルタイムで事業所届くようになり、併せてメール等の連絡体制も整えられ、情報の共有や確認が徹底できるようになりました。

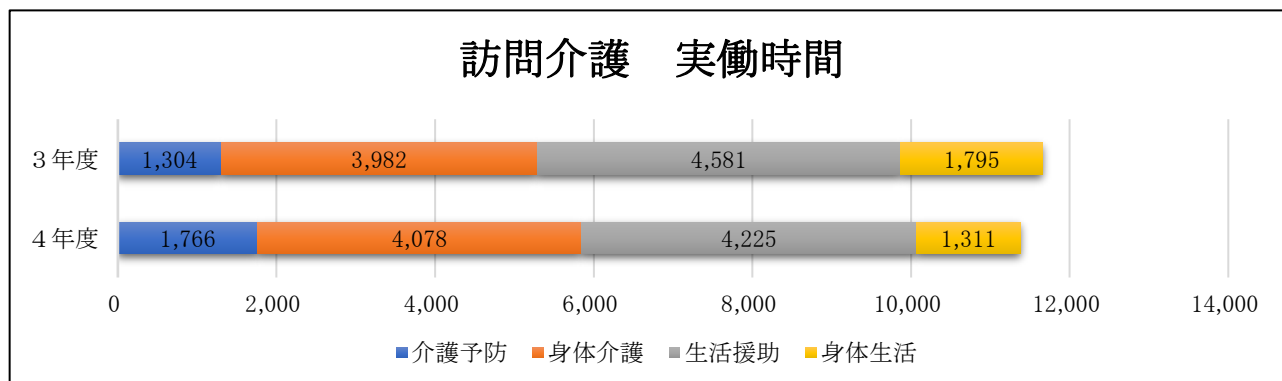
全てのヘルパーが会する毎月開催の「例会」では、感染症対策を徹底しながら法人で新たに導入されたオンデマンド配信による研修システム（eラーニング）を積極的に活用し職員の資質向上に努めました。また、コロナ禍で実施を中止している調理実習に代わり、共通の課題で個別に調理研修した料理の写真をスマートフォンを通じて職員間で共有するなど、新しい試みを取り入れてきました。

土日訪問の依頼が増え対応できるヘルパーの不足する中、訪問介護員及びサービス提供責任者の確保、非常勤ヘルパーの高齢化など課題は山積していますが、今後更に事業所一丸となって課題解決とサービス拡大に向けて努力していききたいと思います。

## ① 利用実績

### (ア) 介護度別利用者数の状況及び実働時間

|         | 年度  | 介護予防サービス       |          | 介護サービス   |          |          |          |          | 障害者<br>支援 | 合 計  |
|---------|-----|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|------|
|         |     | 要支援<br>1       | 要支援<br>2 | 要介護<br>1 | 要介護<br>2 | 要介護<br>3 | 要介護<br>4 | 要介護<br>5 |           |      |
| 契約人数(人) | 3年度 | 11             | 21       | 49       | 36       | 35       | 27       | 19       | 0         | 198  |
|         | 4年度 | 12             | 23       | 47       | 45       | 20       | 33       | 19       | 0         | 199  |
| 介護予防(h) | 3年度 | 1,304 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 11%  |
|         | 4年度 | 1,766 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 15%  |
| 身体介護(h) | 3年度 | 3,982 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 34%  |
|         | 4年度 | 4,078 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 36%  |
| 生活援助(h) | 3年度 | 4,581 時間 30 分  |          |          |          |          |          |          |           | 39%  |
|         | 4年度 | 4,225 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 37%  |
| 身体生活(h) | 3年度 | 1,795 時間 30 分  |          |          |          |          |          |          |           | 16%  |
|         | 4年度 | 1,311 時間 00 分  |          |          |          |          |          |          |           | 12%  |
| 合 計     | 3年度 | 11,663 時間 00 分 |          |          |          |          |          |          |           | 100% |
|         | 4年度 | 11,380 時間 00 分 |          |          |          |          |          |          |           | 100% |



## 5. 天橋園居宅介護支援事業所

令和4年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防や対策をしながら、介護・支援の必要なご利用者・ご家族が望まれる生活が継続できるよう、主治医をはじめ、包括支援センターや病院、施設、在宅サービス事業所など、関係機関と連携を密にしながら支援してきました。また、職員体制では、年度始めと年度途中で新しく介護支援専門員の職に就いた2名のスタッフを迎え、合計6名体制で事業に取り組んできました。

コロナ禍での活動につきましては、病院や施設、事業所での利用者との面会の自粛や禁止、地域の感染状況に応じたサービス担当者会議の開催方法や自宅訪問時間の短縮、また、ご利用者やご家族の感染による関係機関への連絡やサービス利用の調整、

更には感染拡大による事業所の閉鎖でサービスの利用が途切れないよう支援するなど、常に情報を得ながら適切なサービス利用が提供できるよう努めてきました。

ケアプラン作成、給付管理の実績につきましては、要介護から要支援認定となった利用者が引き続き担当し、新規利用者が積極的に受ける一方で、身体状態の悪化による入院や死亡、施設入所希望等により担当を外れるケースがある反面、新規契約については依頼が少ない期間もあり、管理延件数の大きな増加とはなりませんでした。

令和5年度も全スタッフ6名がそれぞれの目標を持ち、各種研修・ケア会議、研究会等に参加し、専門職としての資質向上を図るとともに親切丁寧な相談を行うことで、ご利用者やご家族との信頼関係を築き、その人らしい生活ができるよう支援する事業所となるよう努めてまいります。

## ①利用実績

### (ア) 内容別相談件数

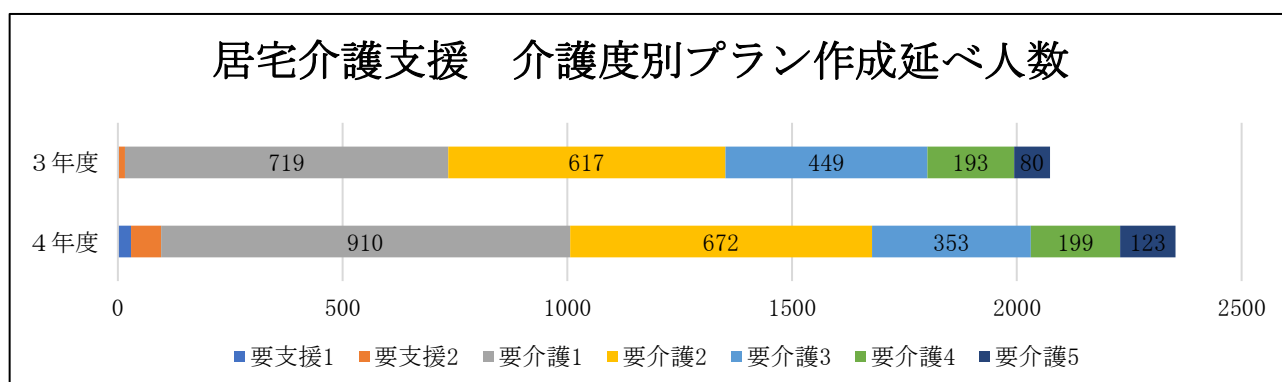
| 年度  | 内容 | 介護保険その他<br>福祉サービス | 権利擁護<br>(成年後見) | 高齢者虐待 | その他    | 合計      |
|-----|----|-------------------|----------------|-------|--------|---------|
| 3年度 | 実数 | 250件              | 18件            | 0件    | 72件    | 340件    |
|     | 延数 | 10,508件           | 98件            | 0件    | 4,434件 | 14,942件 |
| 4年度 | 実数 | 271件              | 23件            | 4件    | 35件    | 333件    |
|     | 延数 | 19,136件           | 132件           | 24件   | 1,618件 | 20,910件 |

### (イ) ケアプラン作成管理件数

|     | 作成管理延人数 | 作成管理実件数 |
|-----|---------|---------|
| 3年度 | 2,074人  | 233件    |
| 4年度 | 2,353人  | 271件    |

### (ウ) 介護度別プラン作成延べ人数

| 年度  | 介護度 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計     |
|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 3年度 |     | 2人   | 14人  | 719人 | 617人 | 449人 | 193人 | 80人  | 2,074人 |
| 4年度 |     | 29人  | 67人  | 910人 | 672人 | 353人 | 199人 | 123人 | 2,353人 |



## 6. 事務

各事業所の毎月の収支状況の把握に努めました。また事務手続きにおいて、法人本部との連携により、効率良くスムーズに遂行できるように努めました。

### 【おむつ等販売】

| 年度 \ 項目 | 販売数（パック） |
|---------|----------|
| 3 年度    | 1,257    |
| 4 年度    | 1,344    |

### 【職員健康診断等の実施状況】

| 健診等内容     | 実施日              | 受診者数      | 備考      |
|-----------|------------------|-----------|---------|
| 一般健診      | 9 月 8 日          | 60 人      | 年 1 回   |
| 腰痛健診      | 9 月 8 日・2 月 10 日 | 36 人・43 人 | 半年に 1 回 |
| 深夜業務従事者健診 | 2 月 10 日         | 12 人      | 年 1 回   |
| ストレスチェック  | 9 月              | 45 人      | 年 1 回   |

### 【職員研修参加状況】

#### ①施設内研修

| 研修・会議名                          | 参加人数 | 研修内容                              |
|---------------------------------|------|-----------------------------------|
| 関節痛に対しての簡単に行える予防 安全衛生委員会研修会     | 30 人 | 丹後保健所出前講座を利用し、働き盛り世代の健康づくりについて学ぶ。 |
| イスに座ってできる、職場で簡単お手軽ヨガ 安全衛生委員会研修会 | 30 人 | 協会けんぽ京都支部ストレッチ研修                  |
| 感染症予防対策研修会                      | 62 人 | 介護職員にもわかりやすい感染対策                  |
| バーセルインデックス研修（法人）                | 2 人  | リハビリ療法士による測定指導                    |
| 倫理と法令遵守（サクラボ）                   | 2 人  | 倫理及び法令遵守に関する研修                    |
| BCP（サクラボ）                       | 1 人  | BCP 作成研修                          |
| プライバシー保護（サクラボ）                  | 3 人  | プライバシー保護の取組みに関する研修                |
| 認知症（サクラボ）                       | 7 人  | 認知症及び認知症ケアに関する研修（基礎）              |
| 緊急時の対応（サクラボ）                    | 1 人  | 緊急時の対応に関する研修                      |
| 身体拘束禁止（サクラボ）                    | 1 人  | 身体拘束の排除の為の取組みに関する研修               |

#### ②施設外研修

| 研修・会議名               | 参加人数 | 研修内容                |
|----------------------|------|---------------------|
| サービス提供責任者研修          | 2 人  | サービス提供責任者の役割と位置づけ   |
| 福祉サービス苦情解決事業セミナー     | 1 人  | 苦情解決とサービス向上のための研修   |
| キャラバンメイト養成研修         | 6 人  | 認知症サポーター養成講座運営方法等   |
| 新任職員研修               | 1 人  | 新任職員のための研修          |
| 宮津市介護支援専門員研究会        | 21 人 | 市内事業所職員の事例検討および情報交換 |
| 宮津市地域ケア会議            | 6 人  | 生活支援体制整備事業等について     |
| 安全運転管理者講習会           | 1 人  | 施設の安全運転管理           |
| 宮津市高齢者等虐待防止ネットワーク研修会 | 1 人  | 施設事業者による高齢者虐待の予防の対応 |

|                    |     |                 |
|--------------------|-----|-----------------|
| 聞く力と伝える力セミナー       | 1 人 | 対人援助の作法に係る研修会   |
| 在宅療養安心病院登録システム説明会  | 2 人 | 説明会 ZOOM 開催     |
| 認定調査初任者研修          | 2 人 | E ラーニング視聴       |
| 実習受入協力事業所指導者講習会    | 1 人 | 介護支援専門員実務研修受入研修 |
| 医療と介護の連携推進研修会      | 1 人 | 在宅療養者への対応       |
| 看取りサポート人材養成研修      | 1 人 | 最後まで自分らしく生きる    |
| 宮津市在宅医療・介護連携シンポジウム | 4 人 | 認知症になっても大丈夫     |

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、集合形式の研修会等は中止となりました

(地域事業・総合事業)

| 事業名                         | 参加者数 |
|-----------------------------|------|
| 宮津小学校認知症サポーター養成講座 12 月 21 日 | 7 人  |

【介護実習等受入状況】

| 月      | 学校・事業所名  | 月 | 学校・事業所名   |
|--------|----------|---|-----------|
| 9・8・12 | 京都暁星高等学校 | 9 | 福祉即戦力養成研修 |

【ボランティア活動状況】

| ボランティア名  | 活動内容 | 回数/年 | 延参加数 |
|----------|------|------|------|
| 宮津天橋高等学校 | 傾聴   | 4 回  | 6 人  |

【各種会議開催状況】

| 会議名         | 開催回数/年 |
|-------------|--------|
| 職員会議        | 2 回    |
| 業務運営会議      | 12 回   |
| 認知症委員会      | 11 回   |
| 虐待及び苦情対策委員会 | 12 回   |
| 安全衛生・感染症委員会 | 12 回   |
| ヘルパー例会      | 12 回   |
| 運営推進会議      | 4 回    |
| 第三者評価委員会    | 4 回    |

## 与謝の園 事業報告書

### 【年度統括】

令和4年度は移転新築に向けて施設理念である「子どもから高齢者、垣根を超えすべての人々が笑顔で暮らせるよう地域のふれあいやつながりを深めることができる居場所づくり」をもとに様々なサービスの提供に努めました。

しかし、令和4年7月末から9月、令和5年1月から2月にかけての2回の新型コロナウイルス感染症のクラスターのため、在宅サービス短期入所については74日間の受け入れ中止となり稼働率が著しく低下しました。

特養については、コロナ感染のクラスターのため、隔離や業務縮小を行い、主に三大業務を縮小したことでご利用者には多大な不利益を与えるものとなった。ADL、QOLの低下は避けられず、改善が見られず死亡退園となったご利用者が続きました。入所に関しても地域の感染状況等の理由でスムーズな入所ができず、1,583床の空床となり、稼働率が94.5%となりました。大幅な減収となりました。コロナによる減収は特養だけにとどまらず、在宅サービスにも及び与謝の園全体が大幅な減収となりました。

コロナによる稼働率の低下や減収となった一方で、1回目のクラスターでの経験を活かして2回目のクラスターでは業務縮小の状態からできるだけ早く日常生活に戻す工夫を保健所との相談の上、多職種連携の下、取り組むことが出来たことは大きな成果であったと言えます。

### 令和4年度重点項目における成果

1. 旧桑飼小学校跡地への移転に関して地域住民との丁寧な話し合いを重ねます。
  - ・住民説明会、または説明会での質問に対して、再度の説明会で返答したり、桑飼シルクカフェの利用者やサービス利用者や家族からの要望を聞きながら、新しい施設づくりに努めました。
2. 一日の暮らしにケアの視点を持ち利用者主体のケアを実践に取り組みます。
  - ・起床、食事、入浴、就寝について、今までの暮らし方の継続を基本としながらサポートできるように、24時間シートの作成に取りとりかかりました。入所前の生活や思いを受けとめ、より良いサービスの実現に努めました。
  - ・ユニットリーダー研修に引き続き参加、リーダーの在り方、入居者の暮らしの継続、ケアへの見直しに向けての取り組みを実施しました。
3. 地域ケア会議の出席や福祉事業所連絡会等へ参加し障害、児童、高齢、医療との連携強化に努めます。
  - ・大学のフィールドワーク、社会福祉士などの実習を与謝野町福祉事業所連絡会（高齢、障害、児童）や与謝野町、社協、等と協力しながら福祉について「地域・人と学ぶ」という視点で地域や風土・生活を肌で感じてもらうことができました。
4. 最期までご本人らしく暮らせるよう看取りケアに取り組みます
  - ・施設看取りは令和3年度13名から10名と減少しましたが、看取り委員を中心に看取りノートは継続、偲びフォルダーは新規に取り組み、職員が看取った方への思いや、

次へ繋げるように自由に書き込むようにしました。今年度は家族とともに偲ぶ会を開催することはできませんでしたが、書き込んだ内容をもとにより良いケアに努めます。

## 5. 実践に即した研修会を実施します。

- ・新型コロナウイルス感染症について、月初めに研修を行いました。（4月・5月・6月）実施しましたが、7月のクラスターが発生した時、何とか対応ができましたが、十分とは言えず課題が残りました。
- ・10月に感染症サポートチーム看護師による研修を実施しました。1回目のクラスターを経験した後であったため、反省点の確認やガウンテクニック等習得でき、2回目のクラスターでは十分その成果が発揮できました。

## 6. 多様な人材の確保、育成、定着促進等総合的な人材確保に努めます。

- ・国家資格を持つ介護福祉士などには、より専門的に介護業務に専念してもらい、部屋の整備などの周辺業務は介護助手を採用することによって、介護現場で働く人の総数を確保し、介護サービスのレベルを上げるよう採用に努めましたが新たな採用はありませんでしたが介護助手について業務内容を明確にして今後の採用に努めます。

## 【事業報告】

### 1. 特別養護老人ホーム

#### ①入居利用者の状況

（ア）稼働率（入居定員：80名）

| 年度 \ 区分 | 営業日数 | 延入居数    | 空きベッド数 | 平均入居数/日 | 稼働率   |
|---------|------|---------|--------|---------|-------|
| 3年度     | 365日 | 28,531人 | 669床   | 78.2人   | 97.7% |
| 4年度     | 365日 | 27,617人 | 1,583床 | 75.6人   | 94.5% |

（イ）入退所状況（3月31日時点）

| 年度 \ 区分 | 新規入居者 | 申し込み者 | 退園者 | 施設内死亡 | 施設看取り | 施設外死亡 | 施設移転 | 帰宅 |
|---------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|------|----|
| 3年度     | 14人   | 93人   | 17人 | 3人    | 13人   | 1人    | 0人   | 0人 |
| 4年度     | 30人   | 78人   | 29人 | 16人   | 10人   | 3人    | 0人   | 0人 |

（ウ）地区別 入居状況（3月31日時点）

| 年度 \ 地域 | 宮津市 | 与謝野町 | 伊根町 | その他 | 合計  |
|---------|-----|------|-----|-----|-----|
| 3年度     | 3人  | 74人  | 0人  | 0人  | 77人 |
| 4年度     | 0人  | 78人  | 0人  | 0人  | 78人 |

（エ）年齢・性別 入居状況（3月31日時点）

| 区分 \ 年齢<br>性別 | 60～64 |   | 65～69 |   | 70～79 |   | 80～89 |    | 90～99 |    | 100以上 |    | 合 計 |    |    |
|---------------|-------|---|-------|---|-------|---|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|----|
|               | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女  | 男   | 女  | 計  |
| 3年度           | 0     | 0 | 0     | 0 | 3     | 2 | 2     | 17 | 3     | 40 | 0     | 10 | 8   | 69 | 77 |
| 4年度           | 0     | 0 | 0     | 1 | 2     | 1 | 2     | 16 | 5     | 39 | 0     | 12 | 9   | 69 | 78 |
| 平均年齢          | 3年度   |   | 男性    |   | 83歳   |   | 女性    |    | 93歳   |    | 合計    |    | 92歳 |    |    |
|               | 4年度   |   | 男性    |   | 88歳   |   | 女性    |    | 93歳   |    | 合計    |    | 92歳 |    |    |

(オ) 入居期間別 入居状 (3月31日時点)

| 期間<br>区分 | 6 か月 未 満 |      | 6 か月 以 上<br>1 年 未 満 |   | 1 年 以 上<br>3 年 未 満 |        | 3 年 以 上<br>10 年 未 満 |    | 10 年 以 上 |   | 合 計 |    |    |
|----------|----------|------|---------------------|---|--------------------|--------|---------------------|----|----------|---|-----|----|----|
|          | 男        | 女    | 男                   | 女 | 男                  | 女      | 男                   | 女  | 男        | 女 | 男   | 女  | 計  |
| 3 年度     | 0        | 7    | 1                   | 6 | 4                  | 28     | 3                   | 25 | 0        | 3 | 8   | 69 | 77 |
| 4 年度     | 4        | 12   | 0                   | 9 | 3                  | 21     | 2                   | 23 | 0        | 4 | 9   | 69 | 78 |
| 平均入居期間   |          | 3 年度 |                     |   |                    | 3.3 か月 |                     |    |          |   |     |    |    |
|          |          | 4 年度 |                     |   |                    | 3.0 か月 |                     |    |          |   |     |    |    |

(カ) 入居期間別 延べ入居状況 (特養)

| 期間<br>性別<br>年度 | 6 か月 未 満            |      | 6 か月 以 上<br>1 年 未 満 |      | 1 年 以 上<br>3 年 未 満 |      | 合 計   |
|----------------|---------------------|------|---------------------|------|--------------------|------|-------|
|                | 男                   | 女    | 男                   | 女    | 男                  | 女    |       |
| 3 年度           | 1 人                 | 4 人  | 2 人                 | 10 人 | 3 人                | 21 人 |       |
| 4 年度           | 4 人                 | 17 人 | 0 人                 | 10 人 | 4 人                | 28 人 |       |
| 期間<br>性別<br>年度 | 3 年 以 上<br>10 年 未 満 |      | 10 年 以 上            |      | 計                  |      | 合 計   |
|                | 男                   | 女    | 男                   | 女    | 男                  | 女    |       |
| 3 年度           | 3 人                 | 34 人 | 0 人                 | 5 人  | 9 人                | 84 人 | 93 人  |
| 4 年度           | 4 人                 | 35 人 | 0 人                 | 5 人  | 12 人               | 95 人 | 107 人 |

(キ) 介護度別 入居状況 (3月31日時点)

| 介護度<br>性別<br>年度 | 要介護 1 |      | 要介護 2 |   | 要介護 3 |      | 要介護 4 |    | 要介護 5 |    | 合 計 |    |
|-----------------|-------|------|-------|---|-------|------|-------|----|-------|----|-----|----|
|                 | 男     | 女    | 男     | 女 | 男     | 女    | 男     | 女  | 男     | 女  | 男   | 女  |
| 3 年度            | 0     | 0    | 0     | 0 | 2     | 14   | 5     | 32 | 1     | 23 | 8   | 69 |
| 4 年度            | 0     | 0    | 0     | 0 | 3     | 18   | 4     | 33 | 2     | 18 | 9   | 69 |
| 平均要介護度          |       | 3 年度 |       |   |       | 4.10 |       |    |       |    |     |    |
|                 |       | 4 年度 |       |   |       | 3.98 |       |    |       |    |     |    |

(ク) 介護度別 延入居状況

| 介護度<br>年度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3   | 要介護 4    | 要介護 5   | 合 計      |
|-----------|-------|-------|---------|----------|---------|----------|
| 3 年度      | 0 人   | 0 人   | 7,218 人 | 13,393 人 | 7,920 人 | 28,531 人 |
| 4 年度      | 0 人   | 0 人   | 6,011 人 | 13,380 人 | 8,226 人 | 27,617 人 |

(ケ) 加算の状況

| 加算項目<br>(単位) | 看護体制<br>加算Ⅰ (4) | 看護体制<br>加算Ⅱ (8) | 夜勤職員配置<br>加算Ⅰ (13) | 認知症専門<br>ケア加算Ⅰ (3) | 日常生活継続<br>支援加算 (36) | サービス提供<br>体制加算Ⅰ (22) |
|--------------|-----------------|-----------------|--------------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| 算定延回数(回)     | 27,360          | 27,360          | 27,360             | 0                  | 16,079              | 11,664               |
| 加算収入額(円)     | 1,094,400       | 2,188,800       | 3,556,800          | 0                  | 5,788,440           | 2,566,140            |

※11月より日常生活継続支援加算をサービス提供体制加算に変更

| 加算項目<br>(単位) | 安全対策体制<br>加算 (20) | 退所前訪問<br>相談援助加算<br>(460) | 退所時相談<br>援助加算<br>(400) | 退所前連携<br>加算(500) | 看取り介護<br>加算Ⅰ (72) | 看取り介護<br>加算Ⅱ (144) |
|--------------|-------------------|--------------------------|------------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| 算定延回数(回)     | 17                | 0                        | 0                      | 0                | 0                 | 58                 |



|          |       |   |   |   |   |        |
|----------|-------|---|---|---|---|--------|
| 加算収入額(円) | 3,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 83,520 |
|----------|-------|---|---|---|---|--------|

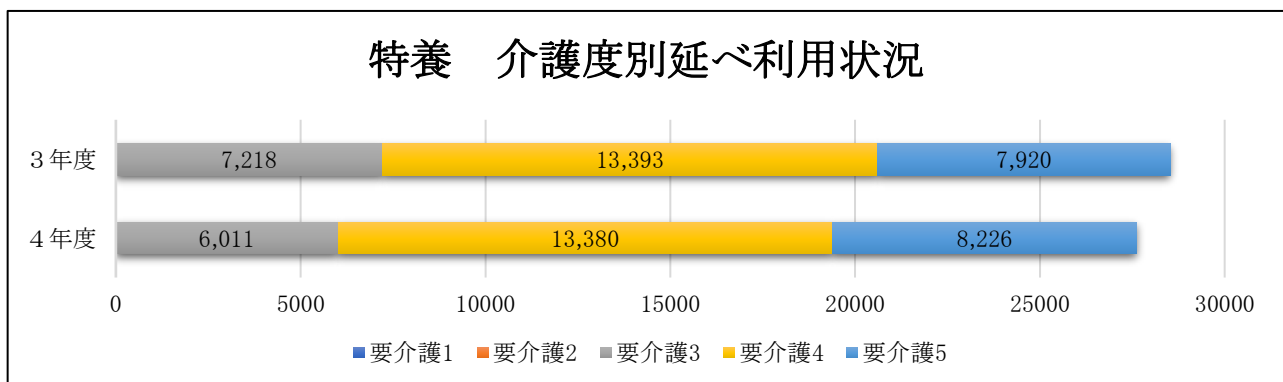
| 加算項目<br>(単位) | 看取り介護加算Ⅲ (680) | 看取り介護加算Ⅳ (1280) | 外泊時費用<br>提供体制強化<br>加算 (246) | 経口維持<br>加算Ⅰ (400) | 経口維持<br>加算Ⅱ (100) | ADL 維持等加算<br>Ⅱ (60) |
|--------------|----------------|-----------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 算定延回数(回)     | 18             | 9               | 98                          | 0                 | 0                 | 0                   |
| 加算収入額(円)     | 122,400        | 115,200         | 241,080                     | 0                 | 0                 | 0                   |

| 加算項目<br>(単位) | 褥瘡マネジメント加算Ⅱ (13) | 褥瘡マネジメント加算Ⅰ (3) | 排泄支援加算Ⅰ (10) | 排泄支援加算Ⅳ (100) | 科学的推進体制加算Ⅰ (40) | 初期加算 (30) |
|--------------|------------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|-----------|
| 算定延回数(回)     | 900              | 34              | 934          | 0             | 934             | 788       |
| 加算収入額(円)     | 117,000          | 1,020           | 93,400       | 0             | 373,600         | 236,400   |

| 加算項目<br>(単位) | 介護職員処遇<br>改善加算Ⅰ | 介護職員等<br>特定処遇改善<br>加算 | ベースアップ等<br>支援加算 | 加算収入額合計    |
|--------------|-----------------|-----------------------|-----------------|------------|
| 算定延回数(回)     |                 |                       |                 |            |
| 加算収入額(円)     | 19,249,380      | 6,263,410             | 1,801,110       | 43,895,500 |

## (コ) その他の収入

| 項目<br>年度 | 貴重品管理料    | その他の収入合計  |
|----------|-----------|-----------|
| 4年度      | 723,000 円 | 723,000 円 |



## ○介護部

入居者の認知症の重度及び認知症対応への専門性が求められています。また、ニーズも多様化しており、リスクへの対応・情報の共有化・きめ細やかな個々に合わせた対応がますます重要となっています。引き続き感染症予防の為、入居者や介護員自身の健康管理に努めると共に、職員のストレス緩和、働き続けやすい環境、発言・チャレンジしやすい職員間の信頼関係づくりが必要と感じました。

令和4度は、入居者の声に耳を傾け、「入居者が望む生活」が実現できるような支援を目指し、建て替え後のユニットケアを意識した目標を挙げ取り組みました。

- ① 各ユニットでは、ユニットごとに具体的な目標を挙げ、ユニット会議時や日々の意見交換をもとに、利用者の日々変わる状態把握を行い、入居者の「出来ない事」ではなく

「出来る事」に目を向け、少しでも安心して、穏やかに生活が送れるような支援を取り組みました。また、誰が行っても一定水準のケアの質が保障される根拠あるケアに努め、ユニット職員間での情報の共有化に力を入れました。また、ユニット目標を達成するためには、どうすれば取り組めるか、取り組めているのかなどの検討や評価もその都度行いました。

- ② 入居者との関わりを通し、入浴・排泄・食事形態・口腔ケア、ポジショニング、シーティングの見直しを実施しましたが、感染予防をしながらのケアの難しさを感じました。コロナ禍により様々な制限がある中でしたが、少しでも意向に添ったレクリエーション、少人数でも楽しめる行事などを計画、実施しました。誕生日には、好きなおやつ・食べ物を聞き、職員・他の利用者と共に一緒にお祝いをし、「その人らしさ」「自分らしさ」「信頼感」を大切に取り組みました。感染が落ち着きを見せた時には、限定的ではありませんが、家族と共に顔を合わせ一緒にお祝いをする事ができ、触れ合うことの大切さを実感しました。
- ③ 2度の新型コロナウイルスによるクラスターにより、入居者、職員とも、とても大きな不安、悲しみがありました。クラスター時の、入居者に対しての関わり方の難しさ、初めての感染拡大防止(職員、入居者を守る)のための感染症対応、戸惑うことばかりでした。また、クラスター後も、入居者のADL、意欲、免疫の低下も見られ、今までの生活の(普段通りの)大切さ、重要さを痛感しました。
- ④ サービスの質の向上のため、各種委員会活動、部会活動をはじめ、委員会主催の施設内研修、外部への施設外研修に参加し、引き続き認知症等の専門的知識の向上に努め、研修を行い、認知症ケアの悩みや対応方法について考えていきました。また、移設後のユニットケアに向けて、ユニットリーダー研修に引き続き参加、リーダーの在り方、入居者の暮らしの継続、24 シートとは？といったユニットケアを意識した業務、ケアの見直しに向けての取り組みを実施しています。また、ユニット会議内においては、コロナ感染予防の為、手指消毒、手洗いの仕方、ガウンテクニックの手技についての勉強会を何度も実施し、専門性を高める為、医療的な部分の勉強等も実施しました。
- ⑤ 看取りケアに力を入れる為に、「看取り」についての理解を深め、職員間の意識の統一を図る事に努め、引き続きユニット内で、その人らしい看取りケアの充実を図りました。しかし、今年度は、コロナ感染・コロナ対応後の、コロナ看取りも多くあり、尊厳ある看取りケアであったか、家族の思いを受け止められたか、など考える事が多くあります。今回の経験を教訓に感染症の中でも、尊厳ある看取りケアができるように今後に生かしていくことが大切であると感じます。

## ○相談部

相談室を中心に「稼働率」を小まめに把握し、毎月の業務運営会議などを通して各部署主任を中心に情報共有を行いました。その中で、ご利用者の退所が増えたことや施設内での新型コロナウイルス感染拡大予防対応により、稼働率に影響を与えました。

退所者数は増えてきましたが、施設内看取りに取り組んだ結果、加算の算定者数は安定しています。

待機者について、宮津市の特養受け入れが進んでいるため与謝野町の待機者は前年度より少なくなっています。介護度別にみても要介護3の占める割合が多く介護度の高い方の

待機は減っています。

新型コロナウイルス流行により、面会制限、施設内行事の自粛など様々な対策、制限を強いられました。ご家族の面会については、できる限り対面面会が行えるようにと考え、感染症対策委員会を中心に近隣地域の感染状況の確認、情報交換を行い、短時間・少人数等の条件を設け、感染予防対策を十分に講じたうえで対面面会の実施を再開しました。また、コロナ禍の中、ICTを活用し、自宅からできるオンライン面会システムの導入により、ご家族に少しでもご利用者の様子をお伝えできるよう努めました。

(ア) 相談件数

| 区分<br>年度 | 入所相談 | 在園者相談 | 面接(本人) | 退所相談 | その他 | 合 計   |
|----------|------|-------|--------|------|-----|-------|
| 3 年度     | 99 件 | 221 件 | 36 件   | 1 件  | 0 件 | 357 件 |
| 4 年度     | 78 件 | 288 件 | 30 件   | 0 件  | 0 件 | 396 件 |

(イ) 待機者数 (地区別)

| 地域<br>年度 | 宮津市  | 与謝野町 | 伊根町 | その他 | 合 計  |
|----------|------|------|-----|-----|------|
| 3 年度     | 16 人 | 71 人 | 3 人 | 2 人 | 92 人 |
| 4 年度     | 16 人 | 57 人 | 3 人 | 2 人 | 78 人 |

(ウ) 待機者数 (介護度別)

| 介護度<br>年度 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 区変中 | その他 | 合 計  |
|-----------|-------|-------|-------|-----|-----|------|
| 3 年度      | 47 人  | 22 人  | 22 人  | 0 人 | 1 人 | 92 人 |
| 4 年度      | 30 人  | 24 人  | 18 人  | 6 人 | 0 人 | 78 人 |

(エ) 退去状況 (特養)

| 退去先<br>年度<br>区分 |    | 自宅・家族宅 | 園内で死去 | 医療機関で死去 | 看取りによる死亡 | その他<br>医療機関 (入院) 等 | 合 計  |
|-----------------|----|--------|-------|---------|----------|--------------------|------|
| 3 年度            | 人数 | 0 人    | 3 人   | 1 人     | 13 人     | 0 人                | 17 人 |
|                 | 比率 | 0%     | 18%   | 6%      | 76%      | 0%                 | 100% |
| 4 年度            | 人数 | 0 人    | 16 人  | 3 人     | 10 人     | 0 人                | 29 人 |
|                 | 比率 | 0%     | 55%   | 10%     | 35%      | 0%                 | 100% |

○給食部

- 新型コロナウイルスクラスターが発生し、外出はもちろん、居室から出る事も制限しすべての行事も中止、家族との面会も中止。それに輪をかける様にご利用者様の楽しみである食事までもが制限される非常事態となり、職員一同心が痛む一年でした。感染拡大を阻止するために必要な事とはわかっていましたが一刻も早くご利用者様の日常が取り戻せること、喜んで頂ける食事が提供できるよう感染対策に努めました。また、外出の機会がほとんどない中で四季を感じられる食事提供に努めました。
- 建て替えを目前に控えていますが、新型コロナ感染の影響により施設見学、情報収集など思うように進まず気持ちばかりが焦る日々でした。厨房設備は専門性が強く実際、厨房内で業務をする職員で知恵を出し合い試行錯誤しながら準備を進めています。また、給食

部で中長期的な計画を立て、担当制にすることで職員 1 人 1 人に責任を持って建て替えに向き合ってもらえるよう取り組んできました。

- ・「栄養ケア」に基づき、糖尿食・減塩食など特別食の提供や、利用者一人一人の状態や体調・嗜好に応じた個別的な食事提供にも引き続き力を注いできました。通所介護・短期入所者においても、健康状態や嗜好などに応じた個別対応をはじめ、ご利用者が楽しく食事ができ、なお且つ栄養改善が図れるよう努めました。

その他「安心・安全な食事提供」を前提に、施設内や厨房内の衛生管理・職員の体調管理を徹底し、食中毒や感染症などの発生予防に努めました。

## ①提供実績

### (ア) 延食数

| 区分<br>年度 | 特養       | 短期入所    | 通所      | 合計        |
|----------|----------|---------|---------|-----------|
| 3 年度     | 88,162 食 | 7,867 食 | 6,436 食 | 102,465 食 |
| 4 年度     | 81,264 食 | 6,519 食 | 6,396 食 | 94,179 食  |

### (イ) 栄養基準（1 日あたり）

| 項目<br>区分 | エネルギー<br>(kcal) | タンパク質<br>(g) | カルシウム<br>(mg) | 脂質<br>(g) | 鉄分<br>(mg) | ビタミン A<br>( $\mu$ gRE) | ビタミン B 1<br>(mg) | ビタミン B 2<br>(mg) | ビタミン C<br>(mg) |
|----------|-----------------|--------------|---------------|-----------|------------|------------------------|------------------|------------------|----------------|
| 基 準      | 1300~1500       | 60           | 600           | 30        | 10         | 550                    | 0.8              | 1.0              | 80             |
| 3 年度     | 1416            | 56.0         | 470           | 33.8      | 7.0        | 757                    | 0.64             | 1.39             | 70             |
| 4 年度     | 1417            | 54.6         | 467           | 42.5      | 7.9        | 674                    | 0.61             | 1.34             | 67             |

### (ウ) 食品群別摂取量（1 人 1 日当たり食糧構成）

(単位：g)

| 群 類<br>区 分 | 1 群   |    | 2 群 |      |    |      |     |     | 3 群   |      |     |     |     | 4 群 |    |     |
|------------|-------|----|-----|------|----|------|-----|-----|-------|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|
|            | 牛乳乳製類 | 卵類 | 魚介類 | 獸鳥肉類 | 豆類 | 大豆製品 | 味噌類 | 堅果類 | 綠黄色野菜 | 淡色野菜 | 果実類 | 芋類  | 海藻類 | 米   | 麦  | 油脂  |
| 基 準        | 180   | 50 | 60  | 40   | 40 |      | 10  | 1   | 100   | 150  | 80  | 100 | 7   | 120 | 70 | 7   |
| 今年度平均      | 182   | 31 | 54  | 42   | 56 |      | —   | 0.7 | 83    | 159  | 64  | 36  | 3.0 | 122 | 79 | 7.1 |

\*味噌は豆類・大豆製品に含みます。

## ○看護部

全国的にコロナウィルス感染が拡大する中、今年度も感染症対策には力を入れてきましたが、8 月と 1 月にコロナクラスターが発生してしまいました。感染の発端はいずれもショート利用者からでした。発生後は感染症サポートチームや保健所等の支援をいただき、職員も対策を見直し、一丸となって何とか収束に至ることができました。

コロナ対応の中で数名の利用者が亡くなられ、職員は非常に苦しい経験となりました。今後はこの辛い経験が忘れ去られることがないよう、引き続き感染対策を講じていきます。

看護体制においては、今年度も担当制を敷き、家族に対しこまめに情報提供を行い信頼関係の構築に努めました。その関わりの中で、家族のニーズを理解し、それに沿った生活を送っていただけるように努力しました。医療を望まれる方や、看取りを希望される方

様々なケースに寄り添いました。他職種とも、報告・連絡・相談に努めました。

今年度はコロナ罹患による入院が3例あり、保健所との調整が不慣れなため戸惑う部分もありました。他科受診については、コロナ禍でもあり外出することによる感染のリスクを考慮し、往診を多く取り入れ、ご利用者がいつもの環境で負担なく診療を受けてもらえるよう工夫しました。

また、地域に向けては、シルクカフェにおいて感染症予防についての情報を発信する機会をもつことができました。

来年度も引き続き、利用者・家族が安心して生活できるよう、医療面で支援していきます。

## 2. 短期入所介護事業所

今年度、新型コロナウイルスの2度に亘るクラスターにより、計74日にもおよぶ日数を営業停止せざるを得ない状況となりました。さらに、与謝の園の事業が停止したことにより、利用者はリスク分散のために複数の短期入所事業所を併用される動きが見られ、クラスター終息後、与謝の園の営業を再開して以降も、事業所はそのまま併用される方がほとんどで、利用者が部分的に流出するという結果となりました。また、施設における感染が発生するに至るには、職員ないし外部からの利用者（おもに短期入所利用者）がウイルスを持ち込んでしまうことが原因であり、そこからひとたび感染が拡がると、特養すべての感染が治まるまで短期利用者の受入が再開できないことが大きな痛手でありました。感染予防における併設型事業所の脆弱さが浮き彫りとなったと思っています。しかしながら、クラスターに怯えて必要以上に利用を断ることや事業を抑えることは、利用者の生活や地域に大きな影響を及ぼし、さらには先に述べたように利用者の流出を招いてしまいます。正しく感染予防対策をおこなうことと、万が一感染源の持ち込みがあったとしてもそれ以上の感染を防ぐ常日頃のこまめな感染予防対策が、感染予防と安全なサービス利用を両立できるものではないかと感じました。

新型コロナウイルス以外の状況変化については、地域の利用者自体の減少がうかがえます。この傾向は今後も継続していくと言われているので、地域に出向いて新規利用者を獲得していくことと、感染予防対策を継続し安全にサービスを利用してもらうこと、満足度の高いサービスの提供をおこなうことにより、利用者を選んでもらえる事業所としていきたいと思っています。

介護度別延入所状況にあるように、要支援1・2は変動があるものの、要介護1・2は増加、要介護3以上は減少となっています。

### ①利用実績

#### (ア) 稼働率（定員：10名）

| 年度 \ 区分 | 営業日数 | 延入居数   | 平均入居数/日 | 稼働率   |
|---------|------|--------|---------|-------|
| 3年度     | 365日 | 3,151人 | 8.6人    | 86.3% |
| 4年度     | 291日 | 2,618人 | 9.0人    | 90.0% |

※令和4年度コロナ感染症により74日営業を休止する。

令和4年7月11日～7月18日・7月23日～7月24日・7月31日～9月4日・令和5年1月9日～2月5日

(イ) 契約数

| 区分<br>年度 | 新規入所者 |
|----------|-------|
| 3 年度     | 30 人  |
| 4 年度     | 19 人  |

(ウ) 地区別 入所状況

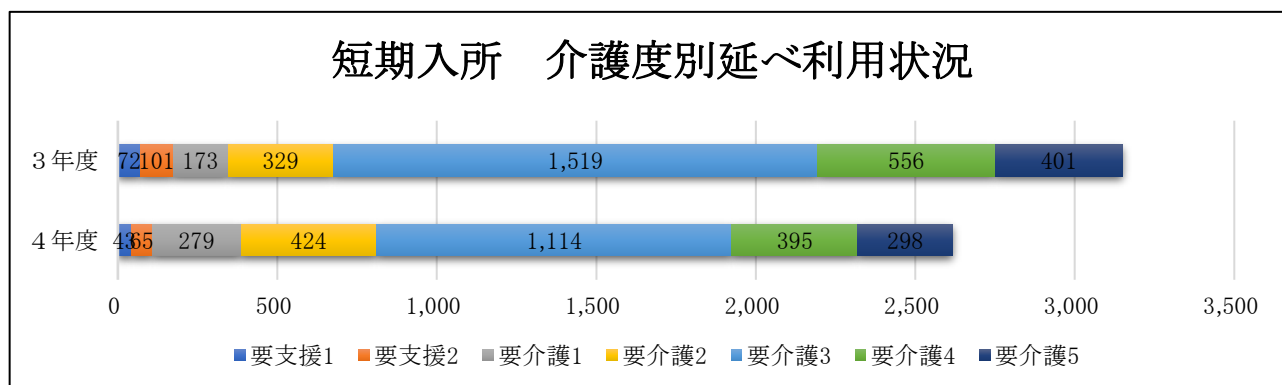
| 地域<br>年度 | 宮津市 | 与謝野町 | 伊根町 | その他 |
|----------|-----|------|-----|-----|
| 3 年度     | 0 人 | 60 人 | 0 人 | 1 人 |
| 4 年度     | 2 人 | 57 人 | 0 人 | 0 人 |

(エ) 介護度別 入所状況

| 介護度<br>性別<br>年度 | 要支援 1 |   | 要支援 2 |   | 要介護 1 |   | 要介護 2 |    | 要介護 3      |    | 要介護 4 |   | 要介護 5 |   | 合計 |    |
|-----------------|-------|---|-------|---|-------|---|-------|----|------------|----|-------|---|-------|---|----|----|
|                 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女  | 男          | 女  | 男     | 女 | 男     | 女 | 男  | 女  |
| 3 年度            | 1     | 0 | 0     | 1 | 2     | 8 | 7     | 12 | 3          | 20 | 0     | 7 | 3     | 4 | 15 | 51 |
| 4 年度            | 1     | 0 | 1     | 2 | 4     | 8 | 4     | 16 | 5          | 13 | 1     | 8 | 4     | 3 | 20 | 70 |
| 平均要介護度          | 3 年度  |   |       |   | 2.73  |   |       |    |            |    |       |   |       |   |    |    |
|                 | 4 年度  |   |       |   | 2.57  |   |       |    | 要支援 1・2 含む |    |       |   |       |   |    |    |

(オ) 介護度別 延入所状況

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3   | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計      |
|-----------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 72 人  | 101 人 | 173 人 | 329 人 | 1,519 人 | 556 人 | 401 人 | 3,151 人 |
| 4 年度      | 43 人  | 65 人  | 279 人 | 424 人 | 1,114 人 | 395 人 | 298 人 | 2,618 人 |



### 3. 通所介護事業所

職員一人一人が自己管理を行い、新型コロナウイルスを持ち込まないようにと私生活でも注意を払い過ごした1年間でした。新型コロナウイルスの対策を行い、ご利用者・ご家族からも理解を得ながら、ご利用者のニーズやご家族の意向を可能な限り尊重し、各居宅介護支援事業所等との連携のもと、ご利用者からの要望などを取り入れた満足度の高いサービスの提供に努めました。

令和4年度は、利用者・職員・家族の新型コロナウイルスの感染や特養施設内での新型コロナウイルス感染等もあり、計8日間完全休止しています。8月には休止の代替え

として、通所職員による自宅での入浴介助を 5 日間（12 件）行いました。8 月と 1 月には通常のサービス提供では感染リスクも高いことから、午前午後に分けた、入浴確保のための短時間のサービス提供を 12 日間（132 件）行いました。8 月の特養施設内での新型コロナウイルス感染拡大の際は、通所職員も感染のない旧館での食事介助や感染廃棄物移動など、協力することができました。

令和 4 年度も長期入所、入院、亡くなられた方も多くありました。上記理由により、休止や代替えも行いました。その結果、年間延べ利用人数（前年実績比：475 名減の 5,843 名）・1 日平均利用率（80.3%）と、令和 3 年度実績を下回る結果となりました。

令和 5 年度内には、新しい施設への移転が決まっています。業務の見直し・改善を図り、与謝の園通所介護事業所の、強みや特色を出しつつ、ご利用者のニーズに応じたサービス提供が出来るように努めます。また、設備面が整う事で、入浴加算Ⅱの算定も可能になります。算定に向け書類や家族への説明などの準備へ努めます。

## ①利用実績

### （ア）延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 区分<br>年度 | 定員   | 営業日数  | 延利用数    | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|------|-------|---------|-------|-------|
| 3 年度     | 24 人 | 310 日 | 6,318 人 | 84.9% | 2.0   |
| 4 年度     | 24 人 | 303 日 | 5,843 人 | 80.3% | 2.0   |

※令和 4 年度コロナ感染症の為、8 日営業を休止する

### （イ）介護度別利用状況

| 介護度<br>年度 | 要介護 1   | 要介護 2   | 要介護 3   | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計     |
|-----------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 2,158 人 | 1,602 人 | 1,276 人 | 181 人 | 235 人 | 5,452 人 |
| 4 年度      | 1,336 人 | 1,947 人 | 1,429 人 | 260 人 | 115 人 | 5,087 人 |

### （ウ）介護度別利用状況 介護予防

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 事業対象者 | 合 計   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 3 年度      | 93 人  | 683 人 | 90 人  | 866 人 |
| 4 年度      | 81 人  | 602 人 | 73 人  | 756 人 |

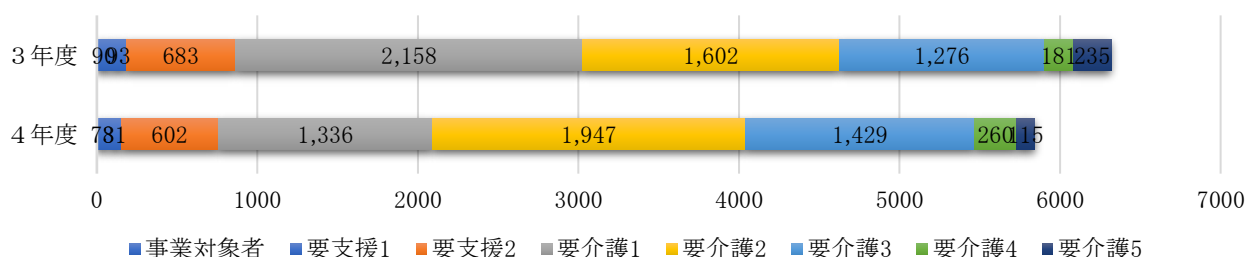
### （エ）①加算の状況（通所）

| 加算項目<br>年度 | 入浴加算  | 送迎減算 | 提供体制  | 科学的介護推進体制加算 | 処遇改善 | 特定処遇改善 | ベースアップ加算 | 令和 3 年 9 月 30 日まで上乗せ分 |
|------------|-------|------|-------|-------------|------|--------|----------|-----------------------|
| 3 年度       | 4,875 | 263  | 5,457 | 708         | 869  | 769    | —        | 375                   |
| 4 年度       | 4,227 | 171  | 5087  | 705         | 705  | 705    | 336      | —                     |

### ②加算の状況（予防）

| 加算項目<br>年度 | 処遇改善 | 特定処遇 | ペア支援 | 科学的介護推進体制加算 | 提供体制 | 令和 3 年 9 月 30 日まで上乗せ分 |
|------------|------|------|------|-------------|------|-----------------------|
| 3 年度       | 140  | 140  | —    | 125         | 140  | 75                    |
| 4 年度       | 129  | 129  | 70   | 129         | 129  | —                     |

## 通所介護 介護度別延べ利用状況



### 4. 訪問介護事業所

毎日訪問し日常生活の支援を行っていた利用者の入院や長期入所等により、訪問数の減少が見られました。

その他にも、自宅にて転倒され入院される方が多数ありました。冬季は毎年利用者数が減少する傾向にはありますが、多く訪問していた方を中心にキャンセルが続いた事で更に訪問数の減少が見られました。

援助内容別に見ると、以前は家事代行の部分が多くありましたが、今年度の新規の方からは「見守りの支援」を取り入れ、ヘルパーが全て代行するのではなく、見守りを行ないながら一緒に行なう・出来るように声掛けをし、促して一緒に行なう・思い出してもらうように声かけを行ない見守るといった内容が増えてきています。「自立支援」を定期的に会議でも伝える事で意識改革を行ない、「自立支援」を目指して支援しています。

令和5年度、訪問介護事業所は5名体制となりますが、引き続き自立支援を念頭に、一日でも長く住み慣れた自宅での生活が続けられるように支援し、残存機能の維持・向上にも努め、支援させて頂きたいと思っております。

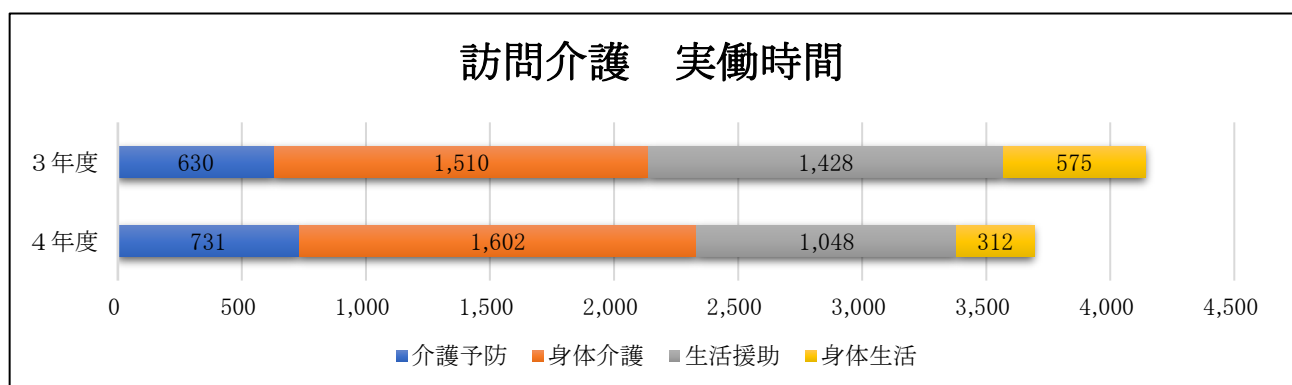
### ①利用実績

#### (ア) 介護度別利用状況及び実働時間数

|             | 年度    | 介護予防サービス     |          | 介 護 サ ー ビ ス |          |          |          |          | 障害者<br>支援 | 合 計 |
|-------------|-------|--------------|----------|-------------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----|
|             |       | 要支援<br>1     | 要支援<br>2 | 要介護<br>1    | 要介護<br>2 | 要介護<br>3 | 要介護<br>4 | 要介護<br>5 |           |     |
| 契約人数<br>(人) | R3 年度 | 3            | 7        | 11          | 15       | 9        | 10       | 11       |           | 66  |
|             | R4 年度 | 5            | 8        | 10          | 20       | 7        | 3        | 9        |           | 62  |
| 介護予防<br>(h) | R3 年度 | 630. 時間 20 分 |          |             |          |          |          |          |           | 15% |
|             | R4 年度 | 731 時間 05 分  |          |             |          |          |          |          |           | 20% |
| 身体介護<br>(h) | R3 年度 | 1510 時間 15 分 |          |             |          |          |          |          |           | 36% |
|             | R4 年度 | 1602 時間 35 分 |          |             |          |          |          |          |           | 43% |
| 生活援助<br>(h) | R3 年度 | 1428 時間 50 分 |          |             |          |          |          |          |           | 35% |
|             | R4 年度 | 1048 時間 25 分 |          |             |          |          |          |          |           | 28% |
| 身体生活<br>(h) | R3 年度 | 575 時間 40 分  |          |             |          |          |          |          |           | 14% |
|             | R4 年度 | 312 時間 35 分  |          |             |          |          |          |          |           | 9%  |



|     |       |               |      |
|-----|-------|---------------|------|
| 合 計 | R3 年度 | 4145. 時間 05 分 | 100% |
|     | R4 年度 | 3694 時間 40 分  | 100% |



## 5. 訪問入浴事業所

訪問入浴は自宅での浴槽では入浴が困難な在宅の要介護者に対して浴槽を自宅に持ち込み入浴の介護を行うサービスです。通常は介護職員 2 名と看護職員 1 名の 3 名でサービスの提供を行っています。ご利用者は重度のご利用者も多く医療的処置(在宅酸素・胃瘻・尿バルーン・褥瘡処置など)を有するご利用者やターミナル期のご利用者にも安心して入浴していただきました。

令和 4 年度は実施日数、契約者数、利用者数など増加しました。特に在宅看取りのご利用者に対して、新規利用者の受け入れを迅速に対応できたことや、入浴日や時間に対しても柔軟な対応ができたと考えます。

感染症対策としては、使い捨てエプロン・ロング手袋を使用し、利用者に触れる備品や器具等はサービスの提供毎に洗浄・消毒を行いご利用者に感染させないように徹底しました。

これからも、介護・看護・医療・各事業所との連携を密に情報交換を行い、より良いサービスの提供を行います。

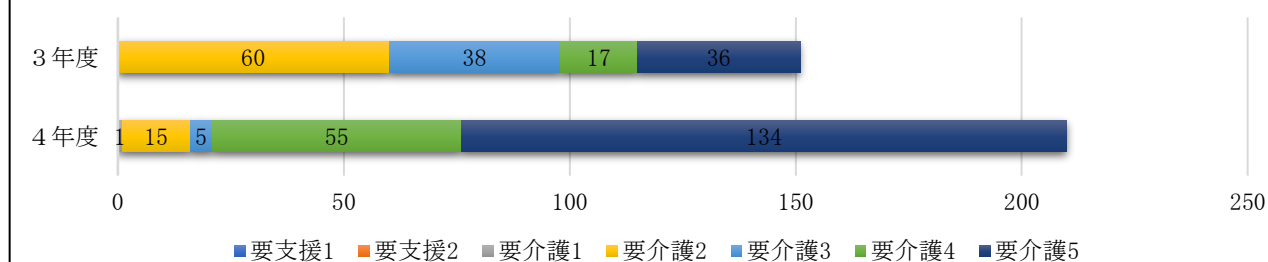
### ①利用実績

(ア) 延べ利用者数及び利用率(要介護者及び要支援者)

| 区分<br>年度 | 契約者数 | 営業日数  | 延利用数  | 平均稼働率 | 平均介護度 |
|----------|------|-------|-------|-------|-------|
| 3 年度     | 15 人 | 104 日 | 151 人 | 1.7   | 3.3   |
| 4 年度     | 20 人 | 104 日 | 210 人 | 2.0   | 3.7   |

| 介護度<br>区分      |      | 介護予防サービス |       | 介護サービス |       |       |       |       | 合 計   |
|----------------|------|----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                |      | 要支援 1    | 要支援 2 | 要介護 1  | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |       |
| 介護度別<br>利用者数   | 3 年度 | 0 人      | 0 人   | 0 人    | 3 人   | 4 人   | 3 人   | 5 人   | 15 人  |
|                | 4 年度 | 0 人      | 0 人   | 1 人    | 5 人   | 3 人   | 1 人   | 10 人  | 20 人  |
| 介護度別延<br>べ利用者数 | 3 年度 | 0 人      | 0 人   | 0 人    | 60 人  | 38 人  | 17 人  | 36 人  | 151 人 |
|                | 4 年度 | 0 人      | 0 人   | 1 人    | 15 人  | 5 人   | 55 人  | 134 人 | 210 人 |

## 訪問入浴 介護度別延べ利用状況



## 6. 居宅介護支援事業所

昨年度と比較し相談件数は大差なく、ケアプラン作成実件数もほぼ同数であるにもかかわらず、月当たりの給付管理数は年度前半で134～136件、後半には118～124件と減りました。利用者の状態や介護者の状況の変化にともない、自宅での生活が困難になり、入院や施設入所に至るケースが多くあった他、病院からターミナル期の状態で退院される利用者を積極的に受け入れた結果であると考えます。

10月よりケアマネジャー1名増員となったのを機に、福祉課や地域包括支援センターに働きかけて新規利用者の獲得に努め、認定調査の実施や介護予防プランの委託を増やそう計画していましたが、3月末退職により再び4名となりました。

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大防止のための基本的な行動を取り、利用者の健康状態を把握し、地域や近隣の発生状況を確認して情報収集を行うなど、関係部署と協働して対応に努めました。

利用者宅への訪問やサービス担当者会議の開催、退院前カンファレンスへの参加などにおいても、感染状況に応じて適切な行動を心がけました。

地域との連携においては、地域ケア会議やケアマネ連絡会、各種研修等に積極的に参加し、地域包括支援センターや医療福祉の関係機関と顔の見える関係作りを心がけました。

シルクカフェは、コロナ禍のために開催中止や時間短縮・感染防止対策を考慮した上での開催となりましたが、地域の皆さんと交流して、楽しいひとときを過ごすことができました。

次年度も引き続き、与謝野町地域の高齢者やその介護者が、住み慣れた地域や家庭で安心して生活が継続できるよう、迅速で丁寧な支援を行っていききたいと思います。

### ①利用実績

#### (ア) 内容別相談件数

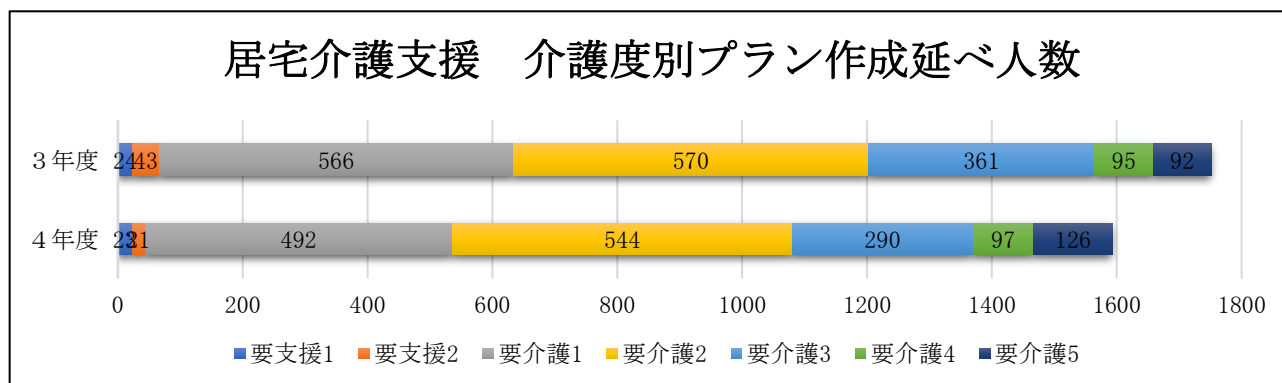
| 年度 \ 内容 |    | 介護保険その他福祉サービス | 権利擁護(成年後見) | 高齢者虐待 | その他 | 合計      |
|---------|----|---------------|------------|-------|-----|---------|
| 3年度     | 実数 | 202件          | 2件         | 1件    | 20件 | 225件    |
|         | 延数 | 12,836件       | 9件         | 1件    | 42件 | 12,888件 |
| 4年度     | 実数 | 236件          | 3件         | 2件    | 42件 | 283件    |
|         | 延数 | 12,509件       | 11件        | 8件    | 86件 | 12,614件 |

## (イ) ケアプラン作成管理件数

|      | 作成管理延人数 | 作成管理実件数 |
|------|---------|---------|
| 3 年度 | 1,751 人 | 196 件   |
| 4 年度 | 1,593 人 | 193 件   |

## (ウ) 介護度別プラン作成延べ人数

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計      |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 24 人  | 43 人  | 566 人 | 570 人 | 361 人 | 95 人  | 92 人  | 1,751 人 |
| 4 年度      | 23 人  | 21 人  | 492 人 | 544 人 | 290 人 | 97 人  | 126 人 | 1,593 人 |



## 7. 与謝の園診療所

## 【入居者の診療状況及び健康診断等実施状況】

## 診療状況

## (ア) 与謝の園

| 科目<br>年度 | 内科系 | 外科系  | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数  | 94   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数  | 3920 | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 4 年度     | 実数  | 107  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数  | 3291 | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |

## (イ) 他の医療機関 通院

| 科目<br>年度 |    | 内科系 | 外科系 | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数 | 16  | 12  | 0   | 6   | 2    | 16  | 5   | 3   |
|          | 延数 | 22  | 38  | 0   | 30  | 3    | 83  | 26  | 10  |
| 4 年度     | 実数 | 23  | 14  | 3   | 2   | 3    | 12  | 4   | 4   |
|          | 延数 | 31  | 33  | 10  | 5   | 10   | 37  | 13  | 5   |

## (ウ) 他の医療機関 入院

| 科目<br>年度 |    | 内科系 | 外科系 | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数 | 10  | 2   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 1   |
|          | 延数 | 291 | 12  | 0   | 0   | 24   | 0   | 0   | 23  |

|      |    |     |    |   |   |   |   |   |   |
|------|----|-----|----|---|---|---|---|---|---|
| 4 年度 | 実数 | 13  | 1  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|      | 延数 | 227 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(エ) 健康診断等の実施状況（実施日時）

| 年度   | 対象人数 | 胸部集団検診           | 検尿検査           | 血液検査                                | 歯科健診 |
|------|------|------------------|----------------|-------------------------------------|------|
| 3 年度 | 80 人 | 令和 3 年 10 月 25 日 | 令和 4 年 2 月 1 日 | 令和 3 年 6 月 17 日<br>令和 3 年 12 月 15 日 | なし   |
| 4 年度 | 80 人 | 令和 4 年 10 月 24 日 | 令和 5 年 2 月 1 日 | 令和 4 年 6 月 13 日<br>令和 4 年 12 月 26 日 | なし   |

8. 事務

【職員研修参加状況】

① 施設内研修

| 研修・会議名                              | 研修内容                                                 |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 身体拘束ゼロ委員会                           | 法令遵守について／動画                                          |
| 身体拘束ゼロ委員会                           | 運営規定について 穴埋め問題                                       |
| 感染症対策委員会主催                          | 感染症の予防と対策について／動画 解答用紙提出                              |
| 感染症対策委員会主催                          | 食中毒予防について／書面                                         |
| 新型コロナ研修会                            | 毎月開催                                                 |
| 安全衛生委員会主催                           | 災害避難訓練前研修                                            |
| 安全衛生委員会主催                           | 職員腰痛予防                                               |
| リスクマネジメント委員会                        | 車椅子の事故について／書面                                        |
| リスクマネジメント委員会                        | KYT 事例検討                                             |
| 訪問入浴介護事業所研修会<br>(研修計画に基づき年間 12 回開催) | 接遇マナー、事例検討、冬場の入浴の寒さ対策、感染症について等 (新型コロナウイルス感染のため書面研修含) |
| 訪問介護事業所研修会<br>(研修計画に基づき年間 12 回開催)   | 接遇マナー、事例検討、認知症、食中毒、感染症について等 (新型コロナウイルス感染のため書面研修含)    |

②施設外研修

| 研修・会議名                            | 参加人数 | 研修内容                    |
|-----------------------------------|------|-------------------------|
| 北星会法人合同研修                         | 2 人  | 身体拘束ゼロ                  |
| 北星会法人合同研修                         | 1 人  | 感染症                     |
| 令和 4 年度京都府介護支援専門員実務<br>経験者専門研修 綾部 | 1 人  | 介護支援専門員実務経験者専門研修 綾部     |
| 京都府認知症実践者リーダー研修                   | 2 人  | 認知症実践者リーダー研修 (Zoom)     |
| 2022 年ユニットリーダー研修                  | 2 人  | 2022 年ユニットリーダー研修 (Zoom) |
| 令和 4 年度老人福祉施設協議会新任<br>職員研修会 福知山   | 2 人  | 老人福祉施設協議会新任職員研修会 福知山    |
| ケアテックス大阪                          | 4 人  | ベッド・入浴機器等見学             |

|                                  |     |         |
|----------------------------------|-----|---------|
| 令和 4 年度 看護・介護職リハビリテーションステップアップ研修 | 4 人 | Zoom    |
| 安全運転管理者講習会                       | 1 人 | みやづ歴史の館 |
| 民間社会福祉施設 施設長研修                   | 1 人 | オンライン   |
| 介護事業者のための業務継続計画 BCP 作成セミナー       | 6 人 | オンライン   |
| 近畿老人社会福祉協議会施設長研修                 | 1 人 | オンライン   |
| 医療と介護の連携推進研修会                    | 4 人 | オンライン   |

### 【介護実習等受入状況】

9 月 9 日～5 日間 福祉人材即戦力 2 名 実習  
 10 月 17 日、18 日 与謝野町立加悦中学校 2 年 2 名 職場体験学習  
 10 月 24 日～28 日 京都府立与謝の海支援学校 高等部 2 年 1 名 職場体験

### 【ボランティア活動状況】

| ボランティア名 | 活動内容      | 回数/年 | 延参加数 |
|---------|-----------|------|------|
| かるかも会   | 補修（衣服の繕い） | 2 回  | 8 人  |

### 【各種会議開催状況】

| 会 議 名          | 開催回数/年 |
|----------------|--------|
| 職員会議           | 2 回/年  |
| 主任会議           | 12 回/年 |
| リスクマネジメント委員会   | 12 回/年 |
| サービス向上委員会/行事部会 | 5 回/年  |
| 看取りケア委員会       | 4 回/年  |
| サービス向上委員会/排泄部会 | 4 回/年  |
| 研修委員会          | 3 回/年  |
| 第三者評価委員会       | 6 回/年  |
| 感染症対策員会        | 6 回/年  |
| 身体拘束ゼロ委員会      | 6 回/年  |
| 褥瘡対策委員会        | 5 回/年  |
| 医療的ケア委員会       | 4 回/年  |
| 認知症ケア委員会       | 4 回/年  |
| 部署間連絡会議        | 7 回/年  |
| 入所検討会議         | 11 回/年 |
| 安全衛生委員会        | 11 回/年 |
| 新型コロナ対策会議      | 7 回/年  |
| 新人研修           | 7 回/年  |
| ショート調整会議       | 10 回/年 |

【職員健康診断等の実施状況】

| 健診等内容     | 実施日        | 受診者数    | 備考  |
|-----------|------------|---------|-----|
| 一般健診      | 9月5日       | 85人     | 年1回 |
| 腰痛健診      | 9月5日、2月13日 | 76人 59人 | 年2回 |
| 深夜業務従事者健診 | 2月         | 59人     | 年1回 |
| ストレスチェック  | 9月         | 68人     | 年1回 |

## 天橋の郷 事業報告書

### 【 総括 】

令和4年度は、施設理念を踏まえながら、5項目の目標に基づき事業を展開しました。

長引く新型コロナウイルス感染症のまん延により、計画どおり行事ができないこともありましたが、補助金を活用し、家族面会室を整備したことによりご家族との面会を継続したほか、毎月写真にことばを添えておたよりを発行し、ご家族との信頼関係の構築に努めました。また、カラオケ、手工芸、おやつ作りのサークル活動や特養・短期の各ユニットにおいて毎月行事を計画するなどご利用者の日々の生活の充実に取り組みしました。

特養においては、介護の質的向上を目指し、多職種が連携し誤嚥性肺炎の取組を継続するとともに、骨折事故防止に取り組んだことにより、骨折による入院が0件となりました。また、ご利用者と職員の負担軽減につながるノーリフティングケアの本格導入を行い、推進チームを中心に技術の向上に努めました。ノーリフティングケアは短期・デイサービスにも拡大し、重度者の受け入れを進める一方、職員の腰痛予防にも効果を発揮しています。

認知症のあるご利用者が増加する中、望ましい対応方法について従来のユマニチュードの手法に加え、認知症委員会を中心に実践を重ねました。これにより、認知症の周辺症状の発生が抑制され、ご利用者に安心して過ごしていただくことができました。

在宅サービス部門においては、地域包括ケアシステムの一翼を担う事業所として、主治医、居宅介護事業所、地域包括支援センター、病院の地域連携室等と連携をとる中で、医療的ケアが必要なご利用者や在宅で終末期の状況にある方、認知症の周辺症状により他事業所で対応が困難な方に加え、事情により緊急に利用が必要な方も積極的に受け入れを行いました。

これらの様々な取り組みについて、毎月地域に配布している広報紙「さとメール」やホームページ、SNS等で情報発信を行い、ご利用者の獲得と職員採用に繋げました。

課題であった人材確保については、令和4年度は退職職員が正職で2名にとどまり、職員の定着が大きく進みました。引き続き職場環境を整えながら働きやすい魅力ある職場づくりに努めます。

地域との連携を進める中、災害時の一時避難所として使用していただくこととし、2つの自治会と災害協定書を締結したほか、地元の一斉清掃に参加し、顔の見える関係づくりに努めました。

経営面では、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、ショートステイとデイサービス（郷、はまなす）の稼働率が顕著に低下しました。

一方で、比較的自立度の高いご利用者が多数を占める **Re-style** においては、昨年度の利用控えから一転、過去最高の稼働率となりました。宮津市においては要支援や要介護1の軽度の要介護認定者が多いため、通所サービスにおいて、今後機能訓練を重視したサービス展開が重要になってくると思われます。

収支面では、天橋の郷全体では、前述の **Re-style** を除き、在宅サービスが収入において前年度を大きく下回るとともに、費用面で光熱水費や感染症対策物品の支出が大きく伸びたこと等により、特養、ショートステイ、郷デイサービスで事業収支がマイナスになるなど、厳しい決算となりました。

| 長期目標              | 今年度目標            | 取 組 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 安心安全な施設づくり      | 1 安心安全な施設づくり     | <p>①原子力災害対策施設整備事業費において、放射線防護施設整備の実施設計を行った。</p> <p>②自然災害リスクがある天橋の郷及び Re-style において避難確保計画を策定し、宮津市所管課へ報告した。</p> <p>③自然災害及び新型コロナウイルス感染症の業務継続計画を策定した。</p> <p>④ご利用者及び職員に新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生したが、適切な対応により大きなクラスターになることなく終息することができた。</p>                                                                                                                                                                           |
| 2 地域が必要とするサービスの提供 | 2 質の高い介護サービスの提供  | <p>①多職種の連携により誤嚥性肺炎の発生を予防するとともに、骨折による入院ゼロを達成することができた。</p> <p>②看取りマニュアルを見直し、研修により個々の職員のレベルアップを行う中、令和4年度は15名の方を看取った。</p> <p>③ノーリフティングケア推進チームを中心に、スライディングボードやリフトを使用したノーリフティングケアを進めることにより、ご利用者と職員の負担軽減を行った。</p> <p>④無資格者に対する認知症介護基礎研修は7名、認知症介護実践者研修は2名、認知症介護リーダー研修は2名の職員が受講し、これらの職員と認知症ケア委員会の取組により認知症ケアの質的向上が図られた。</p> <p>⑤e-ラーニングやオンライン研修を活用し、業務向上に必要な様々な研修を受講した。特に新規採用職員に対する研修内容を改定し、無理のない導入と職場への定着に繋げた。</p> |
| 3 安定的な経営          | 3 働きやすい魅力ある職場づくり | <p>①令和3年度に導入したセンサーベッド、インカム、見守りカメラを活用し、業務の効率化と職員負担の軽減を行った。</p> <p>②ハラスメント対策について、法人全体でマニュアルを策定し取り組んだ。</p> <p>③半年に1度の人事考課において、設定された課題・目標に対する取り組み状況等を把握し、評価に繋げた。</p> <p>④令和3年度後半から令和4年度にかけ、入職した職員について、本部も含め面談を行うことにより、職場への定着に繋げることができた。</p> <p>⑤平成17年度開設当初から改定されていなかった各種業務マニュアルについて、委員会を中心に改定を行った。</p> <p>⑥季節に応じた行事やレクリエーションを積極定に行うとともに、SNS等で情報発信を行った。これにより法人全体のフォロワー数の大幅増加につなげることができた。</p>                   |
|                   | 4 地域とともにある拠点づくり  | <p>①持ち帰り弁当及び土日の配食弁当事業に引き続き取り組んだ。</p> <p>②天橋の郷を災害時の一時避難所として利用していただくこととして地元獅子・矢原自治会と協定書を締結した。</p> <p>③新型コロナ対策を行いながら、オレンジカフェを年間を通じて実施した。また、地域と顔の見える関係の構築に向け、地域の一斉清掃活動に参加した。</p> <p>④宮津市が取組む廃棄物減量の取組に協力した。</p>                                                                                                                                                                                                |



# 【 部門別事業報告 】

## 1 特別養護老人ホーム

### ①入居利用者の状況

(ア) 稼働率（入居定員： 70 名）

| 区分<br>年度 | 営業日数  | 延入居数      | 空きベッド数 | 平均入居数/日 | 稼働率   |
|----------|-------|-----------|--------|---------|-------|
| 3 年度     | 365 日 | 25, 222 人 | 328 床  | 69.1 人  | 98.7% |
| 4 年度     | 365 日 | 25, 253 人 | 297 床  | 69.2 人  | 98.8% |

(イ) 入退所状況（3 月 3 1 日時点）

| 区分<br>年度 | 新規入居者 | 待機者  | 退所者<br>合計 | 施設内死亡<br>(施設看取り) | 施設外死亡 | 施設移転 | 帰宅  |
|----------|-------|------|-----------|------------------|-------|------|-----|
| 3 年度     | 26 人  | 95 人 | 26 人      | 23 人<br>(21 人)   | 1 人   | 0 人  | 2 人 |
| 4 年度     | 21 人  | 96 人 | 21 人      | 18 人<br>(15 人)   | 3 人   | 0 人  | 0 人 |

(ウ) 地区別 入居状況

| 区分<br>年度 | 宮津市  | 与謝野町 | 伊根町 | その他 |
|----------|------|------|-----|-----|
| 3 年度     | 64 人 | 4 人  | 人   | 1 人 |
| 4 年度     | 67 人 | 3 人  | 0 人 | 0 人 |

(エ) 年齢・性別 入居状況

(単位：人)

| 区分<br>年齢<br>性別 | 60～64 |   | 65～69 |   | 70～79  |   | 80～89 |    | 90～99  |    | 100<br>以上 |   | 合 計    |    |
|----------------|-------|---|-------|---|--------|---|-------|----|--------|----|-----------|---|--------|----|
|                | 男     | 女 | 男     | 女 | 男      | 女 | 男     | 女  | 男      | 女  | 男         | 女 | 男      | 女  |
| 3 年度           | 0     | 0 | 0     | 0 | 0      | 7 | 2     | 21 | 3      | 31 | 0         | 5 | 5      | 64 |
| 4 年度           | 0     | 0 | 0     | 0 | 0      | 6 | 3     | 22 | 4      | 33 | 0         | 2 | 7      | 63 |
| 平均年齢           | 3 年度  |   | 男性    |   | 90.8 歳 |   | 女性    |    | 90.1 歳 |    | 合計        |   | 90.1 歳 |    |
|                | 4 年度  |   | 男性    |   | 92.0 歳 |   | 女性    |    | 89.4 歳 |    | 合計        |   | 89.6 歳 |    |

(オ) 入居期間別 入居状況

(単位：人)

| 区分<br>期間 | 6 か 月 未 満 |    | 6 か 月 以 上<br>1 年 未 満 |    | 1 年 以 上<br>3 年 未 満 |    | 3 年 以 上<br>10 年 未 満 |    | 10 年 以 上 |   | 合 計 |    |    |
|----------|-----------|----|----------------------|----|--------------------|----|---------------------|----|----------|---|-----|----|----|
|          | 男         | 女  | 男                    | 女  | 男                  | 女  | 男                   | 女  | 男        | 女 | 男   | 女  | 計  |
| 3 年度     | 0         | 9  | 2                    | 12 | 1                  | 17 | 2                   | 23 | 0        | 3 | 5   | 64 | 69 |
| 4 年度     | 3         | 12 | 0                    | 2  | 3                  | 24 | 2                   | 19 | 0        | 5 | 10  | 60 | 70 |
| 平均入居期間   | 3 年度      |    |                      |    | 4 年 1 1 か月         |    |                     |    |          |   |     |    |    |
|          | 4 年度      |    |                      |    | 3 年 4 か月           |    |                     |    |          |   |     |    |    |

## (カ) 入居期間別 延入居状況 (特養)

| 年度   | 期間<br>性別 | 6 か月未満       |      | 6 か月以上 1 年未満 |      | 1 年以上 3 年未満 |      |      |
|------|----------|--------------|------|--------------|------|-------------|------|------|
|      |          | 男            | 女    | 男            | 女    | 男           | 女    |      |
| 3 年度 |          | 2 人          | 12 人 | 3 人          | 15 人 | 2 人         | 26 人 |      |
| 4 年度 |          | 5 人          | 13 人 | 1 人          | 3 人  | 4 人         | 30 人 |      |
| 年度   | 期間<br>性別 | 3 年以上 10 年未満 |      | 10 年以上       |      | 計           |      | 合 計  |
|      |          | 男            | 女    | 男            | 女    | 男           | 女    |      |
| 3 年度 |          | 3 人          | 28 人 | 0 人          | 3 人  | 10 人        | 84 人 | 94 人 |
| 4 年度 |          | 2 人          | 28 人 | 0 人          | 5 人  | 12 人        | 79 人 | 91 人 |

## (キ) 介護度別 入居状況

(単位：人)

| 介護度<br>性別<br>区分 | 要介護 1 |   | 要介護 2 |   | 要介護 3 |    | 要介護 4 |    | 要介護 5 |    | 合 計 |    |
|-----------------|-------|---|-------|---|-------|----|-------|----|-------|----|-----|----|
|                 | 男     | 女 | 男     | 女 | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女  | 男   | 女  |
| 3 年度            | 0     | 0 | 0     | 0 | 1     | 15 | 3     | 32 | 1     | 17 | 5   | 64 |
| 4 年度            | 0     | 1 | 0     | 0 | 1     | 17 | 4     | 27 | 2     | 18 | 7   | 63 |
| 平均要介護度          | 3 年度  |   | 4.0   |   | 4 年度  |    | 4.0   |    | 4.0   |    |     |    |

## (ク) 介護度別 延入居状況

| 介護度<br>区分 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3   | 要介護 4    | 要介護 5   | 合 計      |
|-----------|-------|-------|---------|----------|---------|----------|
| 3 年度      | 319 人 | 0 人   | 5,741 人 | 12,592 人 | 6,570 人 | 25,222 人 |
| 4 年度      | 31 人  | 0 人   | 6,607 人 | 11,315 人 | 7,300 人 | 25,253 人 |

## (ケ) 加算の状況

| 加算項目<br>(単位) | 個別機能訓練<br>加算Ⅰ (12) | 個別機能訓練<br>加算Ⅱ (20) | 看護体制<br>加算Ⅰ (4) | 夜勤職員配置<br>加算Ⅱ (18) | 認知症専門<br>ケア加算Ⅰ (3) | 日常生活継続<br>支援加算 (46) |
|--------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 算定延回数(回)     | 20,935             | 701                | 25,258          | 25,258             | 16,018             | 25,258              |
| 加算収入額(円)     | 2,512,200          | 140,200            | 1,010,320       | 4,546,440          | 480,540            | 11,618,680          |

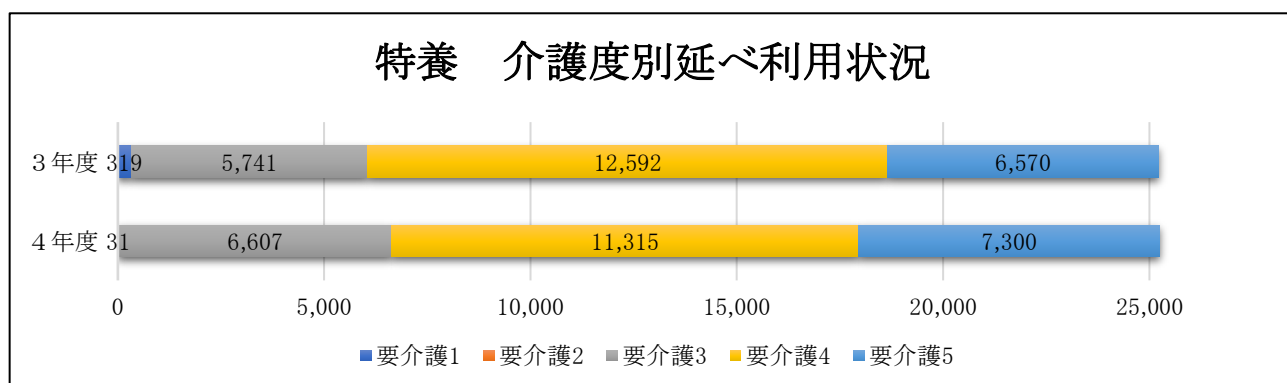
| 加算項目<br>(単位) | 安全対策体制<br>加算 (20) | 退所前訪問<br>相談援助加算<br>(460) | 退所時相談<br>援助加算<br>(400) | 退所前連携<br>加算(500) | 看取り介護<br>加算Ⅰ (72) | 看取り介護<br>加算Ⅱ (144) |
|--------------|-------------------|--------------------------|------------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| 算定延回数(回)     | 22                | 0                        | 0                      | 0                | 105               | 233                |
| 加算収入額(円)     | 4,400             | 0                        | 0                      | 0                | 75,600            | 335,520            |

| 加算項目<br>(単位) | 看取り介護加<br>算Ⅲ (680) | 看取り介護加<br>算Ⅳ (1280) | 外泊時費用<br>提供体制強化<br>加算 (246) | 経口維持<br>加算Ⅰ (400) | 経口維持<br>加算Ⅱ (100) | ADL 維持等加算<br>Ⅱ (60) |
|--------------|--------------------|---------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 算定延回数(回)     | 29                 | 15                  | 75                          | 414               | 414               | 764                 |
| 加算収入額(円)     | 197,200            | 192,000             | 184,500                     | 1,656,000         | 414,000           | 458,400             |

| 加算項目<br>(単位) | 褥瘡マネジメント加算Ⅱ (13) | 褥瘡マネジメント加算Ⅰ (3) | 排泄支援加算Ⅰ (10) | 排泄支援加算Ⅳ (100) | 科学的推進体制加算Ⅱ (50) | 初期加算 (30) |
|--------------|------------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|-----------|
| 算定延回数(回)     | 767              | 32              | 750          | 0             | 855             | 623       |
| 加算収入額(円)     | 99,710           | 960             | 75,000       | 0             | 427,500         | 186,900   |
| 加算項目<br>(単位) | 介護職員処遇改善加算Ⅰ      | 介護職員等特定処遇改善加算   | ベースアップ等支援加算  | 加算収入額合計       |                 |           |
| 算定延回数(回)     |                  |                 |              |               |                 |           |
| 加算収入額(円)     | 20,104,820       | 6,540,830       | 1,935,100    | 53,196,820    |                 |           |

(コ) その他の収入

| 項目<br>年度 | 貴重品管理料    | エンゼルケア料 | 湯灌料       | その他の収入合計    |
|----------|-----------|---------|-----------|-------------|
| 4年度      | 981,000 円 | 0 円     | 270,000 円 | 1,251,000 円 |



## 2 介護部門

新型コロナウイルス感染症がまん延する中、前期は発症なく経過しましたが、後期に2名の入居者が新型コロナに感染され、1名が入院、1名は郷での療養となりました。京都府感染症サポートチームの助言を受け、ゾーニング等適切な感染対応を行うことにより、感染拡大に至らず早期に終息させることができました。感染防止により活動に制約の多い期間もありましたが、ユニット企画やサークル活動を行い暮らしに楽しみの提供を行うことができました。

眠りスキャンやインカム等の導入により、業務の状況把握と他部署連携がスピーディーになったことにより、入院が必要な骨折事故が0件になるなど事故防止に効果がありました。

職員研修では、認知症ケア・看取りケア等外部研修を多く受講することができました。受講した職員が委員会や現場にその研修内容を共有することで、全体のケア力が向上しました。

職員育成は、プリセプター制度や個々に応じた指導で人材の定着に効果が出ています。後期にノーリフティングケアの習得がより進んだことで、入居者にも職員にも負担の少ないケアの実践が定着したことにより働きやすい環境とすることができました。

・茜ユニット： 入居者に楽しみの提供するために毎月担当を決め、誕生日会・夏祭り・忘

年会等季節感を感じていただける行事を開催することができました。

今年度は3名の方が亡くなりました。内2名については状態変化をユニット・医務・支援等と共有し看取りケアを行うことができました。家族にも状態変化の連絡を行い、面会をしていただくことができました。もう1名は残念ながら急変されました。普段から入居者の状態変化については記録・グループ LINE・ユニット会議等で情報共有と対応の検討を行い、状態に合わせたケアが実施できました。

認知症ケアについては委員が中心となり、入居者の行動や発言を記録に残し、ユニット全体で意識して対応することができるようになりました。排泄面では排泄ケア委員が発信源となりオムツの当て方の勉強会を実施し、看取りケア委員は看取りケア研修の内容をユニット会議の伝達等により各委員がそれぞれの役割を果たすことができました。また、移乗の技術面ではノーリフティングケアに力を入れ、ほとんどの入居者の移乗についてボードを使用し実施しています。来年度は勉強会に力を入れ、職員自らが学ぶ姿勢を持ち、介護知識の習得を目指したいと考えています。

事故予防対策としてはヒヤリ記録の啓発を行ない、ユニット全体で危険予測の意識付けができています。転倒リスクの高い方には眠りスキャンを活用し、転倒事故の防止に努めることが出来ました。食事面では入居者の食事の様子で気付いたことを共有し、専門職に相談・連携を行うことで状態に合わせた食事形態への変更を早急に行ない、窒息事故0が達成できました。

・和ユニット： 入居者の状態変化が見られた時は、出勤者で話し合い、時には他部署も交え検討することで、その時の状態に合った対応に繋げることができました。

また、対応変更後の情報共有については、ケアカルテへの記録だけでなくグループ LINE やメモに残す等を行い、チームとして互いに伝達することを心掛けました。

また、後期には6名の方の看取りケアを行いました。急変により看取りケアに移行した方が多くありましたが、普段の様子と違う事があった場合は、他部署へ早めに報告をし、対応変更を行うことができました。家族への対応として毎月のお便りや電話での状態報告に加え、面会時には家族と一緒に看取り期のケアを行うことで入居者の状況を知っていただくことができました。4月はユニット間の職員異動があり、新任職員の育成が始まりました。6月には職員の休職、10月には外部からの職員異動もあり、慌ただしい1年となりました。新任育成期間ではプリセプターの休職により急遽ペアユニットの職員が代理でプリセプターとなりました。和・梓ユニットリーダー、副主任を中心に評価を行いながら育成に努め、プリセプターを終了することができました。

また、急な職員の休職に加えコロナに関わる突発的な勤務変更もあり、今年度は超過勤務が多くありましたが、ペアユニットを含め職員同士で連携し、ケアの質を落とさずに業務を行うことができました。

今年度、転倒事故はありましたが、車椅子センサーの使用や、眠りスキャ

ンアラームで即座に対応を行うことで骨折事故 0 件を達成することができました。

服薬事故については 7 件、入居者間のトラブルが 11 件ありました。服薬事故に関しては、事故発生後すぐに緊急カンファレンスを行い、その都度対策を検討しました。カンファレンスに参加していない職員にもグループLINEや口頭説明等を行っていましたが、現場での再発防止策の浸透がうまくいかず、服薬事故が続きました。次年度は服薬事故 0 件をユニット目標に挙げているため、一人ひとりがしっかり意識を持ち取り組んでいきます。

入居者間トラブルに関しては、毎月他部署を含めた緊急カンファレンスを実施しました。入居者の状況を入力に残すことを職員一人ひとりが意識し、統一したケアができるよう取り組み、トラブルの回数も軽減しました。

- ・梓ユニット： 日々の生活に楽しみを持っていただけるよう毎月行事を計画し実施することができました。食事に制限がある方もおられるため行事食だけでなく、歌や体操等のレクリエーション、季節を感じていただけるような飾り付け等を行い入居者に喜んでいただけました。今後も継続して取り組みます。

看取りケアについてはその方の状態をしっかりと職員間で共有し、その都度相談しながらケアにあたり、入居者の負担のないように努めました。また他部署との連携も密に行い、看取りケア導入のタイミングを逃さないよう取り組みました。

普段から伝達不足がないように注意し、変更点等ある際にはノート、LINEを活用し皆に周知できるように取り組むことで統一したケアが行えるようになり、休み明けでもスムーズに業務にあたれるようになりました。職員一人ひとりが意識して取り組めるようになってきています。

昨年度は内出血や皮膚剥離等の事故が多くあったため、対策として緩衝材の設置や環境設定の見直しを行いました。内出血や皮膚剥離等の事故を防止するまでに至ってはいません。引き続き対策を見直し、事故防止に取り組めます。

またノーリフティングケアを実施することで負担の少ない移乗介助が行えるようになり、職員介入による事故も減らすことができました。しかし転倒による骨折、縫合が必要な事故が起きてしまったため、来年度は骨折や縫合等の事故 0 を目指し取り組みます。

- ・翠ユニット： 入居者の状態変化時は出勤者で対応について協議した上で、他部署と連携し早めに対応することを心がけるとともに、日々の引き継ぎやグループライン等でこまめな情報共有を行いました。また、職員が業務の中で丁寧な言葉かけと穏やかな態度・表情で接し、入居者個々の要望や訴えに耳を傾けることで、入居者と職員の信頼関係を築き、安心して過ごしていただけるように努めました。

転倒・尻もち事故が続きましたが、ヒヤリハットを挙げることで職員個々の危険意識を高め、またそのことを情報共有し早めの対策を行うこと

で事故防止に努めました。今後も、職員間で意見を出し合いながら事故を未然に防ぐよう努めていきます。

余暇活動では、風船レクの実施や塗り絵・計算ドリルなどにより脳の活性化を図ったり、手作りおやつや入居者様から希望のあった竹輪やはんぺんを提供し喜んでいただきました。

職員育成については、委員会や居室担当を割り当て、その職員のスキルに合わせて責任をもって取り組む事ができるように、様子を見ながら声掛けを行い、その職員の欠けている部分をリーダーだけではなく職員全体で情報共有しながら皆で指導を行うことにより、ペアユニットとの勤務において、どちらのユニットでも夜勤業務まで行えるように職員育成を行い、個々の職員が常にお互いの勤務体制や業務の流れを把握し、2ユニットの業務が円滑に行えるように協力体制を強化しました。

- ・泉ユニット： 毎月一回行事食企画を行いました。入居者の好みや、給食にはないメニューを調理過程から見て楽しんで味わっていただき、非常に好評でした。

余暇活動では夏祭りや体操レク等入居者が身体を使って楽しめる行事を度々企画し、喜んでいただきました。

今年度に看取りケアに移行された方は2名おられ、1名の方を看取りました。最期までご本人の希望や訴えを傾聴し、ユニット職員間でも協力し合い情報の共有もできました。対応の難しい方であったため、ご家族からの感謝の言葉に報われる思いがしました。入居者の中には急変され亡くなる方もおられ、状態変化の見極めや看取りケア移行のタイミングを難しく感じました。

誤嚥予防のため、口腔ケアについてSTと連携しその方に合った手法を学び実践することができました。状態変化のあった入居者に対しても口腔ケア用品を変更し、入居者に不快な思いをさせないように配慮しながら実施することができました。

内出血事故予防に努めていましたが、今年度は内出血事故が5件ありました。入居者の様子観察をしながら未然にアームカバーを装着したり、緩衝材を使用したりするなど再発防止策を早急に行うよう取り組みました。

- ・紅ユニット： 今年度も感染症予防対策の徹底により、入居者に感染させることなく過ごすことができました。制限がある中でも毎月の行事企画を実施し楽しんでいただくとともに、季節に合った設えで四季を感じていただくことができました。

毎月2ユニットで入居者と職員の希望について意見交換し、入居者と職員みんなで楽しみ笑顔あふれる行事食企画ができました。来年度も継続して行っていきます。

認知症等疾患があり対応の難しい入居者については、ありのままを受け入れ傾聴することにより、他入居者と散歩や会話を楽しみ安心して過ごして頂ける時間が増えました。今年度は認知症委員会の取り組みの趣旨がユ

ニット職員に伝わっていなかったこともあり、成果を出すまでには至りませんでした。次期は認知症ケア委員会を中心に認知症ケアのプロを目指していきます。

看取りケアへの移行について、最初は説明不足でご家族との連携が上手く取れず難しさも感じましたが、他部署・多職種の協力と職員間の密な情報共有で、尿路感染の再発もなく穏やかな最期を迎えられ、お見送りした後にご家族からの確かな時期での看取りケアへの移行であったことと日頃のケアについて感謝の言葉をいただくことができました。

今年度は特に2ユニットのどちらのユニット勤務となっても業務ができるように、また、新人育成についてはプリセプターを中心に全職員で育成するという気持ちで取り組みました。他部署とも報連相を蜜に行うことで協力体制を強化することができました。これからも風通しの良い働きやすい職場づくりを進め、チーム力UPに務めます。

事故発生時の原因究明・検証を行い骨折事故0件が実現できました。今後も対策をしっかりと行い再発防止に務めます。

- ・暁ユニット：今年度は感染症に注意しながら行事を企画し、調理レクやユニットの設えなども入居者と一緒に楽しむことができました。

毎月のお便りも写真をたくさん掲載し、入居者の近況をできるだけ詳細に伝えられるように努め、ご家族から喜んでいただくことができました。

職員の育成に力を入れるとともに、長期ユニットとの連携はもちろん、1階3ユニットの連携がしっかりとれるように協力体制の強化に努め、「全体を見渡せる職員」の育成に努めました。

内出血事故を減らせるように緩衝材等を使用していましたが、防ぎきれなかったため、より一層行動を注視し、予防に努めます。

ユニット内での引き継ぎを徹底し、グループラインやユニットのノートを有効活用し、些細なことでもしっかりと情報共有を行うことで状態の観察や変化への柔軟な対応ができ、すべての入居者に安心して過ごしていただくことができました。

### 3 看護部門

入居者一人ひとりの健康状態を常に観察し、知ることによって受診や往診が必要な時には速やかに嘱託医やかかりつけ医と相談連携し、指示のもと治療につなげる事ができました。

認知症の方、看取りの方、入所から終末期に至るまで、その人らしい生活が送れるように考え、多職種との連携、カンファレンスを通して個々に応じた対応など全職種がチームとなりケアを提供する事ができました。残念ながら急変や病院で亡くなられる方もありました。

今期は長期入居者、職員にもコロナ感染症の発生がありましたが、京都府感染症サポーターチームの協力もあり大きなクラスター発生とならずに終息できました。今後5類へと移行となりますが、引き続き感染拡大にならないよう気を引き締め、最新の情報をキャッチしながら対応していきます。

コロナ禍によりズーム研修がほとんどでしたが自ら研修参加でき、参加内容によっては医務内で共有し、互いの意識を高める事もできました。また、職員の体調不良や異動もあり落ち着かない日もありましたが、皆で助け合いながら協力し、医務内での引継ぎも必要時ノートなどを利用しながら共有し、円滑な業務遂行を心掛け行いました。

## ①診療状況（天橋の郷）

### （ア）天橋の郷

| 科目<br>年度 |    | 内科系 | 外科系 | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数 | 94  | 8   | 0   | 8   | 0    | 6   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 998 | 28  | 0   | 28  | 0    | 59  | 0   | 0   |
| 4 年度     | 実数 | 91  | 15  | 0   | 10  | 0    | 9   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 957 | 17  | 0   | 25  | 0    | 65  | 0   | 0   |

### （イ）他の医療機関 通院

| 科目<br>年度 |    | 内科系 | 外科系 | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数 | 11  | 11  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 13  | 23  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 4 年度     | 実数 | 1   | 16  | 1   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 1   | 37  | 6   | 0   | 2    | 0   | 0   | 0   |

### （ウ）他の医療機関 入院

| 科目<br>年度 |    | 内科系 | 外科系 | 眼科系 | 歯科系 | 泌尿器系 | 皮膚科 | 精神系 | その他 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 3 年度     | 実数 | 8   | 2   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 8   | 3   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
| 4 年度     | 実数 | 6   | 0   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
|          | 延数 | 8   | 0   | 0   | 0   | 2    | 0   | 0   | 0   |

## ②健康診断等の実施状況

|      | 対象人数 | 胸部集団検診           |
|------|------|------------------|
| 3 年度 | 69 人 | 令和 3 年 10 月 26 日 |
| 4 年度 | 69 人 | 令和 4 年 10 月 25 日 |

## 4 支援室

令和 4 年度は特養においても新型コロナ感染者が発生する事となってしまいました。

職員は日頃から感染予防に努め、対策に追われる日々を送っていましたが、入居者 2 名職員 5 名が感染してしまいました。しかし、入居者の感染拡大に至らず終息したことはユニットケアであったことだけでなく、大変な状況の中にあっても冷静な対応と適切なケアがあったからだと感じています。

昨年秋に面会室を新たに設置したことで顔を見て話しができる環境となり、ご家族か



らは喜んでいただいています。また、毎月顔写真入りのお手紙を作成しご家族に送ることも継続しています。

前年度の看取りケアへの移行は退所者 21 名に対して 15 名でした。最期まで治療を望まれる方や、急変され亡くなられた方もある中で、適切に看取りケアへの移行が行われていたと評価しています。

入居者の生活が潤いのある日々になるように企画した行事やサークル活動（海星公園への遠足・天橋立散策・青空食堂・麵処さと・ドライブ等々）も、サークル活動委員会が中心となり実施することができ、入居者に楽しみが提供できました。

稼働率については、尿路感染症もしくは尿路感染症に関わる疾患による長期間の入院が影響し、目標に届かない結果となってしまいました。

今年度から ADL 維持加算の算定ができるようになり、458,400 円の収入を得ることができましたが、看取りケア加算については、40 日前から算定できる看取りケア加算 I を算定できる方が少なかったことが悔やまれます。

今年度も次世代担い手育成事業における栗田中学校での講義をはじめ、海洋高校からは錬製品やフラワーアレンジメント等のプレゼントをいただきました。天橋の郷からは収穫したブルーベリーを海洋高校やのびのび放課後児童クラブにプレゼントするなどの取り組みを行いました。新たに栗田幼稚園に入居者と共に訪問し交流を図ることもできました。

#### （ア）相談件数

| 区分<br>年度 | 入所相談  | 在苑者相談 | 面接(本人) | 退所相談 | その他 | 合 計   |
|----------|-------|-------|--------|------|-----|-------|
| 3 年度     | 122 件 | 2 件   | 26 件   | 2 件  | 0 件 | 152 件 |
| 4 年度     | 84 件  | 0 件   | 21 件   | 0 件  | 0 件 | 105 件 |

#### （イ）待機者数（地区別）

| 地域<br>年度 | 宮津市  | 与謝野町 | 伊根町 | その他 | 合 計  |
|----------|------|------|-----|-----|------|
| 3 年度     | 30 人 | 53 人 | 4 人 | 8 人 | 95 人 |
| 4 年度     | 29 人 | 49 人 | 2 人 | 2 人 | 82 人 |

#### （ウ）待機者数（介護度別）

| 介護度<br>年度 | 要支援・他 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計  |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 3 年度      | 0 人   | 0 人   | 0 人   | 65 人  | 22 人  | 8 人   | 95 人 |
| 4 年度      | 0 人   | 0 人   | 4 人   | 57 人  | 13 人  | 8 人   | 82 人 |

#### （エ）退去状況（特養）

| 退去先<br>年度<br>区分 |    | 自宅・家族宅 | 医療機関（入院） | 看取りによる死亡 | その他 | 合 計  |
|-----------------|----|--------|----------|----------|-----|------|
| 3 年度            | 人数 | 2 件    | 1 件      | 23 件     | 0 件 | 26 件 |
|                 | 比率 | 7.7%   | 3.8%     | 88.5%    | 0%  | 100% |
| 4 年度            | 人数 | 0 件    | 3 件      | 18 件     | 0 件 | 21 件 |
|                 | 比率 | 0%     | 14.2%    | 85.8%    | 0%  | 100% |

## 5 給食部門

令和4年度は、人事異動、新卒職員採用や退職者がある等、部署内の体制変化に加え、昨年同様コロナウィルス流行の感染対応もある中、部署全員で協力し出来る限り昨年度に続き、ご利用者に少しでも季節を感じていただくために、地元の新鮮な食材を使用し趣向を凝らしたメニューで楽しくておいしい料理を提供することに努めました。各部署がコロナ禍でもできる行事を工夫しながら企画し、ご利用者のお誕生日には丹後のバラ寿司を提供する等、ご利用者の楽しみとなる料理の提供に努めました。

引き続き天橋の郷デイサービスとはまなす苑の平日持ち帰り弁当の提供、土日の配食サービスは、お弁当を丁寧に作り安否確認を兼ねてお届けすることができました。又、春と秋には青空食堂にて災害時用ガスコンロと炊飯器を利用しカレーや芋煮を提供しました。

新任職員の育成面ではプリセプター制度を導入し、効果的な指導体制がとれるようにしました。令和5年度も新任職員受け入れがありますので継続し今後の指標となるようにします。

環境面では美化に努めると同時に古くなっている厨房機器の故障、不具合機器の点検実施や入れ替えも実施できました。次年度以降も作業効率向上の為にも計画的な入替を検討していきたいと考えます。

### ①提供実績

#### (ア) 延食数

| 区分<br>年度 | 特養       | 短期入所    | 通所       |
|----------|----------|---------|----------|
| 3年度      | 25,139 食 | 6,570 食 | 11,831 食 |
| 4年度      | 25,218 食 | 6,321 食 | 11,231 食 |

#### (イ) 栄養基準（1日あたり）

| 項目<br>区分 | エネルギー<br>(kcal) | タンパク質<br>(g) | カルシウム<br>(mg) | 脂質<br>(g) | 鉄分<br>(mg) | ビタミンA<br>(μgRE) | ビタミンB1<br>(mg) | ビタミンB2<br>(mg) | ビタミンC<br>(mg) |
|----------|-----------------|--------------|---------------|-----------|------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|
| 基 準      | 1,400           | 50           | 550           | 30        | 6          | 560             | 1              | 1              | 100           |
| 3年度      | 1,439           | 56           | 472           | 40        | 5.0        | 449             | 0.7            | 0.9            | 72            |
| 4年度      | 1,432           | 56           | 470           | 40        | 5.0        | 440             | 0.7            | 0.8            | 71            |

#### (ウ) 食品群別摂取量（1人1日当たり食糧構成）

（単位：g）

| 群 類<br>区 分 | 1 群   |    | 2 群 |      |    |      |     |     | 3 群   |      |     |    |     | 4 群 |   |    |
|------------|-------|----|-----|------|----|------|-----|-----|-------|------|-----|----|-----|-----|---|----|
|            | 牛乳乳製品 | 卵類 | 魚介類 | 獣鳥肉類 | 豆類 | 大豆製品 | 味噌類 | 堅果類 | 緑黄色野菜 | 淡色野菜 | 果実類 | 芋類 | 海藻類 | 米   | 麦 | 油脂 |
| 基 準        | 250   | 20 | 70  | 50   | 50 |      |     | 1   | 80    | 150  | 50  | 40 | 5   | 180 |   | 3  |
| 今年度平均      | 274   | 16 | 68  | 52   | 40 |      |     | 1   | 82    | 160  | 52  | 36 | 2   | 139 |   | 3  |

## 6 天橋の郷短期入所生活介護事業所

コロナ禍で担当者会議が開催されることが少なく、集まっての直接的な情報交換、情報共有を行うことが難しい状況でしたが、電話やメールなどのツールを使用して、各事業所やケアマネ、ご家族と密にコミュニケーションを図ることができました。特に、メールやチャット、ズームなどの使用は利便性の向上にも繋がりました。

今年度もショートステイご利用中の方からコロナ陽性者が確認されました。ご利用者には、マスクの着用や一日二回の検温、手指消毒やユニットの消毒、換気などの協力をしていただき、基本的な対策は行ってきましたが、発熱などの症状が入所されてから数日後に出てくることがあり、“持ち込まない”ということは困難と感じました。しかし、発生時には施設全体で感染症対応に取り組み、大きなクラスターにならずに終息することができました。

業務においては、リフトやスライディングボードを使用した移乗介助を積極的に行い、ノーリフティングケアを実践することで、ご利用者、職員ともに身体的負担を軽減することができました。また、なるべく横に座ってお話をすることや近くを移動する際には言葉を交わすなど、ご利用者とのコミュニケーションを意識した業務が行えました。認知症対応では、帰宅を希望される方などには事務所を含めた施設全体でご利用者の行動把握、否定しない、静止しないケアが実施できました。しかし、他部署に頼りすぎる面もあるため、ご利用者にとってユニットが安心して生活できる空間となるように努めていきます。

一方で、稼働率は大きく下がる結果となりました。大きな要因として、一つはショートでコロナ陽性者が発生したことにより、一定期間受け入れを中止したことが考えられ、もう一つは特養と連携し、ショートご利用者からスムーズに入所に繋げることができたのですが、その空いたショートを埋めることができなかったことなどが考えられます。

癌末期を含めた終末期の方、若年性認知症、両極性障害などの精神疾患の方など様々なケースも他事業所、他職種と連携をとりながら受け入れてきました。また、介護者の入院などの緊急時にもできる限り受け入れるように調整してきました。今後も積極的な新規ご利用者の受け入れを継続し、実人数の確保に努め、在宅と施設とのパイプ役として努めていきます。

### ・介護部 昴、虹ユニット

認知症に関して、委員を中心にユマニチュードの技法を深め、ご利用者の行動や思いをより深く考えてケアを行えるようになりましたが、取り組む姿勢とスキルアップに個人差がありました。感染症に関しては、昨年のコロナ発生時の対応を踏まえて、しっかりとした基本的な感染症予防（検温、消毒、換気）を実施するとともに、コロナが発生した時には他部署との連携をとりながら感染症対応をスムーズに実施することができました。

接遇面では、ご利用者に対する言葉使いや身だしなみに配慮するように会議などで常に確認を行ってきました。しかし、退所前の排泄介助を行わず、退所していただくなど細かなケアの実施ができていないことがありました。また、現場から聞こえてくる声やご利用者の行動から適切な対応が常にできていたとは言えません。これからも接遇面の取り組みは質の高いサービスを提供する上で最重要課題と考え、改善に取り組みます。

服薬事故ゼロを目指していましたが、ご利用者間違いと二重服用という重大な誤薬事故を起こしてしまいました。一人ひとりが服薬マニュアルを再確認し、服薬介助を行う際には、その業務に集中することを徹底していきます。

連絡事項や事故、ヒヤリなどの記録が共有できるように、業務の始めにケアカルテを必ず確認し、意識して記録確認することで情報共有ができ、統一したチームケアを実践することができました。また、在宅での様子や生活歴、その他のサービスでの様子等の情報共有を密に行ったことによって、個別ケアと自立支援に繋げることができました。しかし、ご家族にご利用中の様子を手紙でお伝えしていましたが、手紙の内容が薄く、ご家族との情報共有は不十分だったと考えます。また、信頼関係構築のために計画に掲げていた新しい情報交換システムも提案、実施することはできませんでした。

レクリエーション、行事については、ショートとして月1回季節に合わせたユニット行事、調理レクなどの企画を立てて、ご利用者に楽しんでもいただく時間を提供できるようになりました。しかし、職員の中には必要性の認識が乏しい者もあり、設えを含めてクオリティーの追求と職員がしなければならない業務という認識が持てるよう職員の意識改善に取り組んでいきます。

職員間の連携、協力体制は密に行えており、職員同士が気がねなく意見が言い合え、お互いがカバーし合いながらユニット運営を行う職場環境になってきました。しかし、ご利用者を重視するケアではなく、業務優先の傾向があるため、ご利用者を中心としたケアを軸に働きやすい職場環境作りに取り組んでいきます。

## ①利用者の状況

### (ア) 稼働率（定員：20名）

| 年度 \ 区分 | 営業日数 | 延入居数   | 平均入居数/日 | 稼働率   |
|---------|------|--------|---------|-------|
| 3年度     | 365日 | 6,646人 | 18.2人   | 91.0% |
| 4年度     | 365日 | 6,409人 | 17.6人   | 87.8% |

### (イ) 契約数

| 年度 \ 区分 | 新規入所者 |
|---------|-------|
| 3年度     | 43人   |
| 4年度     | 47人   |

### (ウ) 地区別 入所状況

| 年度 \ 地域 | 宮津市  | 与謝野町 | 福知山市 |
|---------|------|------|------|
| 3年度     | 137人 | 2人   | 1人   |
| 4年度     | 124人 | 1人   | 1人   |

(エ) 介護度別 入所状況

| 介護度<br>性別<br>年度 | 要介護 1 |    | 要介護 2 |    | 要介護 3 |    | 要介護 4 |    | 要介護 5 |   | 合 計 |    |      |
|-----------------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|---|-----|----|------|
|                 | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女  | 男     | 女 | 男   | 女  |      |
| 3 年度            | 4     | 11 | 11    | 34 | 10    | 31 | 10    | 17 | 4     | 6 | 39  | 99 |      |
| 4 年度            | 8     | 9  | 6     | 23 | 4     | 25 | 8     | 25 | 4     | 9 | 30  | 91 |      |
| 平均要介護度          | 3 年度  |    |       |    | 2.67  |    |       |    | 4 年度  |   |     |    | 2.78 |

(オ) 介護度別 入所状況（予防）

| 要支援度<br>性別<br>年度 | 要支援 1 |   | 要支援 2 |   | 合 計 |   |
|------------------|-------|---|-------|---|-----|---|
|                  | 男     | 女 | 男     | 女 | 男   | 女 |
| 3 年度             | 0     | 1 | 0     | 1 | 0   | 2 |
| 4 年度             | 0     | 2 | 2     | 1 | 2   | 3 |

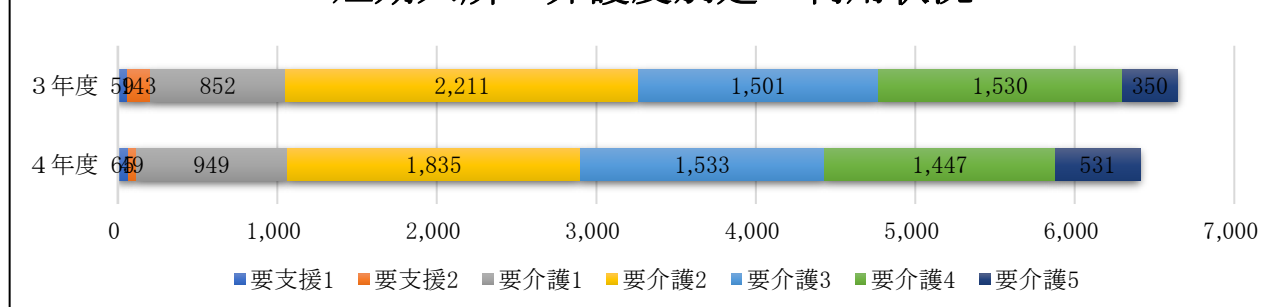
(カ) 介護度別 延入所状況

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2   | 要介護 3   | 要介護 4   | 要介護 5 |
|-----------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|-------|
| 3 年度      | 59 人  | 143 人 | 852 人 | 2,211 人 | 1,501 人 | 1,530 人 | 350 人 |
| 4 年度      | 65 人  | 49 人  | 949 人 | 1,835 人 | 1,533 人 | 1,447 人 | 531 人 |

(キ) 加算の状況

| 加算項目<br>年度<br>金額 | 機能訓練<br>体制加算<br>(12) | サービス提供<br>体制強化加算<br>Ⅱ (18) | サービス提供<br>体制強化加算<br>Ⅰ (22) | 夜勤職員配置<br>加算Ⅱ<br>(18) | 在宅中重度<br>者受入加算<br>4(425) | 送迎加算<br>(184) |
|------------------|----------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|--------------------------|---------------|
| 算定回数(回)          | 5,306                | 561                        | 5,800                      | 6,254                 | 17                       | 2,300         |
| 金 額(円)           | 636,720              | 100,980                    | 1,276,000                  | 1,125,720             | 72,250                   | 4,232,000     |
| 加算項目<br>回数<br>金額 | 緊急短期入所<br>受入加算(90)   | 処遇改善<br>加算Ⅰ                | 特定処遇<br>改善加算Ⅰ              | ベースアップ<br>等支援加算       | 地域外送迎                    | 長期利用者<br>提供減算 |
| 算定回数(回)          | 25                   | 846                        | 846                        | 417                   | 108                      | 15            |
| 金 額(円)           | 22,500               | 4,934,150                  | 1,604,720                  | 469,330               | 27,000                   | -4500         |
| 加算項目<br>回数<br>金額 | 加算収入額<br>合計          |                            |                            |                       |                          |               |
| 算定回数(回)          |                      |                            |                            |                       |                          |               |
| 金 額(円)           | 14,496,870           |                            |                            |                       |                          |               |

短期入所 介護度別延べ利用状況



## 7 天橋の郷通所介護事業所

ご利用者の在宅生活が一層よいものとなるよう機能維持・自立支援を重視したケアに努めました。その方にあったケアの方法を日々のミーティングや毎月のデイ会議などにおいて多職種が協議し、より良いケアの提供に努めることでご利用者・ご家族に安心して利用していただくことができました。また、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターをはじめ、関係機関と密に連携して状態の変化などの情報共有を迅速に行うことができ、状況に応じたケアの提供に繋げることができました。

グループ活動においては、京都式選べるデイスービスを継続して取り組み、日々3～5個のグループを作って活動に当たりました。すべての活動においてご利用者の声に耳を傾け、要望を取り入れながら内容を検討して行くことができ、ご利用者の満足度向上に繋がったと感じております。また、行事企画は季節に応じた内容のものを毎月実施し、ご利用者と一緒に職員も楽しむことができました。

人材育成では、移乗リフトやトランスファーボードを用いた介助などノーリフティングケアを実施し、ご利用者、職員の負担軽減を図ると共に介助方法の選択肢が広がることにより職員のスキルアップにつながりました。

経営面において、稼働率は目標に到達せず低水準となってしまいました。新型コロナウイルス感染症がご利用者・職員で発生してしまい、営業休止となったことや、冬季に体調不良などにより利用中止が続発し、その穴が埋め切れなかったことが年間稼働率の低迷の大きな要因でした。新型コロナウイルス感染症の発生による営業休止は、ご利用者の在宅生活に大きな影響を与えてしまうこととなるため、今後も新型コロナウイルス感染症を含むあらゆる感染症予防にしっかりと取り組んでまいります。

今後も多様化する利用者ニーズに応えられるよう、認知症対応の充実や介護技術の向上を図りながらどのようなご利用者も受け入れ、その方の在宅生活を支えると共に稼働率の向上に努めます。

### ①利用実績

#### (ア) 延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 区分<br>年度 | 定員  | 営業日数 | 延利用数   | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 3年度      | 35人 | 259日 | 7,721人 | 85.2% | 1.4   |
| 4年度      | 35人 | 254日 | 7,174人 | 80.7% | 1.5   |

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症により営業を5日休止

#### (イ) 介護度別利用状況

| 介護度<br>年度 | 要介護1   | 要介護2   | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計     |
|-----------|--------|--------|------|------|------|--------|
| 3年度       | 2,796人 | 2,061人 | 779人 | 309人 | 13人  | 5,958人 |
| 4年度       | 2,497人 | 2,115人 | 463人 | 306人 | 110人 | 5,491人 |

(ウ) 介護度別利用状況 (介護予防)

| 介護度<br>年度 | 要支援 1 | 要支援 2   | 合 計     |
|-----------|-------|---------|---------|
| 3 年度      | 539 人 | 1,224 人 | 1,763 人 |
| 4 年度      | 503 人 | 1,180 人 | 1,683 人 |

(エ) 加算の状況

【通所介護】

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 個別機能訓練加算ⅠⅠ<br>(56) | 個別機能訓練加算ⅠⅡ<br>(85) | 個別機能訓練加算Ⅱ<br>(20) | 認知症加算<br>(60) | 入浴介助加算Ⅰ<br>(40) | 口腔機能向上加算Ⅱ(介護)<br>(160) | ADL維持等加算Ⅰ |
|------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------|-----------------|------------------------|-----------|
| 算定回数(回)          | 664                | 3,506              | 731               | 1,014         | 4,676           | 1,117                  | 731       |
| 加算収入額(円)         | 371,840            | 2,980,100          | 146,200           | 608,400       | 1,870,400       | 1,787,200              | 219,300   |

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 科学的介護推進体制加算(介護)<br>(40) | 送迎減算<br>(-47) | サービス提供体制加算Ⅱ<br>(18) | 処遇改善加算Ⅰ(介護)<br>(59/1000) | 特定処遇改善加算Ⅰ(介護)<br>(12/1000) | ベースアップ等支援加算(介護) |
|------------------|-------------------------|---------------|---------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------|
| 算定回数(回)          | 793                     | 82            | 5,466               | 793                      | 793                        | 405             |
| 加算収入額(円)         | 317,200                 | -38,540       | 983,880             | 2,950,720                | 600,070                    | 282,590         |

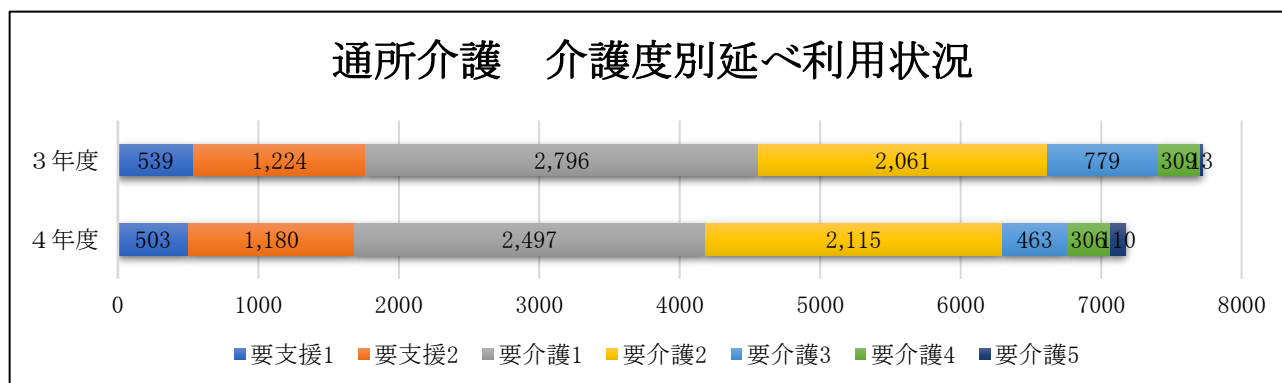
|              |              |
|--------------|--------------|
| 通所介護 合計加算収入額 | 13,079,360 円 |
|--------------|--------------|

【予防通所】

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 運動機能向上加算<br>(225) | サービス提供体制加算ⅡⅠ<br>(72) | サービス提供体制加算ⅡⅡ<br>(144) | 複数サービス実施加算ⅡⅡ<br>(480) |
|------------------|-------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 算定回数(回)          | 177               | 140                  | 165                   | 122                   |
| 加算収入額(円)         | 398,250           | 100,800              | 237,600               | 585,600               |

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 処遇改善加算Ⅰ<br>(59/1000) | 特定処遇改善加算Ⅰ<br>(12/1000) | ベースアップ等支援加算 | 科学的介護推進体制加算<br>(40) | 口腔機能向上加算Ⅱ<br>(160) |
|------------------|----------------------|------------------------|-------------|---------------------|--------------------|
| 算定回数(回)          | 305                  | 305                    | 151         | 304                 | 45                 |
| 加算収入額(円)         | 543,760              | 110,400                | 50,440      | 121,600             | 72,000             |

|                |             |
|----------------|-------------|
| 予防通所介護 合計加算収入額 | 2,220,450 円 |
|----------------|-------------|



## 8 R e s t y l e 通所介護事業所

前年度は新型コロナウイルス感染症まん延の影響を受け、新規利用者が少なく利用中止者があってもなかなか稼働率を上げることができませんでしたが、今年度はコロナが落ち着いてきた夏場以降に新規利用が増え、安定した利用者数を確保できるようになりました。新規ご利用者の増加に伴い、ご利用者の状態の幅も大きくなりましたが、より個別的な関わりを持つことでそれぞれのご利用者に概ね満足していただくことができました。新型コロナが収まりきっていない中での活動でしたが、楽しみのある機能訓練や活動の提供をできる限り行うように努めました。

今年度は屋外での活動も積極的にいき、地域の運動場を借りてグランドゴルフやモルックを行いました。特にモルックはこれから地域の高齢者に普及していくスポーツでもあり、ご利用者が今後地域で活躍できることを意識し、地域に先駆けて実施しました。また、お花見ウォーキングではみたらし団子を持って出かけたり、夏場は運動の後にアイスクリーム入りの飲み物を提供したりと、楽しみのある活動を提供しました。次年度も身体を動かすだけでなく、利用者の皆さんが意欲を持って運動できる、楽しみのある活動の提供を行います。

利用実績では、事業計画での数値目標は新規契約者数、稼働率ともに上回り、安定した利用者数を確保できました。ここ数年は新型コロナ禍の影響で利用控えがあり、また新規のご利用者の情報も低調でしたが、今年度は少し落ち着いてきたためか、新規希望が多くなり、そのほとんどのご利用者を受け入れることができました。また、新規ご利用者も概ね定着され、継続して利用していただいていることも稼働率増加の大きな要因と思われます。例年の冬期の稼働率低下も、コロナが落ち着いたことや、積雪量が少なく比較的穏やかな天候だったため、利用控えの方が少なく、低下が抑えられました。収入についても、事業所評価加算や ADL 維持等加算が算定できたことにより、前年度に比べ収入が大きく上昇しました。今後の課題は、送迎車が3台のため地域によって希望曜日に受け入れが難しい方もあり、限られた枠の中で新規の利用者をどう確保していくかが重要になります。また、状態が変化し身体機能の低下がみられる方も数人おられます。利用者の入れ替わりに備え、少し先を見越しながら居宅介護支援事業所や関係機関へ情報提供を行うことにより、安定した稼働率に繋げていきます。引き続き SNS を活用しイベントや活動を情報発信で家族の方にも興味を持っていただけるよう、取り組んでいきます。

### ①利用実績

#### (ア) 延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 区分<br>年度 | 定員          | 営業日数  | 延利用数    | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|-------------|-------|---------|-------|-------|
| 3 年度     | AM・PM 15/15 | 259 日 | 4,430 人 | 57.0% | 0.7   |
| 4 年度     | AM・PM 15/15 | 259 日 | 4,926 人 | 63.4% | 0.8   |

#### (イ) 介護度別利用状況

| 介護度<br>年度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計     |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 3 年度      | 989 人 | 448 人 | 85 人  | 0 人   | 0 人   | 1,522 人 |
| 4 年度      | 903 人 | 603 人 | 131 人 | 0 人   | 0 人   | 1,637 人 |



(ウ) 介護度別利用状況 (介護予防)

| 介護度<br>年度 | 事業対象者 | 要支援 1   | 要支援 2 | 合 計     |
|-----------|-------|---------|-------|---------|
| 3 年度      | 115 人 | 2,349 人 | 444 人 | 2,908 人 |
| 4 年度      | 96 人  | 2,448 人 | 745 人 | 3,289 人 |

(エ) 加算の状況

【通所介護】

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 個別機能訓練加算Ⅰ<br>(56) | ADL 維持等加算Ⅱ<br>(R5.7 月～)<br>(60) | 科学的介護<br>推進体制加算<br>(40) | サービス提供<br>体制加算Ⅰ<br>(22) | 処遇改善<br>加算Ⅰ<br>(59/1000) | 特定処遇改善<br>加算Ⅰ<br>(12/1000) |
|------------------|-------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 回数(回)            | 1,481             | 283                             | 378                     | 1,639                   | 52,081                   | 10,578                     |
| 加算収入額(円)         | 829,360           | 16,980                          | 151,200                 | 360,580                 | 520,810                  | 105,780                    |

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 介護職員等ベースアップ等支援加算<br>(R5.10～) (11/1000) | 送迎減算<br>(-47) |
|------------------|----------------------------------------|---------------|
| 回数(回)            | 4,764                                  | 1             |
| 加算収入額(円)         | 47,640                                 | -470          |

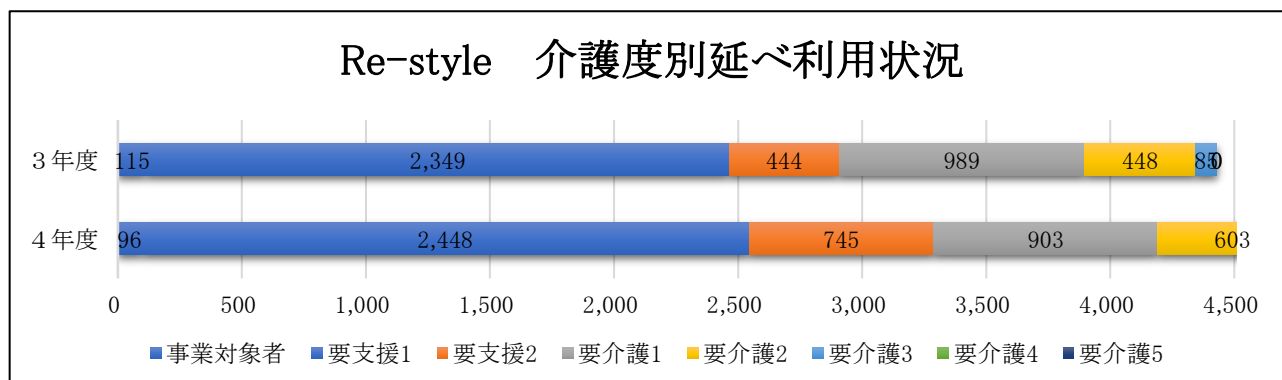
通所介護合計加算収入額 2,031,880 円

【予防通所】

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 運動器機能向上<br>加算<br>(225) | 事業所評価<br>加算<br>(120) | 科学的介護<br>推進体制加算<br>(40) | サービス提供<br>体制加算Ⅰ<br>(88) | サービス提供<br>体制加算Ⅱ<br>(176) | 処遇改善加算Ⅰ<br>(59/1000) |
|------------------|------------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|----------------------|
| 回数(回)            | 826                    | 826                  | 826                     | 657                     | 169                      | 122,128              |
| 加算収入額(円)         | 1,858,500              | 991,200              | 330,400                 | 578,160                 | 297,440                  | 1,221,280            |

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 特定処遇改善<br>加算Ⅰ<br>(12/1000) | 介護職員等ベース<br>アップ等支援加算<br>(11/1000) |
|------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 回数(回)            | 122,128                    | 12,372                            |
| 加算収入額(円)         | 1,221,280                  | 123,720                           |

予防通所合計加算収入額 5,650,530 円



## 9 はまなす苑通所介護事業所

今年度も新型コロナウイルスの影響により利用率は低迷しました。内容については昨年度より良いものを提供するようにイベントや設えに力を入れ取り組みました。ご利用者に満足していただけるだけでなく職員も楽しみながら行うことができ、職員のモチベーション向上にも繋がりました。

そして、外出等も感染予防対策を行い少人数制で実施し、普段体験されないような場所にも行き大変好評でした。また、はまなすマルシェや文化祭出店、はまなす農園で収穫した野菜を子供食堂などへ寄付するなど地域へ向けた取り組みもたくさん行うことができ充実した1年になりました。

活動記録としてSNSで発信することで、全国の方々に知っていただきはまなす苑としてだけでなく、北星会の求人活動にも影響を与えることができたので今後も継続して発信していきます。

来年度も今までの取り組みを継続しつつ、新しいことにもチャレンジする1年とし、ご利用者だけでなく、地域の方に喜んでいただける施設づくりを目指します。

利用率と収入では、昨年度を大幅に下回りました。新規獲得は事業計画に近い人数でしたが、今年度は毎日利用の方の利用中止が数名あったことが影響しました。来年度はそういった状況にも対応できるよう、関係機関や医療機関との連携をさらに深めるだけでなく、地域のサロンや由良リングカフェにも精力的に取り組み、新規利用者の獲得に努めます。

### ①利用実績

#### (ア) 延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 区分<br>年度 | 定員  | 営業日数 | 延利用数   | 利用率   | 平均介護度 |
|----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 3年度      | 20人 | 259日 | 4,196人 | 81.0% | 1.9   |
| 4年度      | 20人 | 257日 | 3,989人 | 77.6% | 2.0   |

※令和4年度は新型コロナ感染症により営業を2日休止

#### (イ) 介護度別利用状況

| 介護度<br>年度 | 要介護1   | 要介護2 | 要介護3   | 要介護4 | 要介護5 | 合計     |
|-----------|--------|------|--------|------|------|--------|
| 3年度       | 1,677人 | 744人 | 1,077人 | 243人 | 167人 | 3,908人 |
| 4年度       | 1,215人 | 978人 | 1,016人 | 217人 | 156人 | 3,582人 |

#### (ウ) 介護度別利用状況（介護予防）

| 介護度<br>年度 | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 合計   |
|-----------|-------|------|------|------|
| 3年度       | 8人    | 40人  | 240人 | 288人 |
| 4年度       | 0人    | 0人   | 407人 | 407人 |

(エ) 加算の状況

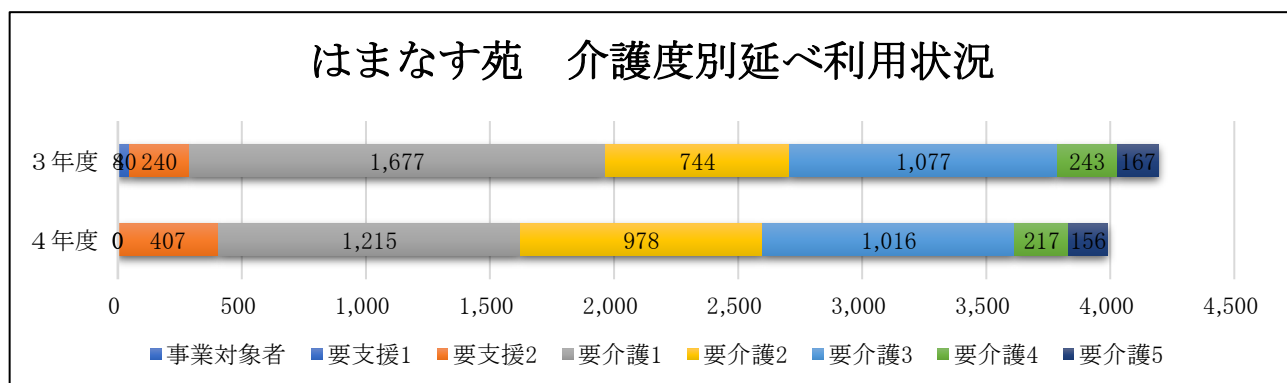
【通所介護】

| 加算項目<br>回数<br>金額            | 入浴介助<br>加算 I<br>(40)             | 認知症<br>加算<br>(60) | 送迎減算<br>(-47) | サービス提<br>供体制加算<br>I<br>(22) | 口腔機能<br>向上加算 I<br>(150) | 科学的介護<br>推進体制加算<br>(40) | 処遇改善<br>加算 I<br>(59/1000) |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------|---------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 回数(回)                       | 3,286                            | 1,611             | 97            | 3,578                       | 600                     | 367                     |                           |
| 金額(円)                       | 1,314,400                        | 966,600           | -45,590       | 787,160                     | 900,000                 | 146,800                 | 1,915,190                 |
| 特定処遇<br>改善加算 I<br>(12/1000) | ベースアップ<br>等<br>支援加算<br>(11/1000) | 感染症災害<br>3%加算     | 合計            |                             |                         |                         |                           |
|                             |                                  |                   |               |                             |                         |                         |                           |
| 389,560                     | 169,330                          | 72,940            | 6,616,390     |                             |                         |                         |                           |

【予防通所】

| 加算項目<br>回数<br>金額 | 運動器機能<br>向上加算<br>(225) | 口腔機能<br>向上加算 I<br>(150) | サービス<br>提供体制<br>加算 I 1<br>(88) | サービス<br>提供体制<br>加算 I 2<br>(176) | 科学的介護<br>推進体制<br>加算<br>(40) | 処遇改善<br>加算 I<br>(59/1000) | 特定処遇<br>改善<br>加算 I<br>(12/1000) | ベースアッ<br>プ等<br>支援加算<br>(11/1000) |
|------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 回数(回)            | 58                     | 14                      | 0                              | 58                              | 58                          |                           |                                 |                                  |
| 金額(円)            | 130,500                | 21,000                  | 0                              | 102,080                         | 23,200                      | 131,230                   | 26,530                          | 13,300                           |
| 合計               |                        |                         |                                |                                 |                             |                           |                                 |                                  |
| 447,840          |                        |                         |                                |                                 |                             |                           |                                 |                                  |

はまなす苑 介護度別延べ利用状況



10 事務部門

(1) 実習・研修の受入

- ・栗田中学校1年生12名を対象に、「次世代の担い手育成事業」として認知症サポーター養成講座と福祉体験学習を指導した。
- ・福祉即戦力人材養成科の介護実習生を受け入れるべく準備したが、希望がなかった。

- ・求職者の施設見学は随時受け入れた。

## (2) 地域貢献活動

- ・オープンデイ及びふれあいフェスタは新型コロナ感染症のため、中止した。
- ・栗田地区において認知症カフェ（いちごカフェ）感染対策を施しながら実施した  
実施回数 7 回 参加者数延べ 54 名
- ・獅子地区の一斉清掃に参加したほか、クリーンはしだて一人一坪大作戦等に参加した。

## (3) 配食サービス実績

| 年度 \ 項目 | 介護配食     | 持ち帰り弁当   |
|---------|----------|----------|
| 3 年度    | 1, 181 食 | 2, 941 食 |
| 4 年度    | 1, 191 食 | 2, 977 食 |

## (4) おむつ等販売

| 年度 \ 項目 | 販売数        |
|---------|------------|
| 3 年度    | 1, 105 パック |
| 4 年度    | 921 パック    |

## (5) 委員会及び会議

| 会 議 名          | 開催回数／年 |
|----------------|--------|
| 感染症予防委員会       | 4 5 回  |
| 認知症ケア委員会       | 4 回    |
| 排泄ケア・褥瘡予防委員会   | 4 回    |
| 事故防止・拘束廃止委員会   | 1 2 回  |
| 看取り委員会         | 4 回    |
| 安全衛生委員会        | 1 2 回  |
| 業務運営会議         | 1 2 回  |
| 入所判定会議         | 2 0 回  |
| 介護会議           | 1 2 回  |
| ユニット会議（各ユニット毎） | 1 2 回  |
| デイ会議           | 1 2 回  |
| 地域貢献 P R 委員会   | 1 2 回  |
| 医務会議           | 1 2 回  |
| 調理会議           | 1 2 回  |
| 給食会議           | 6 回    |

## (6) 研修

### ①内部研修

| 研修・会議名         | 参加人数 | 研修内容                       |
|----------------|------|----------------------------|
| 感染症予防委員会①      | 39 人 | 食中毒予防について・コロナ発生時のゾーニングについて |
| 排泄ケア・褥瘡予防対策委員会 | 31 人 | 適切なオムツ着用方法・陰部洗浄について        |

|               |      |                        |
|---------------|------|------------------------|
| 事故防止・拘束対策委員会① | 41 人 | 身体拘束の基礎知識 転倒事故防止対策     |
| 看取り委員会        | 21 人 | 看取りケア A C P            |
| 感染症予防委員会②     | 36 人 | コロナ感染予防(ガウンテクニック)と吐物処理 |
| 事故防止・拘束対策委員会② | 41 人 | 身体拘束ゼロへの取組み 再発防止の取組み   |
| 安全衛生委員会       | 28 人 | 高齢者介護施設における職員のメンタルヘルス  |
| 認知症ケア委員会      | 44 人 | 1 年間の取組み 実践報告          |
| 普通救命講習 I      | 31 人 | A E D 操作も含めた救命講習       |
| 実践報告会         | 44 人 | ノーリフティングケア 余暇活動実践報告    |

## ②外部研修

| 研修・会議名                     | 参加人数 | 研修の開催方法・研修内容                |
|----------------------------|------|-----------------------------|
| 認知症介護基礎研修                  | 7 人  | (e-ラーニング)無資格職員を対象とした研修      |
| 認知症介護実践者研修                 | 2 人  | (集合研修)認知症について実践事例を通し学ぶ      |
| 認知症介護実践リーダー研修              | 2 人  | (集合研修)認知症介護についてリーダーとして役割を学ぶ |
| 新型コロナ感染症対策研修               | 1 人  | (Zoom)感染症対策の確認              |
| 企業内人権啓発推進員研修               | 1 人  | (集合研修)採用面接時の注意点等            |
| 福祉職場の魅力発信 SNS 活用セミナー       | 1 人  | (Zoom)SNS 活用と注意点            |
| 聞く力と伝える力コミュニケーションスキル       | 1 人  | (Zoom)対人援助の基本を学ぶ            |
| バーセルインデックス研修               | 5 人  | (Zoom)バーセルインデックス評価方法について    |
| 新任職員研修会                    | 1 人  | (集合研修)福祉職員としての心得について        |
| 糖尿病について学びを深めよう             | 1 人  | (Zoom)糖尿病の基礎と介護上の注意点        |
| 新任職員向け虐待防止研修               | 1 人  | (Zoom)人権擁護と介護上に注意点          |
| 災害・感染症対策委員会研修              | 1 人  | (Zoom)B C P 計画作成について        |
| 安全運転管理者オンライン講習             | 1 人  | (Zoom)車両取扱いと送迎業務の注意点        |
| 原子力防災業務関係者研修               | 9 人  | (Zoom)原子力災害の基礎知識と基本的対応      |
| 身体拘束ゼロ推進研究会リーダー研修          | 1 人  | (Zoom)個別ケアを進める上での留意点        |
| 中堅職員研修                     | 2 人  | (Zoom)リーダーとしての職員育成について      |
| 老人福祉施設看護・介護職員研修            | 1 人  | (Zoom)感染症予防について             |
| 福祉即戦力人材養成科「講師養成研修」         | 2 人  | (Zoom)講師としての事前研修            |
| 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修      | 1 人  | (Zoom)介護施設での看護師の役割          |
| デイサービスにおける新型コロナ及び感染症対策について | 2 人  | (Zoom)デイサービスでの新型コロナ感染予防の留意点 |
| アサーティブ研修                   | 1 人  | (集合研修)自分の考えや意見を率直に表現する      |
| 排泄ケアを見直しませんか               | 1 人  | (Zoom)適切な紙おむつ等の使用について       |
| 初級介護技術研修                   | 2 人  | (集合研修)介護技術の基本について           |

|                                  |     |                                  |
|----------------------------------|-----|----------------------------------|
| 高齢者等虐待防止ネットワーク研修会                | 3 人 | (Zoom) 人権擁護に立った介護サービスの提供         |
| リフトリーダー養成研修                      | 1 人 | (集合研修) ノーリフティングケアの進め方            |
| 上司と部下で楽しく学ぶコミュニケーション上達術          | 2 人 | (集合研修) チームケアにおける有効なコミュニケーション術    |
| 京都府機能訓練指導員等研修会                   | 2 人 | (Zoom) 介護サービスでの機能訓練について          |
| 換気から見た新型コロナ対策について                | 1 人 | (Zoom) 正しい換気方法による感染予防            |
| レクリエーションの目的を学び支援者としての役割を理解する     | 1 人 | (集合研修) レクリエーション展開時の注意点           |
| 京都府機能訓練指導員研修会                    | 2 人 | (Zoom) 機能訓練について                  |
| 管理職に求められるヒューマンスキルの向上とハラスメント対策の実際 | 3 人 | (Zoom) 職員育成の上で注意すべき点について         |
| 福祉避難サポートリーダー養成研修                 | 3 人 | (Zoom) 福祉避難所開設時の注意点について          |
| 感染症予防対策研修会                       | 1 人 | (Zoom) 新型コロナ最新の状況と予防対策の確認        |
| 認知症の行動心理症状(BPSD)の理解とアセスメント       | 2 人 | (Zoom) 周辺症状の理解と評価の方法について         |
| みんなで押そう「やる気スイッチ」                 | 1 人 | (集合研修) モチベーションの向上と業務に従事する上での心構え  |
| 家族との協力と連携コース                     | 1 人 | (Zoom) 地域密着型事業所としての地域・家族との連携について |
| 長谷川式簡易知能評価スケールを現場で活かす            | 7 人 | (Zoom) 長谷川式簡易知能評価スケールの理解と活用について  |
| 過去の自然災害に学ぶBCP                    | 1 人 | (Zoom) 看護職の立場でBCPを理解する           |
| 福祉サービス苦情解決事業相談研修会                | 3 人 | (Zoom) 苦情・クレームへの対応について           |
| 京都府オレンジロードつなげ隊推進員合同研修            | 3 人 | 認知症患者の在宅支援について                   |
| 宮津市高齢者虐待防止研修会                    | 3 人 | (Zoom) 高齢者虐待防止について               |
| 丹後圏域リハ実践交流会                      | 2 人 | (Zoom) 機能訓練指導員の意見交換              |
| 施設看取り介護導入研修                      | 1 人 | (Zoom) 看取り介護の基礎について学ぶ            |
| 施設看取り介護専門研修                      | 1 人 | (Zoom) 看取り介護リーダー職員研修             |
| 施設看取り介護専門研修(施設長向け)               | 1 人 | (Zoom) 施設内での看取り介護について            |

#### (7) 職員健康診断等の実施状況

| 健診等内容     | 実施日                   | 受診者数         | 備考      |
|-----------|-----------------------|--------------|---------|
| 一般健診      | 9 月 14 日              | 107 人        | 年 1 回   |
| 腰痛健診      | 10 月 25 日<br>2 月 15 日 | 69 人<br>79 人 | 半年に 1 回 |
| 深夜業務従事者健診 | 2 月 16 日              | 38 人         | 年 1 回   |
| ストレスチェック  | 9 月 8 日               | 90 人         | 年 1 回   |

## リハ・ヴィラなぎさ苑 事業報告書

### 【年度統括】

令和4年度は複数回、施設内クラスターが発生し新型コロナウイルス感染対策に伴い、入所受入れの制限、サービスの休業等の業務縮小を実施し、十分なサービスが提供できない状況となりました。また経営面でも入所受入れの制限、サービスの休業による利用率の低下、感染対策、対応に関わる物品の購入、消耗品コストの増加、物価高騰等の影響で、厳しい状況となりました。そのような中で当施設は地域の高齢者福祉施設の整備や充足状況、地域で介護サービスを展開している事業所の運営状況と整備計画を踏まえ、以下の6項目を事業計画に掲げて重点的に取り組みました。

#### 令和4年度事業計画重点項目

1. 在宅復帰・超強化型の算定維持、その他の専門的加算の充実
2. 居宅介護支援センターの整備、ケアマネジャー等の専門職の確保・育成
3. 在宅支援・在宅復帰施設としての体制強化
4. 職員研修（OJT・Off-JT）の充実、職員間の情報共有
5. 環境にやさしい介護施設の整備
6. ご利用者の障害や状態に対応し、安全・安心でかつ楽しい食事の提供

#### 1. 在宅復帰・超強化型の算定維持、その他の専門的加算の充実

平成30年度に施行された介護報酬改定で、老健の在宅復帰・在宅生活維持支援の役割が明確となり、5段階（超強化型・在宅強化型・加算型・基本型・その他型）に類型化されました。当施設は、改定前より在宅復帰と在宅支援に積極的に取り組んでおり、新設された超強化型加算の算定と維持を目標に、平成30年6月から超強化型加算を開始し、以後途切れることなく現在まで超強化型加算算定を維持することができました。

また、在宅復帰・在宅生活支援のため、多様な在宅系サービスを切れ目なく提供できるよう多職種協働による退所前カンファレンス、入退所前後訪問などを行いました。ご家族とも情報交換、情報の共有化を図り、退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、短期入所等を効果的にご利用いただくことにより、在宅生活が長く続けられるよう取り組んできました。

#### 2. 居宅介護支援センターの整備、ケアマネジャー等の専門職の確保・育成

「入院から在宅への流れ」に対応し、令和元年度から居宅介護支援センターはケアマネジャー6名体制を維持し、在宅生活においても訪問リハビリや必要に応じて短期入所の利用を進め在宅支援や地域貢献等、地域のニーズを把握し、在宅と施設の連携を構築しました。

また令和4年度は介護職員、看護職員、リハビリ職員、調理職員を新規採用するなど人員を確保し体制強化に繋がりました。

#### 3. 在宅支援・在宅復帰施設としての体制強化

職員が在宅支援、在宅復帰施設としての役割を意識し、各専門職が効果的にサービスを提供できる体制を整えました。また老健施設の在宅復帰、超強化型加算の算定維持に必要な体制を構築しました。

#### 4. 職員研修（OJT、Off-JT）の充実、職員間の情報共有

施設内職員研修会を月1回以上開催し、リスクマネジメント、身体拘束虐待防止、感染症対策の法定研修に加え、腰痛予防、コミュニケーションに関する研修などを企画、実施し、職員個々のスキルアップに結びました。また部署ごとにOJT(On-the-Job Training)プログラムを作成して項目ごとに実践検証を行い、介護、医療の質的向上、人材育成に努めてきました。

施設外研修（Off-JT）については集合研修、WEB研修への参加を職員に促し個々のスキルアップに結びました。

令和4年度よりサクラボ（eラーニング）を活用し職員個々の隙間時間や施設内研修会で活用し、研修の機会が大幅に増加しました。

#### 5. 環境にやさしい介護施設の整備

「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」の検証期間が終了しましたが引き続き、二酸化炭素排出削減を意識すると同時に、職員はゴミの削減を行うなどSDGsに積極的に取り組むことを意識づけしました。

#### 6. ご利用者の障害や状態に対応し、安全・安心でかつ楽しい食事の提供

当施設のご利用者を始め、天橋園（デイサービス、ハウゼ、天橋の家）へ当施設で調理した食事を継続的に提供することができました。ご利用者個々に合った食事の提供ができるよう、職員間で情報を共有すると共に安全・安心かつバランスの取れたメニューを提供しました。

### 【部署別事業報告】

#### 1 支援相談室

平成30年6月から算定を開始した「超強化型加算」の算定を令和4年度も継続することができました。

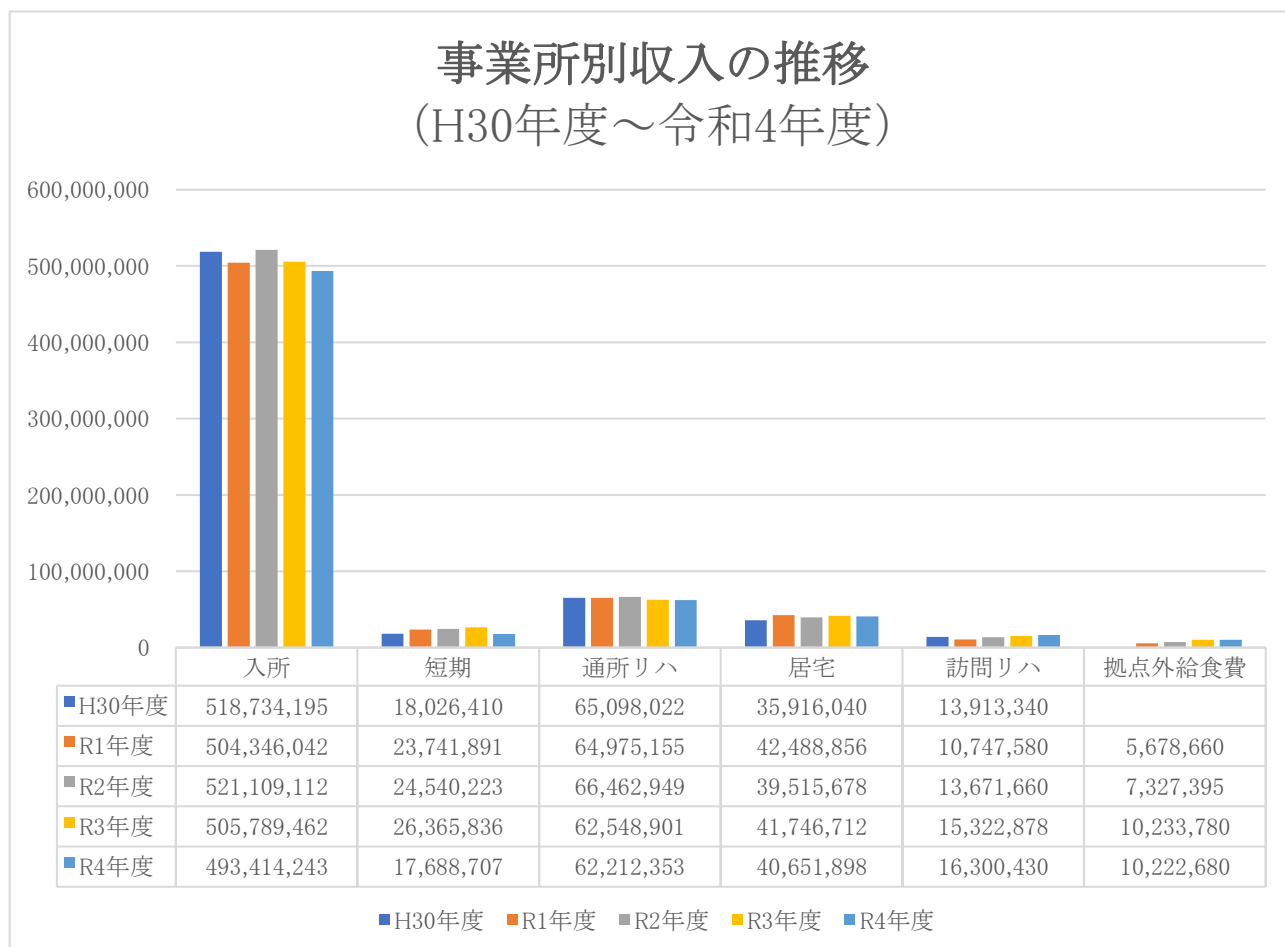
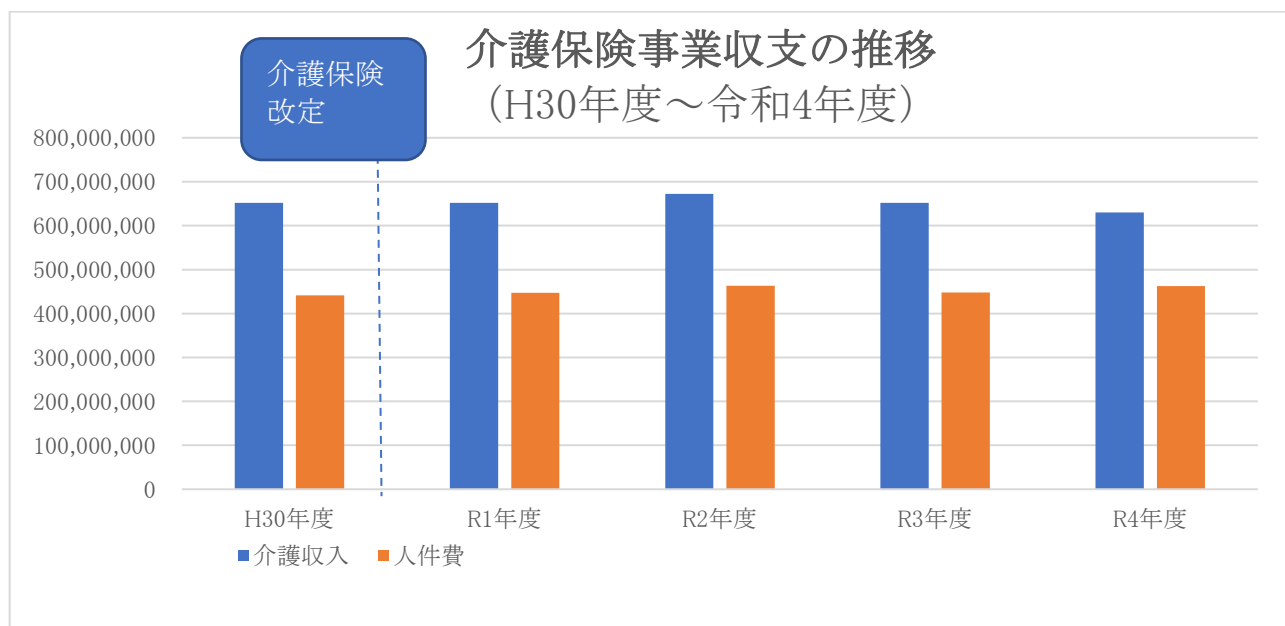
支援相談室が中心となり算定要件である「在宅復帰率」「回転率」「入退所前後訪問数」に加えて「入所稼働率」を小まめに把握し、毎月の業務運営会議などを通して各部署主任を中心に情報共有を行いました。その中で、ご利用者が特養へ入所されるケースが増えたことや施設内での新型コロナウイルス感染拡大予防対応により、在宅復帰率、稼働率、入所前訪問等に大きな影響を与えました。

また新型コロナウイルス感染拡大予防の為、面会制限、行事の自粛など様々な対策、制限を強いられましたが、ICTを活用し、施設へ来苑、または自宅からできるオンライン面会システムの継続、なぎさ苑だよりの発行やHPの更新により、ご家族に少しでもご利用者の様子をお伝えできるよう、努めました。

その他、可能な範囲で社会福祉学科の学生の実習受け入れ、地域貢献活動として吉津



公民館にて「須津なぎさカフェ」、吉津小学校3・4年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催しました。また新たに地域住民の方からの要望に応え、須津地区で開催される「ふれあいサロン」へ参加する際の送迎のお手伝いをさせていただき取り組みも開始しました。



# ◎長期入所 療養介護状況

| 区分<br>年度 | 入所稼働率<br>(短期入所 含) | 在宅復帰率 | ベッド<br>回転率 | 重度化割合<br>要介護 4・5 | 入所前後<br>訪問指導 | 退所前後<br>訪問指導 |
|----------|-------------------|-------|------------|------------------|--------------|--------------|
| 3 年度     | 94.8%             | 57.3% | 17.4%      | 31.5%            | 40.3%        | 36.8%        |
| 4 年度     | 92.5%             | 55.0% | 13.7%      | 31.3%            | 41.7%        | 34.0%        |

## 退所者状況（延人数）

| 区分<br>年度 | 在宅   | 在宅系施設 | 介護老人<br>福祉施設 | 他の老健 | 入院   | 死亡   | その他 | 合 計   |
|----------|------|-------|--------------|------|------|------|-----|-------|
| 3 年度     | 99 人 | 3 人   | 47 人         | 4 人  | 23 人 | 12 人 | 2 人 | 190 人 |
| 4 年度     | 82 人 | 7 人   | 38 人         | 4 人  | 26 人 | 12 人 | 8 人 | 177 人 |

## 年齢・性別 入所者数（延人数）

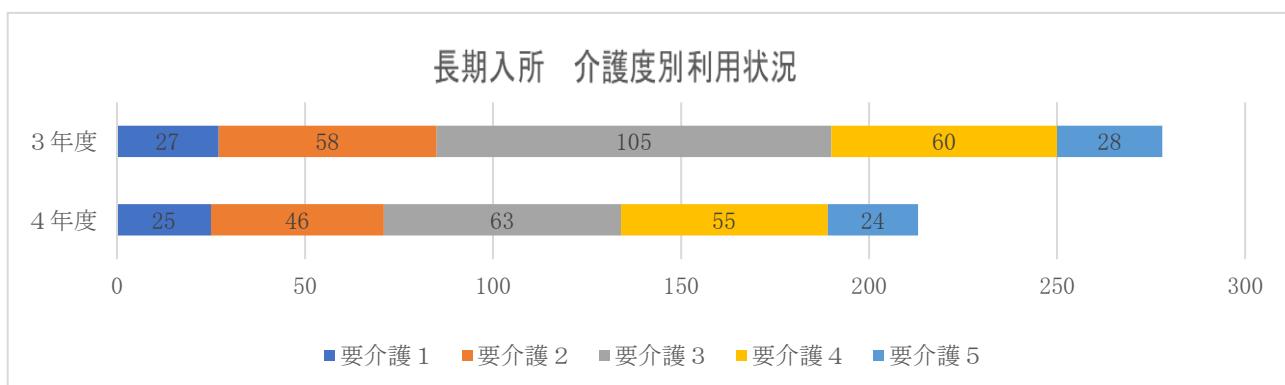
| 年度 年齢 | 65 歳 未 満 | 65～69 | 70～79 | 80～89 | 90～99 | 100 以 上 | 合計    |
|-------|----------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 3 年度  | 3 人      | 4 人   | 20 人  | 119 人 | 121 人 | 11 人    | 278 人 |
| 4 年度  | 0 人      | 3 人   | 17 人  | 89 人  | 95 人  | 9 人     | 213 人 |

## 介護度別 入所者数・平均介護度（延人数）

| 年度 介護度別 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計    | 平均介護度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 3 年度    | 27 人  | 58 人  | 105 人 | 60 人  | 28 人  | 278 人 | 3.0   |
| 4 年度    | 25 人  | 46 人  | 63 人  | 55 人  | 24 人  | 213 人 | 3.0   |

## 地区別入所者数（延人数）

| 年度 地域 | 宮津市   | 与謝野町  | 伊根町  | その他  | 合計    |
|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 3 年度  | 146 人 | 109 人 | 8 人  | 15 人 | 278 人 |
| 4 年度  | 105 人 | 84 人  | 11 人 | 13 人 | 213 人 |



# ◎短期入所 療養介護状況

## 介護度別 ・ 平均介護度（延人数）

| 年度 介護度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合 計   | 平均<br>介護度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 3 年度   | 45 人  | 54 人  | 54 人  | 68 人  | 13 人  | 234 人 | 2.6       |
| 4 年度   | 24 人  | 74 人  | 46 人  | 41 人  | 25 人  | 210 人 | 2.9       |

## 要支援 入所状況（延人数）

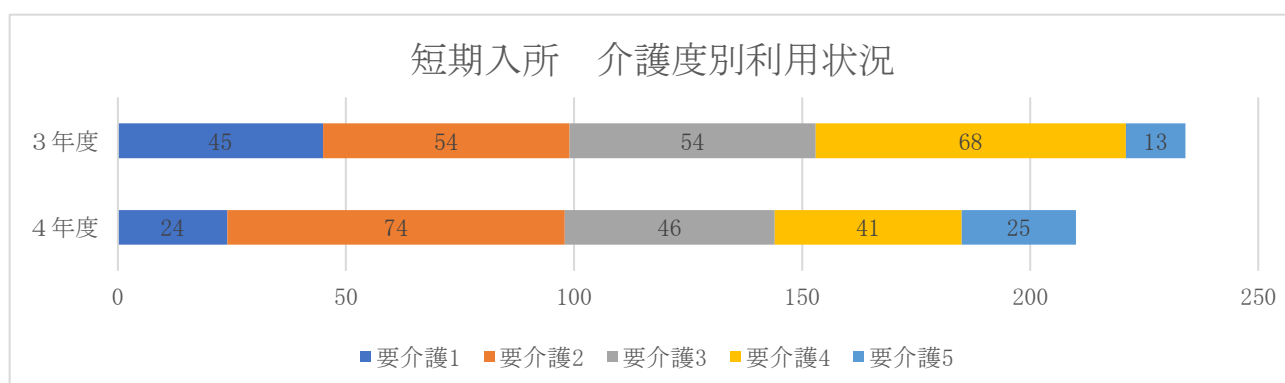
| 年度 \ 介護度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 合 計 |
|----------|-------|-------|-----|
| 4 年度     | 0 人   | 0 人   | 0 人 |

## 地区別 入所状況（延人数）

| 年度 \ 介護度 | 宮津市  | 与謝野町 | 伊根町 | その他 |
|----------|------|------|-----|-----|
| 3 年度     | 46 人 | 15 人 | 1 人 | 1 人 |
| 4 年度     | 30 人 | 15 人 | 2 人 | 0 人 |

## 新規契約者（延人数）

| 年度 \ 介護度 | 新規入所者 |
|----------|-------|
| 3 年度     | 44 人  |
| 4 年度     | 36 人  |



## 2 介護部門

### （一般療養棟）

令和 3 年度と変わらずコロナ禍の一年で、余暇活動や外出等様々な場面で制限のある中、余暇活動については各ユニットから選出された委員を中心に、施設内で出来る活動を通して QOL の向上に努めました。令和 5 年度も引き続き委員中心での活動を継続して行きたいと考えています。面会については施設の方針に沿った方法で、ご家族との関わりにも緊張感をもって対応し看取り期のご利用者、ご家族については状況に応じて柔軟な対応を行う事ができました。環境整備、リスク管理については入退所が多い中、使用物品の配置をコントロールし、ご利用者に応じた居室環境を提供できるよう、また転倒による外傷予防についてはワンダーマットの設置や必要に応じてセンサーマットを使用し重大事故予防に努めました。リスク説明についても、ご家族への理解が得られるよう、入所受け入れ時に丁寧に説明を行いました。

一般療養棟での認知症ケア実践については、認知症実践者研修、認知症介護実践リーダー研修の受講者それぞれの学びを現場スタッフへフィードバックし、チームでケアする事の重要性を共有しました。

今年度は一般療養棟においてもご利用者、職員の新型コロナウイルス感染が相次ぎ、感染対策のもと業務の縮小を実施し感染を拡大させないよう、職員はどのように業務を遂行するかをフロア職員みんなが考え共有、実践し、結果 40 日あまりの日数を要しましたが無事終息を迎える事ができました。常に有事の際の備え、対応を考えておくことは重要であると学びました。

新規入職者に対しての指導については、指導する側の職員を専任としその職員を窓口として育成に努めました。また進捗状況に応じての勤務形態をとる事で新規入職者の負担が大きくなるように、配慮しました。しかし現場内の職員関係に不安を抱く者もお

り職員関係、コミュニケーションに課題の残る1年でした。

#### (認知症専門棟)

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年同様の感染対策を重視し感染拡大防止に努めてきましたが令和4年6・7・8月、令和5年2・3月と認知症専門棟では、ご利用者・職員共に感染し、再度感染対策の見直しと、感染対応のマニュアル化を行いました。来年度も引き続き感染対策に取り組みたいと思います。

令和4年度は研修へ参加する機会が少なく、研修でのスキルアップやモチベーションの維持向上が難しい状態でしたが、主任・副主任・ユニットリーダーを中心にコミュニケーションを図り、体調面や変化に早期に気づき対応を行い、相談しやすい職場環境を目指しました。

リスク管理については、センサーマットの見直し・ワンダーマット・超低床ベッドの環境整備、御家族にリスク説明を行いヒッププロテクターの購入を勧めましたが、骨折事故に繋がりました。

職員については、人材確保が主な課題であります配置換え・拠点外異動もあり現時点では確保できている状態にあり、ご利用者に対してゆとりある安心・安全なケアの実現に繋がりました。

令和5年度については個々が抱える問題に対し早期解決を図り、働きやすい職場環境を整え、加算に対する知識を高め、LIFEを活用したPDCAサイクルで質の高いケアを目指し、認知症の進行防止や在宅復帰に向けたケアの実施を行い超強化型老健の維持に努めます。

### 3 看護部門

令和4年度は引き続き新型コロナウイルス対策を軸に業務を展開しました。8月と12月にワクチンの追加接種を行い、ご利用者と職員の接種を計画通り実施しました。

また職員本人やその家族に陽性者、濃厚接触事例が発生した場合は速やかに情報共有を行い、勤務管理、PCR検査、抗原検査を実施し施設内への持ち込みを防止に取り組みしました。しかしながら6月、1月、2月には施設内で感染が発生し、終息までに計91日を要しました。初期対応、検査体制等を考察しながら感染に強い体制整備に向けBCPの再構築が課題となりました。

皮膚排せつケア委員会として、LIFEへのデータ提出を継続し、ケアの質の向上に取り組みました。令和4年度の褥瘡発生件数は13件（前年度8件）と新型コロナウイルス感染対策の影響により増加傾向となりました。

看取りについては初期の段階で家族とのIC（Informed Consent）を開催し、推定意思の模索についてご家族へのサポートを行い、意思決定支援に努めました。コロナ禍における面会制限がある中でも、柔軟に対応しご家族が面会できる時間に配慮しました。

人材育成においては京都府看護協会のクリニカルラダーを試験的に導入しました。個々の看護職員の課題と目標が明確となり、組織的役割・遂行能力の向上につながる事が期待されます。

Off-JTについては日本看護協会、京都府看護協会の実践能力研修を11名が受講し自己研鑽に努めました。

また今年度は2名の看護職員の新規採用に繋がり、看護部門の体制強化を図る事が

できました。

#### 褥瘡マネジメント加算、排泄支援加算の算定状況

| 褥瘡マネジメント加算   | 排泄支援加算       |
|--------------|--------------|
| 3 年度 1,112 件 | 3 年度 1,135 件 |
| 4 年度 1,184 件 | 4 年度 1,200 件 |

#### 令和 4 年度の看取り件数

| 施設内死亡件数   | 看取り対応件数   |
|-----------|-----------|
| 3 年度 12 件 | 3 年度 9 件  |
| 4 年度 10 件 | 4 年度 10 件 |

#### 4 通所リハビリテーション

令和 4 年度は継続してコロナウィルス感染予防対策を実施し事業所内でコロナ感染者を出ることなくサービスを提供することができましたが施設内（3 階認知症専門棟）でコロナ感染症のクラスターが発生し、当事業所も 10 日間休業し施設全体で感染対応に取り組み、早期終息に努めました。

通所リハビリとして地域での役割を前提に考え、新規利用申し込みに対し、リハビリの継続が必要とされる退院・退所後の方を優先的に受け入れ、他の関係機関とも連携し、ご利用者やご家族が安心して在宅生活が継続できるように努めました。

リハビリ・看護職員・歯科衛生士等の専門職の配置により、多職種で共に関わる事で、ご利用者の満足度も向上し安定した加算やサービスの提供ができました。

また、前年より要介護 3 と 5 の方が急増し、医療的管理が必要な方も増えました。

##### ①利用実績

##### （ア）延べ利用者数及び利用率（要介護者及び要支援者）

| 年度 \ 区分 | 利用定員/日 | 営業日数  | 延利用者数   | 平均利用者数/日 | 利用率    |
|---------|--------|-------|---------|----------|--------|
| 3 年度    | 27 人   | 258 日 | 5,472 人 | 21.2 人   | 78.55% |
| 4 年度    | 27 人   | 249 日 | 5,436 人 | 21.8 人   | 80.85% |

※令和 4 年度コロナ感染症により 10 日営業を休止する。

※前年度の数字に誤りがありましたので、訂正して表示しています。

##### （イ）介護度別利用状況・平均要介護度（介護給付事業）

| 年度 \ 介護度 | 要介護 1   | 要介護 2   | 要介護 3   | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計      | 平均要介護度 |
|----------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|--------|
| 3 年度     | 1,496 人 | 1,731 人 | 912 人   | 459 人 | 190 人 | 4,788 人 | 2.19   |
| 4 年度     | 1,358 人 | 1,183 人 | 1,449 人 | 322 人 | 322 人 | 4,634 人 | 2.37   |

##### （ウ）介護度別利用状況（介護予防事業）

| 年度 \ 介護度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 介護予防計 |
|----------|-------|-------|-------|
| 3 年度     | 150 人 | 534 人 | 684 人 |
| 4 年度     | 76 人  | 726 人 | 802 人 |

## (エ) 加算の状況

### 認知症短期集中個別リハ加算

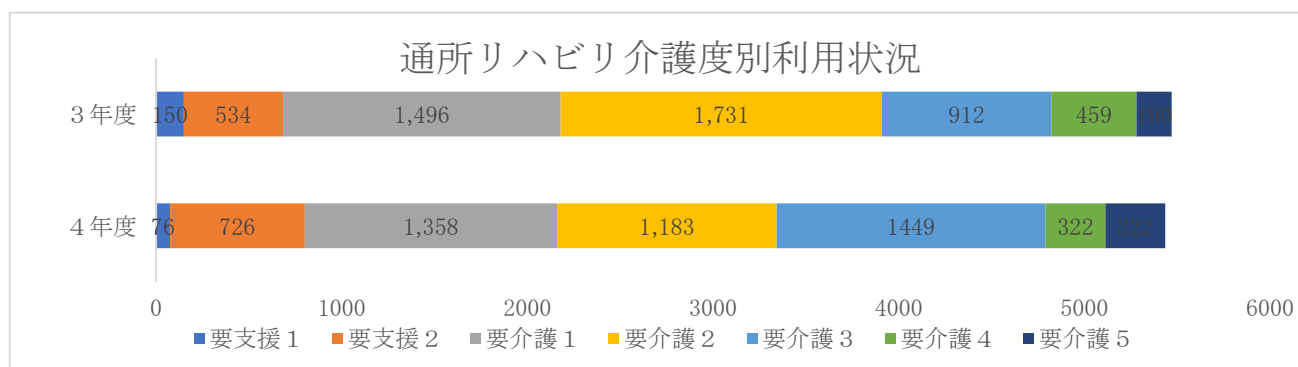
| (240 単位) | 延人数   |
|----------|-------|
| 3 年度     | 272 人 |
| 4 年度     | 237 人 |

### リハビリマネジメント加算 A (ロ)

| 年度 \ 人数 | 延人数   |
|---------|-------|
| 3 年度    | 109 人 |
| 4 年度    | 26 人  |

### 選択的サービス複数実施加算 I (介護予防)

| 年度 \ 人数 | 延人数   |
|---------|-------|
| 3 年度    | 103 人 |
| 4 年度    | 111 人 |



## 5 機能訓練室 (リハビリセラピスト<PT・OT・ST>)

前年度に引き続き、超強化型維持のためご利用者全員に週 3 回以上の個別リハビリ介入を行いました。短期集中・認知症短期集中リハビリテーション加算の算定に関しては、セラピストの退職や休職、新型コロナウイルスの影響により前年度に比較して減少傾向です。今後は長期的に安定したリハビリ介入が行えるように、業務の見直しを図ります。

また PT・OT・ST それぞれの専門性を発揮できるような職場環境の構築を目指します。今後ご利用者の在宅復帰を支援できるように努めていきます。

## 入所部門

| 区分 \ 年度 | 短期集中<br>(240 単位) | 認知症短期集中<br>(240 単位) | 短期入所<br>個別(240 単位) | 経口維持 I<br>(100 単位) | 経口維持 II<br>(400 単位) | 個別リハ<br>(0 単位) |
|---------|------------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|----------------|
| 3 年度    | 6,039            | 3,525               | 582                | 241                | 241                 | 9,820          |
| 4 年度    | 4,852            | 2,994               | 441                | 318                | 318                 | 11,618         |

## 6 訪問リハビリ

令和 4 年度は専従 PT1 名・OT1 名の 2 名と入所兼務 ST1 名・PT2 名の 3 名を含めた 5 名体制となっていました。セラピストの退職や休職に伴い、1 月より入所兼務は ST1 名・OT1 名での 4 名体制となっています。入所の感染症発生による利用控えも一時的に見られましたが全体的には実施数は増加しました。今後も感染症対策に留意しながら、ご利用者のニーズに沿った専門性の高いリハビリテーションが提供できるよう努めます。

| 区分<br>年度 | 実施単位数<br>(307 単位) | リハマネ加算<br>(213 単位) | 短期集中リハ加算<br>(200 単位) | サービス提供体制加算<br>(6 単位/回) | 移行支援加算<br>(17 単位/日) |
|----------|-------------------|--------------------|----------------------|------------------------|---------------------|
| 3 年度     | 4,686             | 75                 | 21                   | 4,686                  | 1,460               |
| 4 年度     | 5,127             | 20                 | 54                   | 5,085                  | 1,578               |

※令和4年度コロナ感染症により6日営業を休止する。

## 7 給食部門

ご利用者の状態に合わせた食事形態、療養食（糖尿病食、塩分制限）、看取り期の利用者に寄り添った食事、栄養提供に取り組みました。嚥下困難者に対応した食事形態（やわらか食、ソフト食、ミキサー食）の安定した提供に努めました。定期的に栄養マネジメント委員会や食事観察会議に参加して摂取状況を把握、フロアのケアカンファレンスにも出席して栄養面の提案をしてきました。また、ご利用者に合わせた個別対応、看取りなど、多職種と連携し体調によつての食事の提供にも協力しました。

令和4年度は、前年度同様に食の充実を図るために取り組みました。食形態充実ややわらか食の対応、天橋園（デイサービス、ハウゼ天橋、天橋の家）へ食事提供の対応やHACCPの取り組みにあわせ管理栄養士や調理員の連携により、作業面の改善を図る事ができました。

年度途中から感染対応に多職種連携で取り組み、感染拡大防止や作業の軽減に協力する事にも努めました。

## 8 医務室（診察室、薬局、医師、歯科衛生士、薬剤師、看護師）

医師の指導の下、看護師、歯科衛生士、薬剤師が中心となって、医薬品や検査キット、医療器材等の整備を通して、診察室と薬局の管理と整備に取り組みました。

入所時リスク説明書、病状説明書、看取り同意書＜人生の最終段階における医療・介護にかかわる同意書＞などを準備、活用することで、ご家族への説明と同意（IC）を多職種協働で行うように対応し、ご利用者のファイルのトップにいれることで、急変時や看取りケアの徹底に活用してきました。

コロナウィルスの感染拡大に対応するため、発熱などの症状のある方には抗原検査、PCR検査を使用し、感染予防対策を行いました。

インフルエンザ対策としては、入所、通所のご利用者へインフルエンザワクチン接種を実施するとともに、職員には無料でワクチン接種するばかりでなく、ご家族がインフルエンザに罹患した場合にも潜伏期間、職員に自宅待機を命ずるなど対策を強化してきました。

歯科衛生士は、入所ご利用者の口腔衛生のチェックを行い、口腔衛生加算を取得するとともに、入所ご利用者のみならず通所ご利用者にも対象を広げ、加算取得を行ないました。介護、看護スタッフへの定期的な指導を行い、口腔衛生管理に取り組み、加算を取得しました。

| 年度<br>区分 | 口腔衛生管理加算 | 所定疾患施設療養費 | 緊急時治療加算 |
|----------|----------|-----------|---------|
| 3 年度     | 1,116    | 168       | 0       |
| 4 年度     | 1,082    | 279       | 0       |

## 9 事務室（施設管理部門）

令和4年度は、各部署新型コロナウイルス感染予防を徹底していましたが、6月、8月、1月、2月と4回の（内3回クラスター）感染に見舞われ、ご利用者の罹患者30名と深刻な状況があり、また職員、職員の家庭での感染も重なり感染拡大防止措置として受け入れ停止が長期化し収入減の要因の一つとなりました。今後も新型コロナウイルス等の感染症対策として受け入れの水際対策をより慎重にする必要があると捉えております。

施設老朽化に伴う施設設備、備品の修繕及び更新について、サービス提供上安心・安全に必要な不可欠なものを優先し計画を実施していきます。尚、事業計画に上げておりました介護記録システムのクラウド化が実現し、スムーズな運用ができるようになっております。

今後法人でデータの統一化等検討を行っていきます。

## 10 居宅介護支援事業所

高齢者が地域の中で自分らしく日常生活を営むことができるように、相談援助やサービス調整を行い質の高いケアマネジメントの提供に努めました。

令和4年度も6人体制を維持し、ご利用者本位の適切なケアプラン作成に努めることができました。宮津市（栗田地区から日置地区まで）や与謝野町岩滝地区を中心に積極的に新規受け入れを行い件数維持に努めました。

医療連携については、主治医や関係機関との連携を密にし、ご利用者がスムーズに在宅生活を送ることができるよう支援していきました。また対応困難事例も増える中、地域包括支援センターと連携を行いました。

令和4年度については、ターミナルケアマネジメント加算は7件となり、必要要件5件を満たしましたが、退院退所加算を算定する要件を満たす機会は増えず医療介護連携加算を算定することはできません。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に加えて、医療介護連携加算算定再開に向けて努力を継続していきます。

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防に努めながらリモート等を活用し介護支援専門員研究会や地域ケア会議での意見交換や研修に参加し、他職種と交流する機会を持ち、法人内での定例会議や事例検討会を開催し、ケアマネジャーとしての資質向上に努めました。

また、ICTの活用による業務負担軽減や効率化を図り、令和5年度もご利用者やご家族に対して常に笑顔を大切に傾聴の姿勢を持ち、住み慣れた地域で、笑顔で過ごして頂けるよう努めていきます。

### ①利用実績

#### （ア）相談件数

| 内容<br>年度 |    | 介護保険<br>その他福祉サービス | 権利擁護<br>(成年後見) | 高齢者虐待 |
|----------|----|-------------------|----------------|-------|
| 3年度      | 実数 | 285件              | 11件            | 10件   |
|          | 延数 | 30,444件           | 35件            | 52件   |
| 4年度      | 実数 | 302件              | 16件            | 11件   |
|          | 延数 | 28,052件           | 85件            | 46件   |

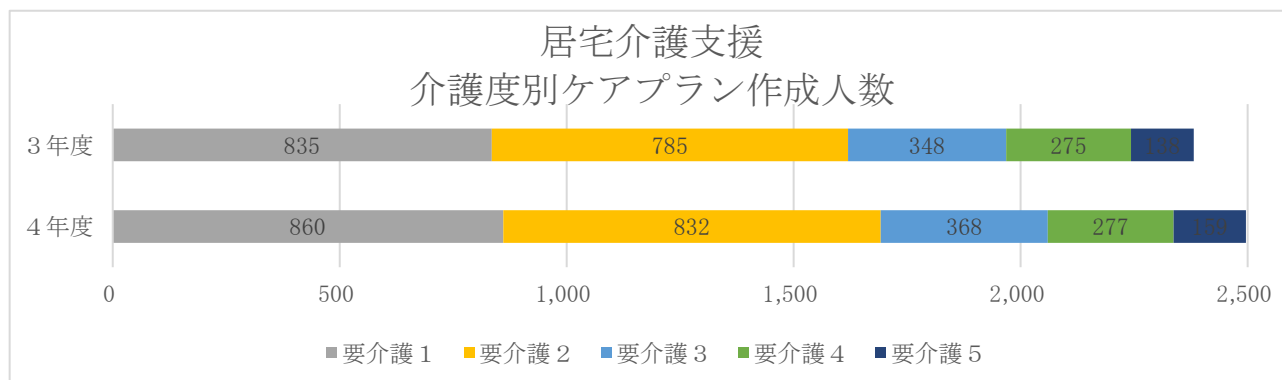


## (イ) ケアプラン作成管理件数

|      | 延べ人数    | 実件数   |
|------|---------|-------|
| 3 年度 | 2,381 人 | 285 件 |
| 4 年度 | 2,496 人 | 302 件 |

## (ウ) 介護度別プラン作成延べ人数

| 年度 \ 区分 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計      |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 3 年度    | 835 人 | 785 人 | 348 人 | 275 人 | 138 人 | 2,381 人 |
| 4 年度    | 860 人 | 832 人 | 368 人 | 277 人 | 159 人 | 2,496 人 |



## (地域事業・総合事業)

| 内 容           | 参加者数 |
|---------------|------|
| はしだて清掃一人一坪大作戦 | 5 人  |
| せせらぎの会サロン送迎   | 6 人  |
| 合 計           | 11 人 |

## (実習生等受け入れ状況)

| 月        | 受入事業所等            | 実習内容           | 受入実人数 |
|----------|-------------------|----------------|-------|
| 4 月～10 月 | 京都府立看護学校          | 看護学生施設実習       | 26 人  |
| 8 月・12 月 | 龍谷大学短期大学部         | ソーシャルワーク実習     | 3 人   |
| 6 月      | YMCA 国際専門学校       | 福祉施設実習         | 2 人   |
| 9 月      | 福祉即戦力人材養成科        | 施設実習           | 4 人   |
| 9 月      | 立命館大学             | ソーシャルワーク実習     | 4 人   |
| 11 月     | 京都府看護協会京都府ナースセンター | 訪問看護 e ラーニング実習 | 4 人   |
| 合 計      |                   |                | 43 人  |

## 【研修等参加状況】

## (施設外研修) (WEB 研修)

| 研 修 内 容                           | 参加者数 | 研 修 内 容                       | 参加者数 |
|-----------------------------------|------|-------------------------------|------|
| 第 28 回京都府老人保健施設大会<br>実行委員会 (WEB)  | 5 人  | 京老健リハビリテーション部会<br>(WEB)       | 6 人  |
| 人が辞めない職場をつくる 3 つの<br>施策セミナー (WEB) | 2 人  | 令和 4 年度特定給食施設従事者等講習会<br>(WEB) | 2 人  |
| 宮津市介護支援専門員研究会                     | 2 人  | 安全運転管理者講習 (WEB)               | 1 人  |

|                                                |     |                                        |     |
|------------------------------------------------|-----|----------------------------------------|-----|
| 京老協ケアマネ部会                                      | 4 人 | 看護協会実践能力向上研修（WEB）                      | 2 人 |
| 事故事例検討会（WEB）                                   | 1 人 | 高齢者福祉施設及び障害福祉施設の業務継続（BCP）策定に関する研修（WEB） | 1 人 |
| 企業内人権問題啓発セミナー                                  | 1 人 | 令和 4 年度京都府認知症介護実践リーダー研修                | 6 人 |
| 令和 4 年度京都府介護支援専門員実務経験者更新研修（課程Ⅰ）                | 6 人 | 丹後食育フォーラム（WEB）                         | 1 人 |
| 中堅職員の成長に資する新人職員の育成（OJT）を目的とする研修                | 1 人 | 共済会長期在会員表彰式                            | 1 人 |
| 指定施設における不在者投票事務に関する説明会（WEB）                    | 1 人 | 令和 4 年第 1 回看護・介護部会交流会（WEB）             | 1 人 |
| 令和 4 年度オレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員合同研修              | 2 人 | 令和 4 年度宮津市高齢者等虐待防止ネットワーク研修会            | 1 人 |
| 令和 4 年度認知症の人とその家族を支えるためのケアマネジャー育成事業（WEB）       | 4 人 | 第 31 回丹後圏域地域リハビリテーションセラピスト連絡会（WEB）     | 1 人 |
| 福祉職のためのマナー研修                                   | 1 人 | 京都府介護支援専門員実務研修における実習受入協力事業所指導者講習会（WEB） | 2 人 |
| 令和 4 年度キャリアアップ研修（初任者）                          | 3 人 | 令和 4 年度京都府認知症介護実践者研修                   | 5 人 |
| 危険物取扱者保安講習                                     | 1 人 | 社会福祉士実習指導者講習会                          | 2 人 |
| 京老健栄養部会（WEB）                                   | 3 人 | 令和 4 年度京都府主任介護支援専門員更新研修（WEB）           | 7 人 |
| 宮津市地域ケア会議（WEB）                                 | 5 人 | 令和 4 年度医療と介護の連携推進研修会（WEB）              | 1 人 |
| 介護給付適性化研修会                                     | 1 人 | 京都府府議会議員一般選挙不在者投票事務に関する説明会（WEB）        | 1 人 |
| 甲種防火管理者新規講習                                    | 2 人 | 令和 4 年度地域リハビリテーション丹後圏域連絡会（WEB）         | 1 人 |
| 京老健相談員部会（WEB）                                  | 3 人 | 北丹地区拡大班長会・懇親会北部看護職支援センター               | 1 人 |
| 京都府リハビリテーション支援センター 令和 4 年度リハビリテーション専門職研修会（WEB） | 1 人 |                                        |     |

（施設内委員会・会議等開催状況）

| 会 議 名            | 開催回数 |
|------------------|------|
| 業務運営会議           | 12 回 |
| 入所検討会議           | 50 回 |
| ユニット会議           | 96 回 |
| リーダー会議           | 24 回 |
| 看護・介護主任会議        | 11 回 |
| 部署別会議（各部署）       | 12 回 |
| 感染症予防委員会（臨時会議含む） | 25 回 |
| 身体拘束虐待防止委員会      | 12 回 |
| リスクマネジメント委員会     | 12 回 |
| 職員研修委員会          | 12 回 |

|             |      |
|-------------|------|
| 苦情対応委員会     | 3 回  |
| 衛生委員会       | 11 回 |
| サービス向上委員会   | 11 回 |
| 情報ネットワーク委員会 | 1 回  |
| 栄養マネジメント委員会 | 11 回 |
| 衛生委員会       | 11 回 |
| 認知症ケア委員会    | 10 回 |
| 広報WG会議      | 1 回  |
| 皮膚排せつケア委員会  | 12 回 |
| 敬老会委員会      | 4 回  |
| 北星会施設長会議    | 24 回 |

(施設内研修)

| 月 日              | タイトル                                   | 参加者数 | 担 当          |
|------------------|----------------------------------------|------|--------------|
| 4 月 26 日         | 腰痛予防に向けた靴・インソールの選び方                    | 19 人 | 機能訓練室        |
| 5 月<br>25 日・26 日 | 職員全会議<br>「令和 3 年度の振り返りと令和 4 年度の目標」     | 88 人 | 事務長          |
| 7 月 26 日         | 「事例検討研修会」伝達研修                          | 9 人  | リスクマネジメント委員会 |
| 8 月 23 日         | 身体拘束排除の為の取り組みに関する研修<br>(e ラーニング)       | 9 人  | 身体拘束虐待防止委員会  |
| 10 月 25 日        | 睡眠を見直して good Sleeper に！<br>～十人十色のグッスリ～ | 18 人 | 衛生委員会        |
| 11 月 8 日         | なぎさ苑施設内コロナ感染の振り返り                      | 36 人 | 感染予防対策委員会    |
| 11 月 26 日        | ポジショニング                                | 14 人 | 皮膚排泄ケア委員会    |
| 12 月 6 日         | コミュニケーションについて                          | 11 人 | 職員研修委員会      |
| 12 月 20 日        | 介護場面でのリスクマネジメントの実際<br>(e ラーニング)        | 6 人  | リスクマネジメント委員会 |
| 1 月              | PPE 着脱訓練 (各部署にて実施)                     | 31 人 | 感染予防対策委員会    |
| 2 月 28 日         | 高齢者虐待防止研修会 (e ラーニング)                   | 13 人 | 身体拘束虐待防止委員会  |
| 3 月 22 日         | 活動報告会 (相談室・2 階・3 階)                    | 41 人 | 研修委員会        |

【職員健康診断等の実施状況】

| 健診等内容     | 実施日              | 受診者数      | 備考      |
|-----------|------------------|-----------|---------|
| 一般健診      | 9 月 6 日          | 104 人     | 年 1 回   |
| 腰痛健診      | 9 月 6 日・2 月 13 日 | 79 人・73 人 | 半年に 1 回 |
| 深夜業務従事者健診 | 2 月 13 日         | 42 人      | 年 1 回   |
| ストレスチェック  | 9 月 6 日          | 90 人      | 年 1 回   |

# 施設・事業所別 職員数一覧

令和 5 年 3 月 31 日現在

事業名 北星会 法人本部

|           |       | 事務局長 | 事務局次長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門 | 介護員 | 看護員 | 管理栄養士 | 調理員 | のびのび | その他 |  |  | 合計  |
|-----------|-------|------|-------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|-----|------|-----|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1    | 1     | 6   |     |        |     |     |       |     |      |     |  |  | 8   |
|           | 非常勤職員 |      |       |     |     |        |     |     |       |     | 6    | 1   |  |  | 7   |
| 常勤換算による人数 |       | 1.0  | 1.0   | 6.0 |     |        |     |     |       |     | 1.2  | 0.1 |  |  | 9.3 |

# 施設・事業所別 職員数一覧

令和 5 年 3 月 31 日現在

## 天橋園拠点

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 管理栄養士 | 調理員 | その他 | 介護補助 |  |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-------|-----|-----|------|--|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     | 2   | 7       | 24   | 2   |       |     |     |      |  |  |  | 36   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 22   | 2   |       |     | 2   | 1    |  |  |  | 27   |
| 常勤換算による人数 |       | 1.0 |     | 2.0 | 7.0     | 30.7 | 3.1 |       |     | 1.1 | 0.8  |  |  |  | 45.7 |

## 事業所名 天橋園通所介護事業所

(利用定員 25 名) 介護予防・総合事業も含む・日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | その他 | 介護補助 |  |  |  |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|------|--|--|--|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     | 1   |         | 5   | 1   |     |      |  |  |  |  |  | 8    |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 2   | 1   | 1   | 1    |  |  |  |  |  | 5    |
| 常勤換算による人数 |       | 0.3 |     | 1.0 |         | 5.9 | 1.8 | 0.8 | 0.8  |  |  |  |  |  | 10.6 |

※介護予防・総合事業との兼務も含める。

## 事業所名 ハウゼ天橋通所介護事業所

認知症対応型通所介護

(利用定員 12 名) 介護予防含む・土曜日と日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | その他 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     | 1   |         | 2   | 1   |     |  |  |  |  |  |  | 5   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 3   | 1   | 1   |  |  |  |  |  |  | 5   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.2 |     | 1.0 |         | 3.4 | 1.3 | 0.3 |  |  |  |  |  |  | 6.2 |

※介護予防・総合事業との兼務も含める。

事業所名 天橋訪問介護事業所

介護予防・総合事業も含む

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-----|--|--|--|--|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     |         | 6    |     |     |  |  |  |  |  |  | 7    |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 15   |     |     |  |  |  |  |  |  | 15   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.2 |     |     |         | 10.0 |     |     |  |  |  |  |  |  | 10.2 |

※介護予防・総合事業との兼務も含める。

事業所名 グループホーム天橋の家

(利用定員 18 名)

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-----|--|--|--|--|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     | 1       | 11   |     |     |  |  |  |  |  |  | 13   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 2    |     |     |  |  |  |  |  |  | 2    |
| 常勤換算による人数 |       | 0.3 |     |     | 1.0     | 11.4 |     |     |  |  |  |  |  |  | 12.7 |

事業所名 天橋園居宅介護支援事業所

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  |     |     |     | 6       |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 6   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 0   |
| 常勤換算による人数 |       |     |     |     | 6.0     |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 6.0 |

※1名は管理者と兼務

# 施設・事業所別 職員数一覧

令和 5 年 3 月 31 日現在

## 与謝の園拠点

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 管理栄養士 | 調理員 | その他 | 嘱託医 | 運転手 | 介護補助 |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|------|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 3   | 6       | 43   | 6   | 1     | 4   |     |     |     |      |  | 67   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 17   | 3   |       | 5   | 2   | 1   | 1   | 1    |  | 30   |
| 常勤換算による人数 |       | 1.0 | 3.0 | 3.0 | 6.0     | 50.8 | 6.7 | 1.0   | 7.0 | 1.3 | 0.1 | 0.4 | 0.5  |  | 80.8 |

## 施設名 特別養護老人ホーム 与謝の園

(利用定員 長期 80 名・短期 10 名)

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 管理栄養士 | 調理員 | その他 | 嘱託医 | 介護補助 |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-------|-----|-----|-----|------|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 2   | 1       | 34   | 5   | 1     | 4   |     |     |      |  |  | 51   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 9    | 2   |       | 4   | 2   | 1   | 1    |  |  | 19   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.5 | 3.0 | 2.0 | 1.0     | 39.8 | 6.2 | 1.0   | 6.5 | 1.3 | 0.1 | 0.5  |  |  | 61.9 |

## 事業所名 与謝の園通所介護事業所

(利用定員 24 名) 介護予防・総合事業も含む・日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 | 運転手 |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     | 1   |         | 3   |     |     |     |  |  |  |  |  | 5   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 5   | 1   | 1   | 1   |  |  |  |  |  | 8   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.2 |     | 1.0 |         | 6.0 | 0.3 | 0.5 | 0.4 |  |  |  |  |  | 8.4 |

## 事業所名

## 与謝の園訪問介護事業所

## 介護予防・総合事業も含む

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     |         | 4   |     |     |  |  |  |  |  |  | 5   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 2   |     |     |  |  |  |  |  |  | 2   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.2 |     |     |         | 4.7 |     |     |  |  |  |  |  |  | 4.9 |

※介護予防・総合事業との兼務は含める。

## 事業所名

## 与謝の園訪問入浴介護事業所

## 介護予防も含む

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     |         | 2   | 1   |     |  |  |  |  |  |  | 4   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 1   |     |     |  |  |  |  |  |  | 1   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.1 |     |     |         | 0.3 | 0.1 |     |  |  |  |  |  |  | 0.5 |

※介護予防との兼務は含める。

## 事業所名

## 与謝の園居宅介護支援事業所

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  |     |     |     | 5       |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 5   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 0   |
| 常勤換算による人数 |       |     |     |     | 5.0     |     |     |     |  |  |  |  |  |  | 5.0 |

※1名は管理者と兼務



# 施設・事業所別 職員数一覧

令和5年3月31日現在

## 天橋の郷・Re-Style・はまなす苑拠点

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 言語聴覚士 | 管理栄養士 | 調理員 | 介護補助 | その他 | 運転手 | 嘱託医 | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-------|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 5   | 1       | 60   | 6   | 1     | 1     | 8   |      |     |     |     | 88   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 11   | 4   |       |       | 2   | 5    | 1   | 2   | 1   | 26   |
| 常勤換算による人数 |       | 1.0 | 3.0 | 5.0 | 1.0     | 66.4 | 8.6 | 1.0   | 1.0   | 9.3 | 1.6  | 0.8 | 0.6 | 0.1 | 99.4 |

## 施設名 特別養護老人ホーム 天橋の郷

(利用定員 長期 70名・短期 20名)

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員 | 管理栄養士 | 調理員 | 介護補助 | その他 | 運転手 | 嘱託医 | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 2   | 1       | 47   | 3   | 1     | 8   |      |     |     |     | 66   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 9    | 3   |       | 2   | 4    | 1   | 1   | 1   | 21   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.7 | 3.0 | 2.0 | 1.0     | 52.1 | 4.8 | 1.0   | 9.3 | 1.1  | 0.8 | 0.4 | 0.1 | 76.3 |

※介護予防・総合事業との兼務を含む。

## 事業所名 天橋の郷通所介護事業所

(利用定員 35名) 介護予防・総合事業も含む・土曜日と日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 | 介護補助 | 言語聴覚士 |  |  |  |  | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|------|-------|--|--|--|--|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     | 1   |         | 8   | 1   |     |      | 1     |  |  |  |  | 12   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         |     | 1   |     |      |       |  |  |  |  | 1    |
| 常勤換算による人数 |       | 0.3 |     | 1.0 |         | 8.0 | 1.8 |     |      | 1.0   |  |  |  |  | 12.1 |

※介護予防・総合事業との兼務を含む。

**事業所名**      **Re-Style 通所介護事業所**

(利用定員 15 名/午前、15 名/午後) 介護予防・総合事業も含む・土曜日と日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 運転手 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  |     |     | 1   |         | 2   | 1   |     |  |  |  |  |  |  | 4   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 1   |     | 1   |  |  |  |  |  |  | 2   |
| 常勤換算による人数 |       |     |     | 1.0 |         | 2.8 | 1.0 | 0.2 |  |  |  |  |  |  | 5.0 |

※介護予防・総合事業との兼務を含む。

**事業所名**      **はまなす苑通所介護事業所**

(利用定員 20 名) 介護予防・総合事業も含む・土曜日と日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 介護補助 |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|------|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  |     |     | 1   |         | 3   | 1   |      |  |  |  |  |  |  | 5   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 1   |     | 1    |  |  |  |  |  |  | 2   |
| 常勤換算による人数 |       |     |     | 1.0 |         | 3.5 | 1.0 | 0.5  |  |  |  |  |  |  | 6.0 |

※介護予防・総合事業との兼務を含む。

※生活相談員 1 名は管理者と兼務

# 施設・事業所別 職員数一覧

令和5年3月31日現在

## なぎさ苑拠点

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員  | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 調理員  | 宿直員 | 清掃員・運転手 | 薬剤師 | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|---------|-----|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 4   | 6       | 43   | 11   | 3     | 4     | 1     | 1     | 2     | 8    |     |         |     | 87   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 7    | 2    | 1     |       | 1     | 1     |       | 4    | 3   | 2       | 1   | 22   |
| 常勤換算による人数 |       | 1.0 | 3.0 | 4.0 | 6.0     | 46.7 | 12.4 | 2.9   | 4.0   | 1.4   | 1.1   | 2.0   | 10.1 | 1.2 | 1.2     | 0.4 | 97.4 |

## 施設名 介護老人保健施設リハ・ヴィアなぎさ苑

(利用定員 長期 100名・短期 空床利用型)

|           |       | 施設長 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員  | 看護員  | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 調理員  | 宿直員 | 清掃員 | 薬剤師 | 合計   |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-----|------|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   | 3   | 4   |         | 38   | 11   | 3     | 4     | 1     | 1     | 2     | 8    |     |     |     | 76   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 6    | 2    | 1     |       | 1     | 1     |       | 4    | 3   | 1   | 1   | 20   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.8 | 3.0 | 4.0 |         | 41.2 | 11.6 | 1.7   | 3.5   | 1.0   | 1.0   | 1.8   | 10.1 | 1.2 | 0.8 | 0.4 | 82.1 |

※施設長は医師。※相談員と介護支援専門員は兼務。

## 事業所名 なぎさ苑通所リハビリ事業所

(利用定員 27名) 介護予防も含む・土曜日と日曜日は休業

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 調理員 | 運転手 |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     |         | 5   | 0   | 3     | 4     | 1     | 1     | 2     |     |     |  |  | 17  |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         | 1   | 2   | 1     |       |       |       |       |     | 1   |  |  | 5   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.1 |     |     |         | 5.5 | 0.8 | 1.0   | 0.0   | 0.2   | 0.1   | 0.2   |     | 0.4 |  |  | 8.3 |

※介護予防との兼務を含む。

事業所名      なぎさ苑 訪問リハビリ      介護予防も含む

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 歯科衛生士 | 管理栄養士 | 調理員 |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  | 1   |     |     |         |     |     | 3     | 4     |       |       |       |     |  |  |  | 8   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         |     |     | 1     |       | 1     |       |       |     |  |  |  | 2   |
| 常勤換算による人数 |       | 0.1 |     |     |         |     |     | 0.2   | 0.5   | 0.2   |       |       |     |  |  |  | 1.0 |

※介護予防との兼務を含む。

事業所名      なぎさ苑居宅介護支援事業所

|           |       | 管理者 | 事務員 | 相談員 | 介護支援専門員 | 介護員 | 看護員 | 調理員 |  |  |  |  |  |  |  |  | 合計  |
|-----------|-------|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|
| 実人数       | 常勤職員  |     |     |     | 6       |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  | 6   |
|           | 非常勤職員 |     |     |     |         |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  | 0   |
| 常勤換算による人数 |       |     |     |     | 6.0     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |  | 6.0 |

※1名は管理者と兼務

## 用語解説

### ※オレンジカフェとは

認知症の方やそのご家族、地域住民、介護職員など誰もが集える場所です。気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場として全国各地で運営されています。

### ※クリニカルラダーとは

クリニカルラダーとは看護師の能力やキャリアを開発する指標のことです。クリニカルラダーのラダー(Ladder)とは「はしご」を意味しています。つまり「臨床のはしご」ということです。

### ※ケアプランデータ連携システムとは

厚生労働省の取り組みとして、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所間で、ケアプラン（提供票・計画書）やサービス利用票（予定・実績）などをオンラインでやりとりすることのできる情報連携基盤です。

### ※社会福祉連携推進法人制度とは

社会福祉連携推進法人は、社会福祉法人等が社員となり、福祉サービス事業者間の連携・協働を図るための取組等を行う新たな法人制度です。社会福祉連携推進法人の活用により、福祉・介護人材の確保や、法人の経営基盤の強化、地域共生の取組の推進などが可能となります。

### ※認知症キャラバンメイトとは

キャラバンメイトは「認知症サポーター養成講座」を企画・開催し、講師を務めます。講師開催をきっかけに、住民から相談を受けたり関係機関との連携を図ったりすることを通し、地域のリーダー役となる役割が期待されています。

### ※パーソン・センタード・ケア

「パーソン・センタード・ケア」とは、認知症のご高齢者を一人の人として尊重し、「その人の視点や立場に立って理解しながらケアを行う」という認知症ケアにおける考え方のひとつです。

### ※パワーリハビリテーションとは

パワーリハビリテーションは、マシントレーニングを軽負荷で行い、全身各部の使っていない筋を動かすことにより効果が得られます。よって筋力強化を目的としたトレーニングではありません。

### ※プリセプターとは

先輩であるベテラン職員がプリセプターとなり、見習いの新人職員（プリセプティー）をマンツーマンで指導する新人研修制度をプリセプター制度といいます。

## ※バーサルインデックス（B I）とは

A D L維持加算を算定するために、利用者の日常生活動作（A D L）を主観でなく数値で評価する方法で、全 10 項目より構成されています。

## ※放課後児童クラブ

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものです。

## ※ユマニチュードとは

ユマニチュードはフランス発祥のケア技法で、特に認知症の方に効果的だと注目されています。ユマニチュードは基本的な技術である「4つの柱」と、ケアの順番を示す「5つのステップ」で構成される技法です。

4つの柱：「見る」「話す」「触れる」「立つ」

5つのステップ：「出会いの準備」「ケアの準備」「知覚の連結」「感情の固定」「再会の約束」

## ※レスパイトケアとは

レスパイトケアとは、介護を行っている人を一時的に解放し、休みをとってもらう支援を指します。介護サービスが高齢者を預かることで、ご家族の負担を減らすというわけです。

## ※ACP（アドバンス・ケア・プランニング/人生会議）とは

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは「人生会議」ともいい、もしもののために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

## ※ADL（日常生活動作）とは

日常生活動作(ADL)は、高齢者・障害者が、日常生活上の動作をどの程度行えるのかを示す指標です。すなわち日常生活動作(ADL)が高いほど、自立した生活が可能です。反対に日常生活動作(ADL)が低い方は、日常生活全般にわたって手厚い介護が必要です。

## ※eラーニングシステム「サクラボ」とは

eラーニングとは、インターネットを活用した学習方法のことです。サーバー（学習管理システム）に保存した動画などの教材を配信し、インターネットに接続可能なパソコンやタブレット、スマートフォンなどモバイル端末を利用して受講します。令和4年度より北星会にても導入を行いました。

## ※HACCP（ハサップ）とは

令和3年6月1日から、原則として、すべての食品等事業者の皆様に HACCP に沿った衛生管理に取り組んでいくことになりました。食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の

中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。

### ※IADL（手段的日常動作）とは

IADL は手段的日常生活動作と呼ばれており、自分自身で自立した生活を送る上で欠かせない能力です。IADL はADL よりも複雑な動作も含んでおり、電話応対や買い物などの判断力が求められる動作まで包括しています。IADL が維持できなくなると、やがてADL も維持できなくなっていく、という流れです。

### ※LIFE（ライフ）とは

LIFE（科学的介護情報システム）とは、介護サービスやケアの質の向上を目的として、2021 年 4 月から厚労省が新たなデータベースを構築しており、このデータベースは科学的介護システム「LIFE」と呼ばれます。

### ※OJT

OJTとは「On the Job Training」の略語です。新人や業務未経験者に必要なスキルや知識を、上司や先輩などのトレーナー（OJT 担当者）が実務を通じて指導していく教育方法です。

### ※OFF-JT

OFF-JTは「Off The Job Training」の略称で、職場外研修と訳されます。職場外研修とは、現場から離れて行われる研修やセミナーのことを指し、社内の人材開発担当の部署や外部講師が作成した内容の教育を受け、業務に必要な知識やスキルを習得することを目的とした教育のことです。

### ※PDCAサイクルとは

PDCA サイクルのPDCAとは、「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Action(改善)」の四つの言葉の頭文字を取ったものです。

### ※QOL

QOLとは「Quality of Life（クオリティ・オブ・ライフ）」の略称で、日本語では「生活の質」などと訳され「生きがい」や「満足度」という意味があります。特に医療や介護など患者・ご利用者の望む生活を支える上で重要な考え方で、QOL 評価法（SF-36、WHO QOL-26 など）も広まってきています。

### ※Zoomとは

Zoom（ズーム）は、パソコンやスマートフォンで利用できるビジネス向けのオンライン会議（リモート会議）ツールです。